

第五十六回 帝國議會 貴族院議事速記錄第二十四號

昭和四年三月二日(土曜日)

午前十時三十一分開議

議事日程 第二十四號 昭和四年三月二日

午前十時開議

- 第一 國務大臣ノ演說ニ關スル件(第十七日) 議(委員長報告)
- 第二 昭和三年度歳入歳出總豫算追加案(第一號) 會
- 第三 昭和三年度各特別會計歳入歳出豫算追加案 議(委員長報告)

(特第一號)

會 議(委員長報告)

- 第四 地租條例廢止法律案(政府提出) 第一讀會
- 第五 明治三十四年法律第三十號廢止法律案(政府提出) 第一讀會
- 第六 明治三十四年法律第三十一號廢止法律案(政府提出) 第一讀會
- 第七 明治三十七年法律第十二號廢止法律案(政府提出) 第一讀會
- 第八 明治四十四年法律第一號廢止法律案(政府提出) 第一讀會
- 第九 災害地地租免除法廢止法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十 大正七年法律第四十三號廢止法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十一 大正八年法律第三十八號廢止法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十二 大正十五年法律第四十七號廢止法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十三 地籍法案(政府提出) 第一讀會
- 第十四 營業收益稅法廢止法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十五 所得稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十六 資本利子稅法改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十七 地租條例中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十八 營業收益稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

- 第十九 地方稅法案(政府提出) 第一讀會
- 第二十 明治四十一年法律第三十七號中改正法律案(政府提出) 第一讀會

(政府提出)

- 第二十一 山口縣營軌道及筑後軌道株式會社所屬軌道補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

- 第二十二 鑛業法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

- 第二十三 大正十四年法律第二十九號中改正法律案(政府提出) 第一讀會

(政府提出)

- 第二十四 蠶絲業法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

- 第二十五 帝國鐵道會計法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

- 第二十六 昭和二年法律第十五號中改正法律案(政府提出) 第一讀會

- 第二十七 噸稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

- 第二十八 借入金整理ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

- 第二十九 賠償金特別會計法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

- 第三十 電話事業公債法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

- 第三十一 開墾助成法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

- 第三十二 神戸商業大學移轉改築費ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

(政府提出)

- 第三十三 大正十三年法律第十號中改正法律案(政府提出) 第一讀會

- 第三十四 學校及圖書館特別會計法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

(政府提出)

- 第三十五 絲價安定融資補償法案(政府提出) 第一讀會

- 第三十六 大正十一年法律第五十二號中改正法律案(政府提出) 第一讀會

(政府提出)

- 第三十七 朝鮮簡易生命保險特別會計法案(政府提出) 第一讀會

- 第三十八 朝鮮簡易生命保險ノ事務ニ關スル郵便物ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

- 第三十九 國寶保存法案(政府提出) 第一讀會
第四十 家畜保險法案(衆議院送付) 第一讀會
第四十一 家畜再保險特別會計法案(政府提出) 第一讀會
第四十二 會計検査院法中改正法律案(衆議院送付) 第一讀會
第四十三 大正十四年度第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 議(委員長報告)
第四十四 大正十四年度特別會計第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 議(委員長報告)
第四十五 大正十四年度第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 議(委員長報告)
第四十六 大正十四年度豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 議(委員長報告)
第四十七 大正十四年度特別會計第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 議(委員長報告)
第四十八 大正十四年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 議(委員長報告)
第四十九 大正十五年度第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 議(委員長報告)
第五十 大正十五年度特別會計第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 議(委員長報告)
第五十一 大正十五年度第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 議(委員長報告)
第五十二 大正十五年度特別會計第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 議(委員長報告)
第五十三 昭和二年度第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 議(委員長報告)

- 第五十四 昭和二年度豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 議(委員長報告)
第五十五 昭和二年度特別會計第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 議(委員長報告)
第五十六 昭和二年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 議(委員長報告)
第五十七 裁判所ノ設立ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
第五十八 大正二年法律第九號中改正法律案(衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)
第五十九 借地借家臨時處理法中改正法律案(衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)
第六十 資源調査法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
第六十一 取引所法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會(委員長報告)
第六十二 信託業法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會
第六十三 會計検査院法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會
第六十四 恩給法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ書記官ヲシテ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔瀨古書記官朗讀〕

昨一日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

大正十年法律第四十七號改正法律案可決報告書

請願委員會特別報告第二號

同日豫算委員長ヨリ豫算委員第一分科擔當委員子爵大河内輝耕君ヲ第三分

科兼務委員ニ選定シタル旨ノ報告書ヲ提出セリ

本日第五部ニ於テ豫算委員長尾元太郎君ノ補闕選舉ヲ行ヒシニ其ノ結果青

木周三君當選セリ

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス

○伯爵柳澤保惠君 私ハ豫算案ノ審査期限延長ニ關スル動議ヲ提出イタシタ
イト思ヒマス、此席カラデ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス

○伯爵柳澤保惠君 極メテ簡單ニ申上ゲマス、皆様ノ御承知ノ如クニ豫算委員
會ノ期限ハ三週間デゴザイマス、無論私共ハ其事ヲ能ク存ジテ居リマスル
カラ、努メテ期限内ニ報告シ得ルヤウニ審査ラシタノデゴザイマスルガ、何
分澤山ノ質問モアリ、色々論議モ長引キマシテ到底一二日間ニハ審査結了ノ
見込ガゴザイマセヌ、因テ規定ニ依リマシテ三日間、即チ今月ノ七日マデ延
長シタイト云フコトノ動議ヲ提出イタシマス、ドウゾ御賛成ヲ願ヒマス

○男爵阪谷芳郎君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 豫算審査期限ニ關スル柳澤伯爵ノ動議ニ同意ノ諸
君ノ起立ヲ請ヒマス

〔起立者多數〕

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ議事日程ニ移リマスガ、先ヅ諸君ニ
御諮リヲ致シタイトハ本日モ日程第一ノ國務大臣ノ演說ニ關スル件ハ後ヘ
廻ハシマシテ、日程第二、第三カラ順次議題ト致シタイト考ヘマス御異存ゴ
ザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第二、昭和三年度歳入歳出總豫算追加案、第
一號、日程第三、昭和三年度各特別會計歳入歳出豫算追加案、特第一號、會
議、委員長報告

一昭和三年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)

一昭和三年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)

右衆議院ヨリ送付シタル各案ヲ審査シ總テ衆議院議決案ノ通可決スヘキモ
ノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年二月二十六日

豫算委員長

伯爵 柳澤 保惠

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵柳澤保惠君演壇ニ登ル〕

○伯爵柳澤保惠君 極メテ簡單ニ御報告ヲ申上ゲマス、本追加豫算兩案ハ二
月ノ二十三日ニ衆議院ヨリ本院ニ廻ハリマシタ、豫算委員會ニ於キマシテ直
チニ大臣ノ御説明ガゴザイマシタ、二月二十六日豫算委員會ニ於キマシテハ
是ハ分科ニ付セズシテ審議スルコトニナリマシテ、同日午後審議ノ結果之ヲ
可決イタシマシタ、之ヲ御報告申上ゲマス、御覽ノ通りニ昭和三年度歳入歳出
總豫算追加案第一號、先ヅ此方ヲ先キニ申上ゲマス、此計上ノ金額ハ歳入歳出
トモ千九百九十九万六千六百四十四圓、歳入ノ分ハ三口ニ分レテ居リマス、是ハ
第一頁ニゴザイマス、歳出ノ方ハ經常部ハ外務、内務、大藏、司法、逓信ノ
五省ニ互ッテ居リマス、臨時部ノ方ハ、内務、大藏、海軍、文部、農林、逓信
ノ六省ニ互ッテ居リマス、先ヅ此第一號ノ總豫算追加ノ方カラ申上ゲマス、當
局大臣ノ説明ハ極メテ簡單デゴザイマシタ、一般會計ニ付キマシテハ是ハ所
謂補充費途ニ屬スル經費デアルト云フ此言葉デ盡キテ居リマシテ、他ノ細目
ニ付テハ何等御説明ハゴザイマセヌデシタ、先ヅ此方カラ申上ゲマスガ、質
問ハ相當ニゴザイマシタ、中ニハナカク長カッタ質問モアッタデアリマス、
私ハ此豫算ニ計上ノ順序ニ依リマシテ申上ゲマス、先ヅ内務省所管ノ一般會
計カラ申上ゲマス、第一ノ御質問ハ警察費ノ聯帶支辨金ニ付テノコトデアリ

マシテ、是ハ歩合ガ誠ニ少ナイノデアル、現今東京府ノ郡部ニ於テハ極メテ警備モ少ナイシ、從テ誠ニ民心モ不安デアルノデアル、何カ之ニ付テ當局ハ増額スル考ヘハナイカ、斯ウ申スノハ實ハ警察官ヲ保護ノ意味ニ於テ善意ニ申スノデアル、從テ之ニ關スル法令ノ改正等ノ考ヘハナイカ、又此議會ニ提出ノ考ヘハナイカト云フ御質問デアリマシタ、之ニ對シマシテ當局大臣ハ誠ニ同感デアル、サウ云フコトニナレバ誠ニ結構デアルケレドモ、現時ノ財政狀態ヨリ遺憾ナガラ左様ナ運ビニモイカナイ、併ナガラ其御言葉ダケヲ以テモ警官ガ如何ニ喜ブデアラウト云フ誠ニ人情味ノアル御答辯デゴザイマシタ、次イデ此復興事業ノ質問ガアリマシタ、ソレハ御承知ノ大正十二年ノ大震大火ニ際シマシテ、東京、横濱ハ非常ナル災害ヲ受ケタノデゴザイマス、併ナガラマダ今日ノ狀況デハ經濟的ノ恢復ノ曙光ハ殆ド現レテ居ラヌヤウデアル、之ニ對シテ昭和四年度ヨリ貸付金ノ辨償ヲ迫ルト云フノハドウモ酷デハナイカ、猶豫シテヤルヤウナ御考ヘハナイカ、又利子ノ國庫ノ補給ノ分ガ遠カラズ地方ノ負擔ニ移ルト云フヤウナコトヲ聽イテ居ルガ、ソレハドウデアルカト云フコトデアリマス、之ニ對スル當局ノ返辭ハ成程昭和四年度カラ取ルコトニナツテ居ル、併シ是ハ豫算ニ計上シテ居リマセヌ、猶豫ノコトニ付テハ、諸方カラ澤山願ヒガ來テ居ル、併シ是ハ取ルコトニナツテ居ルノデアルガ、一應考ヘテ見ヤウト云フノデアリマス、利子ノ補給ノ方モ是ハ昭和三年度ヨリ打切リニナルノデアルガ、此延長ニ付テモ亦熟慮シテ見ヤウト云フコトデアリマシタ、逕信所管ニ移リマス、茲ニ恩給ノ追加ガ出テ居リマスノデ、是ハ恩給法ノ改正ニ伴フ追加デアルノカ、又恩給法ハ改正スル考ガアルカドウカ、又海軍志願兵ノ恩給ニ關シテ、一ツ當局ノ考ヲ聽キタイト云フコトデゴザイマシタ、此處ニ出テ居リマス追加ノ恩給ハ、全ク不足ノ分デ、恩給法ノ改正ニ伴フモノデハナイ、併シ恩給法改正ノ考ヘハ當局者ニモアツテ相當運ンデ居ル、併シマダ成案ガナイノデ、是ハ今回出スト云フコトニハナツテ居ラヌ、海軍志願兵ノ恩給ニ關シマシテハ、當局者ハ軍人ノ士氣ヲ沮喪スルヤウナ所ノ改正ハシナイ積リデアル、尙ホ能ク考ヘテ見ルト云フ御返事デアリマシタ、今度ハ

陸海軍ニ關スルコトデ、是ガ一番長イ時間ヲ取ッタノデアリマス、御覽ニナル通りニ、支那事件費ニ付キマシテ、海軍省ノ所管ニハ八十二万五千圓ガ計上サレテ居リマス、陸軍ハ全ク出テ居ラヌノデアリマス、ソレ故ニ何故ニ海軍ハ追加ヲ請求シ、陸軍ハシナイノデアルカ、當局ハ之ニ對シマシテ、陸軍ニハ其必要ガナイカラデアル、海軍ノ方ハ計畫ガ少シモ變更サレテ居ラヌカラシテ新タニ追加ヲ請求シタノデアルガ、陸軍ノ方ハ計畫ガ變タノデアル、即チ兵員モ減ルシ、範圍ノ縮少ナドモアルノデ、是マデノ支出シタ金額デ、本年度ダケ十分支辨ガ出來ル、仍テ追加ヲ請求シナイ、斯様ナ所ノ事例ハ過去ニ於テモアツタコトデ、サウ不都合ノナイモノト當局ハ思ッテ居ルト云フ要領ヲ得テ返事デアリマシタ、之ニ付テ問題ガ大分起リマシタ、即チ一方ニ於キマシテハ豫算審議權、或ハ議定權ト申シマスカ、豫算議定權ヲ無視セルト云フ説モ出マシタ、二月以降ニ互ル分ノ責任支出ト云フコトハ不當デアル、是ハ海軍同様矢張り追加豫算ニ出スベキモノト云フ御論デアリマス、即チ餘タモノハ一旦返シテ更ニ請求シタラ宜カラウト云フ御論デアリマス、併ナガラ又政府ノ方トシマシテハ、誠ニ陸軍ノ行動ニ付テハ之ヲ月割ニシテ經費ノ見積リガ誠ニ難シイノデアル、故ニ大體一月迄ノ計算ニナツテ居ルノデアルガ、左様ニナツテ御裁可ヲ得タモノデアル、併シ是ハ臨時ノ豫算權ヲ得タ譯デアルカラ、餘タ金ヲ先ヘ延シテモ差支ヘナイヤウニ思フ、勿論初メカラ二月三月ヲ含ンデ、ソレヲ包含シテ支出ヲシタ譯デハナイ、サウ云フ方針ハ決シテ執ッテ居ッタノデハナイト云フヤウニ色々ソコニ問答ハゴザイマシタガ、質問者ハ海軍側ノ要求同様陸軍側モ同一ノ形式ニ依ル方ガ宜シイト申サレ、餘程論議ヲ強クサレタノデアリマス、即チ剩餘金ガアレバ之ヲ國庫ニ一旦返シテ、更ニ本議會ニ於テ二三箇月ノ分ヲ請求シテ、之ヲ追加豫算ニ出スノガ適當デアルト云フコトヲ縷々述べラレタノデアリマス、尙ホ之ニ付キマシテ、今日迄執ラレマシタ取扱振リニ關シマシテ、前大藏大臣デアリマシタ阪谷男爵ハ殊ニ其大藏省ノ方針ヲ述べラレマシテ、此取扱振ハ斯様ニナツテ居ルカラ、差支ナイト云フヤウナ意味ノコトヲ申サレタノデアリマス、結局質問者ト政府ノ

意思トハ疏通シマセス、一致シナイノデアリマシテ論議ノ點ハ盡キマセスデシタガ、到頭物別レニナッタ譯デアリマス、政府ニ於キマシテハ尙ホ此論議ヲ聽カレマシテ、一應考慮ニ入レテ見ヤウト云フコトノ御辯明モアッタノデアリマス、ソレカラモウ一ツ海軍ノ中デ、是ハ支那事件ノ爲ニ經費ガ出テ居リマスノデ、海軍ノ執ラレタ行動ニ關スル經過ハ如何デアルカト云フコトヲ問ハレタノデアリマス、是ハ速記録ニ詳シクゴザイマスガ、海軍大臣ハ文書ニ依ッテ詳シク其經過ヲ話サレタノデアリマス、即チ昭和二年一月以降カラ現狀ニ至ル迄ノ經過ヲ述ベラレマシタ、長江筋、上海方面、南京方面、青島方面ニ於キマスル所ノ、海軍ノ警備ノ狀況、陸戰隊ノ行動等ニ付テ、最モ詳細ニ述ベラレタノデゴザイマス、モウ一ツ海軍ノ方ハ茲ニ「モナコ」ニ於ケル國際水路會議、西班牙ニ於ケル所ノ海洋水路會議ノ豫算ガ若干出テ居リマス、是ハ今迄アッタノカドウカ、是ハ今度ガ三回目デアアル、是迄ハ單ニ歐洲駐在ノ武官ノミガ出テ居ッタガ、單ニ武官ノミデハイケナイ、専門家ヲ出シテ貰ヒタイト云フ希望ガアッタノデ、今度ハ水路部ノ方カラモ出、又武官モ出ルト云フコトデゴザイマシタ、文部省ノ所管ニ移リマス、是モナカ／＼長イ問答ガアッタノデゴザイマス、即チ是ハ學生、生徒指導訓育ニ關スル件デゴザイマス、此訓育費ハ責任支出デ、剩餘金カラ出テ居ッテ既ニ實行サレテ居ルノデアリマス、更ニ今後二箇月ノ要求デアリマス、是ハ先ヅ學生、生徒主事ト云フモノヲ百五十一人置キマシテ、是ガ訓育ノ仕事ニ専ラ當ルト云フノデアリマス、ソレニ對シマシテハ剩餘金ノ支出ハ誠ニ遺憾デアアル、是ハドウモ初メカラ議會ノ協賛ヲ得ベキモノデアルト云フ御主張デアリマシテ、況ヤ此支出ノ事項ガナカ／＼滑カニ行ッテ居ラス、隨分問題ガアッテ種々論議モアッタコトデアアルカラシテ、之ヲ剩餘金支出ト云フコトハ甚ダ宜シカラスト思フ、又訓育ノ仕事ニ當ル主事ニ付テモ色々説ガアルガ、是ハドウ云フ人物ヲ使ッタノカ、果シテ人選ガ能クヤッタノデアアルカ、又授業ヲ受持ツ者ガアルカト云フヤウナ御質問デアリマシタ、當局者ノ答ヘハ斯様デアリマス、當時共產黨事件ニ關シマシテ大分、學校ニ於ケル所ノ學生生徒ナドガ不穩ノ態度ガアッタノデアリマ

ス、其他之ニ關シテ隨分面白カラザル所ノ現象ヲ呈シタノデアリマス、此儘打捨テテ置イテハ到底甚ダ……隨分危險ナコトモ起ルデアラウ、到底放任シ難イト云フ事情カラシテ、已ムヲ得ズ責任支出ヲシタノデアアル、且ツ其上ニ文部省内ニハ學生ニ關スル機關モ作ッタト云フコトデアリマシタ、主事ニ付テハ無論全體全ク完全無缺ト云フコトモ申サレヌケレドモ、極メテ人選ヲ嚴ニシテ適當ナル人ヲ配置シタノデアアル、決シテ是ガ探偵的ニ學生生徒ノ行動ヲ見テ歩タト云フ所謂探偵ヲ學校ニ放シタヤウナコトモシナケレバ、又サウ云フヤウナ人物ヲ置イタノデナイ、大學デハ無論授業ハシテ居リマセヌケレドモ、大學以外ノ學校デハ授業ヲ擔當シテ居ルノモアル、大體此成績ハ自分共ハ先ヅ良好ト見テ居ル、是ダケデハ質問者ハ満足シテ居ラレナイノデ種々質問應答ガゴザイマシタ、結局要點ヲ考ヘマスト學生、生徒主事設置ノ趣旨ガ所謂共產黨事件鎮壓ノミノ對策トシテハ如何デアラウカ、是ノミデ充分デアルト云フ理由デ結局主事ヲ置イタ問題ガ相當ニ又論ゼラレタノデアリマス、結局、矢張り是モ當局ノ意見ト質問者ノ意見トハ合致スルコトガ出來ナカッタノデアリマス、尙ホ文部省所管ニ於テハ現今學校ニ於ケル、生徒教師間ニ於ケル收賄事件或ハ思想善導等ノ上カラ思想壓迫カラシテ却ッテ恐ルベキ事件ガ起ッタリ、却ッテ宜シクナイ結果ヲ起シ生ムト云フ所ノ御話カラ其事ヲ縷々論ゼラレマシタ末、其防止策ノ一トシテ教員ノ氣風ヲ改善スル考ヘハナイカト云フコトデアリマシタ、當局ハ之ニ付テハ異議ハナイノデアリマシテ教員ノ養成ト云フモノハ極メテ自分モ尊ブ、大切ニ思フ、併ナガラ現狀デハ教員ノ惡化ト云フコトハ多少アルカモ知レナイケレドモ全體ニ見テ教員ノ惡化ト云フコトハ考ヘラレナイノデアアル、併ナガラ教員ノ中ニハ完全ナル教育ノ下ニ養成セラレタルモノバカリデハナイト思フ、多少アルデアラウト思フカラシテ、殊ニ檢定試驗ナドニ依ッテ來タモノハ、師範學校出ノモノトモ違フシ、サウ云フモノニサウ云フモノガアルカモ知レナイト云フヤウナ意味カラシテ、之ヲ指導シ之ニ十分注意ヲ拂ッテ相當之ニ思想善導ヲサセルト云フヤウナ方法ヲ執ル積リデ居ルト云フヤウナ話デアリマシタ、次ニ特別會計ノ一號ニ

移リマス、是ハ御覽ノ如クニ朝鮮總督府、樺太廳、帝國大學、官立大學、學校及圖書館、郵便年金是ガ皆特別會計デゴザイマス、此質問ハ極メテ少ナウゴザイマシタ、質問ノアッタノハ朝鮮ニ關スル件、樺太ニ關スル件ノミデアリマシタ、朝鮮ノ臨時警備費ニ付テノ質問ハ、是ハ昨年ノ五月平安北道ノ江界郡ノ林士ト云フ所ニ侵入シマシタ馬賊事件デ其附近ヲ荒シタコトガアッタノデアリマス、其豫防方法トシテ七万二千餘圓ノ請求デアルガ、是レバカシノ金デ果シテ警備ガ出來ルカト云フ質問デアリマシタ、當局ハ詳細ニ昭和三年ノ五月頃ニ馬賊ノ侵入ノ狀況ヲ述ベラレテ是ダケノ金デモ不足デナイ、是デ十分ト思フト云フ御返事デアッタ、樺太ノ方ハ山火事ノ消防用ニ要スル金デ五十八万二千餘圓支出シテ居ル、是ハ隨分大キイガ、是ハドウ云フヤウナ支出ニナツテ居ルカ、之ニ對シマシテハ樺太ニ於ケル夏ヨリ秋ニ掛ケテ旱魃ノ狀態ノ爲ニ火事ガ起ルコトガ餘程多イノデアリマシタ、三百十三箇所ト申シテ居リマス、林野ノ十五万町步ノ中、直接被害ガ三百五十万圓以上ト云フ大體ノ見當デアリマセウ、是位ノ災害ハアッタノデアリマス、消防費ハ七十一万餘圓ノ中十二万八千餘圓ヲ支拂ッタガ、不足ノ爲ニ今回要求サレタ、今回要求ノ分ハ未ダ未拂デアツテ、是ガ可決ノ後ニ支拂フト云フコトニナツテ居ル、是デ大體質問ノ全部ヲ私ガ申上ゲタノデアリマス、其他ノコトハ何ニモ質問ハアリマセヌ、兩方トモ第一號デアルガ、昭和三年度歳入歳出總豫算追加竝ニ昭和三年各特別會計歳入歳出豫算追加此兩方トモ全會一致ト見テ宜シカラウト思ヒマス、前申シタ如ク質問ナリ應答ガゴザイマシタガ、修正ナリ反對意見ハアリマセヌデ、委員會ハ通過シタノデアリマス、ドウゾ御賛成ヲ願ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 御異議ガナケレバ只今柳澤豫算委員長ノ報告サレマシタ兩案共一括シテ議題ト致シマス、兩案全部ヲ問題ニ供シマス、兩案全部ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

〔起立者多數〕

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ日程第四ヨリ第二十ヲ問題ニ供シマス、通告順ニ依リマシテ中村純九郎君ノ發言ヲ許シマス、同君ノ登壇ヲ請ヒマス

〔中村純九郎君演壇ニ登ル〕

○中村純九郎君 暫ク御邪魔ヲ致シマス、私ハ地租委讓ノコトニ付テ大藏大臣ニ伺ヒタイト思ヒマスガ、抑憲法第二十一條ニ日本臣民ハ法律ノ定ムル所ニ從ヒ納稅ノ義務ヲ有スルト云フコトハ單リ或稅目ニ付テハ單リ義務バカリデハナイ、榮譽ヲ有ツ意味モアルカト存ジマシテ、選舉、被選舉ノ資格ナドニモ直接國稅ヲ納メルモノト云フコトガ前ニハアリマシタ、今尙ホ陪審員ノ規定ニハ此納稅資格、而モ直接國稅ヲ納メルモノト云フコトニナツテ居リマス、此點ニ付テ恰モ憲法二十條ノ兵役ノ義務ト能ク似テ居リマス、義務バカリデヤナイ、或點ニ於テハ國家ノ公共ノ負擔ヲ擔フト云フ名目ニモナリマス、殊ニ地租ハ就中稅目ノ十九バカリアル中ノ地租ニ於テハ我國開闢以來ノ租稅デゴザイマス、ソレデ國民タルモノハ直接間接ニ此納稅ノ義務ヲ免レタルモノハ一人モナイ筈デアリマス、所謂普天ノ下王土ニ非ザル莫シ、率土ノ濱王臣ニ非ザル莫シト云フヤウナ次第デ一人モ免レテ居リマセヌ、全體此地租ト近來他ノ所得稅其他ノ稅ガ發達シマシテ、餘程憲法實施以來ノ時代トハ、餘程大切サガ違ッテ參リマシタニモ拘ラズ、又彈力ノ乏シイニモ拘ラズ、尙ホ餘リノコトニ……開闢以來ノ地租ヲ葬リ去ルト云フコトデアリマシタカラ、心配ニ堪ヘズ、少々外國ノ例モ調ベテ見マシタ、然ル所、極ク最近大藏省ノ調ベニ依リマスルト、私ガ調ベテ居リマシタ佛蘭西、伊太利等ノ稅ハ近來所得稅ニ織込まレテシマツテ、地租ト云フ項目ハ存セナイト云フコトデアリマス、獨リ英國……和蘭、白耳義等ニハ尙ホアルヤウデス、大藏省ノ調ベニハアリマセヌガ……英國ハ今尙ホ僅ニ六百万圓位ノ稅額ニ止ルニモ拘ラズ、尙ホ此地租ノ存置ヲ永續シテ居ル、流石ニ英國ト云フ所ハ舊慣ヲ重ンジ、古風ヲ尙ンデ慎重ナル國デアルト云フコトヲ、益、私ハ佩服イタシマス、申シマス通りニ段々他ノ稅種ガ發達シ、又段々何レノ國モ國用ガ多端ニナリマシテ、逐年此附加稅ハ超過スル一方デアリマス、殆ド本稅ノ倍、……二倍、三倍ト云フ風ニナリ

マシテ、之ヲ税額カラ申シマス。ト附加税却ッテ本税、本税却ッテ附加税ノヤウナ感ヲナシマス、斯ウ云フ時代ニ……我國デモ丁度サウ云フ趣ニナッテ來タヤウデゴザイマス、然ルニモ拘ラズ此土地ダケハ……土地ダケハ英吉利ノ如キ尙ホ存シテアルト云フモノハ、蓋シ國家ト……國ト人民トデ組織シテ居ル所ノ、所謂人ナクシテ國ナシ、國ナクシテ人ナシト云フ、相離ルベカラザル國家ヲ組織シテ居ル所ノ是ハ證デアル、斯ウ云フコトヲ信ジマス、別ケテ我國デハ往古神代ノ御神勅ニモアリマス通り、豐葦原瑞穗國ハ是レ吾ガ子孫ノ王タルベキ地ナリ、爾皇孫宜シク就キテ治ムベシ、寶祚ノ隆シナル當ニ天壤ト窮マリ無カルベシト云フノハ、是ハ即チ國體ノ本源デ、其豐葦原瑞穗國ト云フノハ、此土地ヨリ生ズル所ノ收入、即チ言ヒ換ヘテ見マスレバ、地租ヲ意味シテ居ルト云フコトニモ申サレ得ルト存ジマス、其以來……神代以來文獻ノ徵スベキモノガ確カニハアリマセヌガ、孝德天皇ノ時代ニナリマシテ、租庸調ノ制度ヲ行フ、租庸調ノ制度デ租ト云フコトハ即チ地租デス、尙ホ維新後ニハ地稅改正ト云フモノガ行ハレマシテ、是ガ即チ我國デハ是マデ稅法ノ二大變革トモ稱セラレテ居ル、サウ云フ關係ノアル地租、ソレニ付キマシテハ年代ノ古キニ從ッテ、何時ノ時代カラデゴザイマスカ、朝廷ニ於カセラレテモ祈年祭ノ式ガ行ハレルノデアリマス、尙ホ諸國ノ官國幣社ニ對シテモ、同様ニ祈年祭ガ行ハレルノデアリマス、是ハ諸君ノ御承知ノコトト存ジマス、其祈年祭ノ折ニハ、地方長官、郡長、町村長ナドト云フモノガ參列イタシマシテ、畏ク御祭リヲシテ居ルノデアリマス、ソレハ何ヲ祈ルカト申シマス、其年ノ豐年ヲ神明ニ祈ルノデアリマス、豐年バカリデハナイカ知レマセヌ、厄除ケ等モアルカモ存ジマセヌガ、主トシテ年ノ豐年ヲ祈ル、彼ノ大嘗會ノ小サナヤウナモノヲ行ハレルコトト信ジテ居リマス、サウシテ列祖列聖ガ……歴代ノ列祖列聖ガ此農民ノ、稼穡ノ艱難ヲ思召サレルノ大御心ト云フモノハ色々ノモノニ現ハレテ居リマス、殊ニ私ハ先年此壇上ニ於テ明治天皇ノ農家ニ對スルノ御軫念ノ御製ノ數首ヲ拜誦シテ畏マッタコトモアリマス、斯ク美ハシキ國體、萬國ニ絶シテ、我國獨リ君民共ニ年ノ豐凶ヲ考ヘテ、共ニ喜ビ

ヲ同ジウシ、共ニ憂ヲ齊シウスルト云フ、此國體ノ精華ト申シマスルノハ、何處ノ國ニモ無イ國體ノ精華デアラウト存ジマス、彼ノ藩籍奉還ト云フモノハ、諸君ノ御承知ノ通りデゴザイマスルガ、明治維新ニ藩籍奉還ト申シマスルカ、其藩籍奉還ハ大部分ヲ申シマスレバ、即チ既ニ三百諸侯ノ私有ノ如クニシテ占有セラレタ所ノモノヲバ、中央朝廷ニ奉還セラレタ趣意デアリマシテ、其領土ヨリ生ズル所ノ收入、即チ言ヒ換ヘレバ地租……土地ヨリ生ズル所ノ收入、地租ヲ中央政府ニ捧ゲラレタト云フコトモ言ヘマス所デヤナイ、主ナモノハ藩籍奉還ト言ヘバ取りモ直サズ數年間占有セラレタル所ノ土地ノ收入ヲ獻上セラレタト云フコトニナリマス、斯ノ如キ他外國ニ於テハ武力ヲ以テ領土ノ專權ヲ廢スルトカ、或ハ巨額ノ費用ヲ以テ賠償シテヤルトカ云フコトニ依ル例ハ見マスルガ、三百諸侯ノ愛國ノ精神ヨリ出デテ、斯ノ如キ美舉ヲ爲サレタト云フコトハ、歴史アッテ以來各國ニ其例ヲ見ヌコトデアラウト存ジマスル、現ニ我々ガ名ヲ同列ノ光榮ヲ等ウシテ居ル所ノ淺野侯爵閣下ノ如キ率先シテ藩籍奉還セラレタ一人、又諸君ノ御先代ハ此藩籍奉還ノ美舉ヲ敢テ爲サレタル所ノ勳功アル御先代ト斯ウ信ジマス、斯ノ如キ美シキ歴史ヲ持ッテ居ル此地租ヲバ根コソギニ根幹ヨリ之ヲ打ヤッテ市町村ニヤルト云フコトガ甚ダ歴史ヲ顧ミザルモノデアリマスマイカト云フコトガ私ノ深キ感デゴザイマス、昔ノ言葉ニ、仁政ハ必ズ經界ヨリ始マル、經界正シカラザレバ、井地正シカラズ、井地正シカラザレバ穀祿平カナラズ、斯ウ云フ言葉ガゴザイマス、經界ヲ正シウスルト云フコトハ最モ大切ナコトデアッテ維新以來地租改正ガ續イテ土地ノ検査ガ始マリマシタ、地租改正ガ行ハレマシタ、サウシテ經界ヲ正シウスルノ政ヲ施サレマシタ、此地租ニハ……經界ヲ正シウスル地租ニハ必ズ地籍ト云フモノガ附キ物デゴザイマス、地籍ヲ正シウシテ之ニ賦課ヲスル、之ニ地租ヲ賦課スルト云フコトニナッテ地籍ト地租ト云フモノハ離ルベカラザルモノデゴザイマス、ソレデ政府ハ此度地租ヲ町村ニ打ヤルモノデゴザイマスカラ、餘儀ナク茲ニ地籍法ト云フモノヲ新ニ設ケナケレバナラスマア必要ニナッテ來マシタ、ソレデ此地籍法ニ依ッテ從來ノ地籍ハ區別セ

ナイデヤル、斯ウ云フコトデゴザイマセウガ、此地籍ノ整理ト云フモノハ其地籍ヨリ生ズル所ノ收入ガアツテコソ稅務官モ仔々營々トシテ、地租ノ連脱ヲ取締リ、銳意其職ヲ行ヒマセウケレドモ、其地租ヲ離レテシマヒマシテハ、單リ町村ノ爲ニ職務ヲ勉強スルト云フコトニナリマスルカラシテ、他所事ノヤウニナリハシナイカト云フコトヲ私ハ虞レマスノデアリマス、又隨分此國ノ管理ノ……是迄ヤリマシタ中ニ於テモ尙且ツ權豪ノ邸宅、或某々ノ富豪ノ庭園ハ今尙ホ其樹木ハ……其山林樹木ト云フモノヲ田畑ノ土地ニシテ殘ツテ居ルト云フコトハ耳ニシタコトガゴザイマス、然ルニ今之ヲ町村ニ……地籍ハ町村ニヤリマセウケレドモ、今之ヲ町村ニ此土地ノ地租ヲヤリマシタナラバ、町村ハ此有租地無租地其他丈量無届開墾、其他ノ如キガ果シテ町村デ能ク取締リ得ルモノデアリマセウカ、是ガ縣念ニ堪ヘヌ所デゴザイマス、抑、此地租委讓ノ備ヲ作ツタモノハ濱口藏相ノ時代デゴザイマス、即チ地價二百圓以下ノ地租ヲ國稅ヨリ免ジテ、右ニハ特別地稅ト云ツテ地方ニ地稅ヲ課スルコトヲ許シマシタ、私ハ其當時ニ於テモ、之ニ反對ヲ唱ヘマシタガ容レラレマセヌデ、遂ニ今日小農諸君ハ最モ喜ビトシ愉快トシテ居ラレル所ノ年貢ノ上納ノ美風ト名譽トヲ此小農カラ奪ヒ去ラレタコトニナツテシマヒマシタ、全體現内閣ハ政友會内閣ト申サレテ、民政黨ノ諸君トハ常ニ相反シ相容レズ、互ニ相排撃シテ排謗構陷ヲ交ヘラレテ居ルヤウナコトデゴザイマスガ、財政政策トシテハ往々ニシテ其反對黨ノ民政黨ノ政策ニ追從セラレルヤウナ觀ヲ爲シマス、歲計豫算ガ總額十五億萬圓臺カラ十七億六千萬圓マデ上ボセタノハ民政黨ニ居ラレタ片岡前藏相時代デゴザイマス、又稅制整理ト稱シテ地價二百圓以下ノ地租ヲ地方ニ委讓シタルハ濱口藏相デ、サウシテ稅制整理ト稱シテ通行稅、綿織物消費稅、賣藥稅等ヲ廢シテ、其失フタル財源埋合セニ新タニ清涼飲料稅ヲ起シ、相續稅ノ累進率ヲ高メタト云フ朝三暮四ノヤリ方ヲセラレタヤウデアリマスガ、現内閣モ亦其例ニ倣ツテ歲計豫算ノ十七億五千萬圓ハ尙ホ繼承セラレ、地租ノ委讓ハ地價二百圓以上ドコロデナク全額ヲ棄テ、シマフ、サウシテ其埋合セニハ所得稅ヲ以テ補フ、誠ニ兩方ノ反對黨諸君ノ……

……反對黨ノ政論ガ全クニ追隨シテ行ハレルト云フヤウナ奇體ナ現象ヲ呈スルヤウニ考ヘラレマス、是ハ併シ私ノ批評ニ屬スルコトデスカラ止メマス、古語ニ己レノ欲セザル所ハ人ニ施スナカレト云フコトガアリマス、恐クハ此濱口藏相ノ地價二百圓以內ヲ委讓セラレタノハ、小農ニ同情スル意味モアリマシタラウケレドモ、恐クハ稅制整理ヲシテ即チ煩瑣ナ仕事ヲ市町村ニ打遣ッテシマフ、斯ウ云フコトデハナカッタウカト云フ感ジヲ致シマス、地租ニ地籍ト云フモノガ何時デモクッ附イテ居マスカラ、其地籍ノ整理ニ大變ナ手數ヲ要シマス、先般カラ伺セマス所ニ依リマス、地籍ノ分筆、合筆、地目變換、地類變換其他種々ナル地籍上ニ關スル事務ガ煩瑣デアリマスルカラシテ、折角地租ヲ減ジテヤツテ、サウシテ或ハ市町村ノ財源ニ充テルト云フ誠意ガ、此厄介者ガクッ附イテ行クト云フヤウナ虞ハアリマセヌカト云フコトヲ疑ヒマス、ソレ故ニ此地租條例改正案ト……私ノ考ヘモシ又願ヒモ、伺ヒモシテ見タイト申シマスノハ、此地租條例改正案デゴザイマス、是レ一本アリマスレバ、アトハ地租條例廢止案モ其他ノ是ダケノ此今日ノ案ハ不用ニナリマス、タツタ此地租條例中ノ改正、其地租條例改正案ニ對シテハ衆議院ニデモ何レニデモ論ハゴザイマセヌ、ソレハ地租ハ……此地租ハ是マデノ通り存シテ置イテ、此中ノ歩合ヲ減ズルト云フ此法案デゴザイマスルカラ、是レ一本アリマスレバ、地租委讓ノ政府ノ執ラレル所ノ主義モ立チマスルノミナラズ、又國體ノ精華ト云フ……先程述べマスル所ノ國體ノ精華ガ撲滅スルト云フコトノ虞モゴザイマセヌカラ、此澤山ニ地方ニ……即チ地租ヲ市町村ニ打遣ルト云フヤウナ御精神ガアルナラバ、此歩合ヲ地價百分ノ四箇ト云フノヲ百分ノ一デモ宜シウゴザイマセウ、百分ノ三カニト云フノヲ百分ノ幾ラト云フ……此數字ハ私ハ能ク承知シマセヌガ、是レ一ツアレバ容易ニ政府ノ市町村ニ對スル所ノ同情ノ精神モ能ク貫徹イタシマスルシ、又動モスルト、私ハ國體其モノトハ敢テ申シマセヌ、併シ國體ノ精華即チ美シキ……從來ノ美シキ此美風ヲ失フ、廢滅サセル、抹殺セシムルコトガナイ、又斯ノ如キ紛雜ノ論ヲ生ズルコトモナクシテ圓滿ニ行ハルルノデヤナイカト云フコトヲ私ハ深く信ジ

マスルノデス、ソコデ私ガ此地租……此案ニ付テ賛成モセナケレバナラヌ、又賛成スルコトモ出来ナイト云フ、私ハ兩難ノ立場ニ立ッテ居ルヤウデゴザイマスカラ、之ヲ一ツ何トカシ戴キタイト存ジマスノデス、抑モ私ハ貴族院ト云フ……貴族院ノ一員トシテノ私ノ自負心ガゴザイマス、ソレハ御承知ノ通り豫算案ハ先ヅ衆議院ニ附ス、豫算案ノ先議權ガ衆議院ニ在ル、何モ豫算案ノ審議權ガ後ト先ニナッタト云フダケノコトデ、何ニモ願慮スルコトハナイト考ヘル人モアルカモ知レマセヌガ、豫算案ヲ先ヅ衆議院ニ提出スルコト云フコトハ、衆議院ノ豫算審議ヲ餘程鄭重ニ、餘程遠慮ヲシテ審査ラスベキモノデアルト云フ精神デアラウト私ハ信ジマス、第二ノ先議權ト申シマスルモノハ此租稅案デゴザイマス、租稅案ハ調ベタコトハゴザイマセヌガ、必ズ是ハ矢張り、先議權デハゴザイマセヌガ、政府ハ先ヅ衆議院ニ出シテ、然ル後ニ貴族院ニ廻ルモノト存ジマス、又是マデ確カニサウ云フ先例ニナッテ居リマセウ、其租稅案、而モ衆議院ニ於テ可決セラレタ其可決ガ、甚ダ怪シイ可決デ、僅ニ十五名ノ差ヲ以テ可決シタト云フコトデゴザイマシテ、是ハ甚ダ躊躇スベキコトデハゴザイマスルガ、何シロスノ如キ政治ハ多衆政治ト云フコトニナリマス、モウ多數少數ト云フコトデ、物ハ決マッテ行クト云フコトデアリマスレバ、矢張り是ハ形式的ニモ已ムヲ得ヌ、即チ是ハ可決、一名ノ多數デ可決シテモ、殆ド全員デ可決シテモ、其可決ノ可決シタ値打ハモウ同ジコトニナリマス、ソレデ此只今申上ゲマスル通りニ、地租ヲ全部捨テ、シマフト云フコトハ國體ノ精華ヲ傷ケル、或ハ國體其モノヲ傷ケルト云コトモアルカモ知レマセヌガ、私ハ敢テソレ迄ハ申上ゲマセヌ、一方ニ賛成セントスルト致シマス、國體ノ精華ヲ消滅ヲサシテシマフ、又可決シテ來テ居ル此租稅案ガ……衆議院即チ納稅者ニ最モ接近シタル所ノ代表者デ組織シテ居ル所ノ衆議院、其衆議院ニ可決シタル稅制案ニ反對ヲスルト云フコトニナリマス

ルト、是ハ國家ノ存亡トカ財政ノ存亡ト云フコトナラ格別ノコトデゴザイマセヌガ、財政ノ得失、經濟ノ利害、其他社會問題ト云フヤウナコトデ、此可決セラレタル……衆議院デ可決セラレタル稅制案ヲ、貴族院デ否決スルトカ、

若クハ審議未了ニ終ハラシメルト云フ如キコトガアッテハ、是ハ大變ナコトデアラウト存ジマス、是ガ増稅ト云フコトニ付テ、是モ増稅デモ私ノ論法デ申シマスルト、私ノ考ヘデ申シマスルト租稅案デゴザイマスルカラ、衆議院ヲ通過シタ、其増稅案ヲ貴族院デ阻止スルト云フコトハ憚ラナクテハナラヌケレドモ、増稅案ナラバ尙ホ憚ル程度ガ薄イヤウナ感ジマスガ、減稅ドコロデヤアリマセヌ、免稅ト云フ案デ、免稅ト云フ案ヲ皆全國一万二千有餘ノ町村長ハ待ッテ居リマス、ソレヲ貴族院ノ反對デ、若クハ審議未了、審議未了ハ即チ結果ハ不成立デスカラ否決モ同様ニナリマスカラ、貴族院ノ否決若クハ審議未了デ……

○議長(公爵徳川家達君) 中村君、今本案ニ付テ政府ニ對スル質問デアリマスカラ、ドウゾ其積リデ成ルベク其範圍デ願ヒタイ、先日カラ皆様ニモ申上ゲテ居ル……

○中村純九郎君 分リマシタ……玆ニ於テ立場ガ甚ダ苦シイ、既ニ衆議院ハ可決シテ來テ居ル、衆議院デ可決シテ居ルノニ、貴族院デ研究審議セラレルノハ、飽迄研究審議セラレルノガ宜シウゴザイマスガ、是ガ全ク不成立ニ終ル、貴族院ニ於テ修正モ宜カラウト思フ、又質疑モ、討論モ、研究モ、無論是ハ自由デゴザイマスガ、是ガ全部否決セラレ、若クハ審議未了ニセラレルト、貴族院ハ即チ全國ノ怨府トナルデアラウト存ジマス、云フコトヲ心配シマス、故ニ是迄此案ノ議場ニ提案セラレテ以來、モウ既ニ質問ダケデモ五日ヲ費ヤシテ居リマスガ、尙ホ是ガ特別委員ニ付セラレマセウ、又會期モ餘リ長カラヌコトデゴザイマスカラ、動モスルト審議未了ニ終ラムトスルノ豫想モ亦慮ラレルコトデゴザイマス、是ハドウシテモ政府ハ會期延長奏請ノ意見モ持ッテ居ラレマスカラ、此案ノ通過シ、此案ノ審議終了セラル、迄ハ、會期ノ延長モ奏請セラレテ、成立スルヤウナコトニ願ハナケレバ貴族院ト云フモノノ立場ガ、此案ノ爲ニ最モ苦シム所デアラウト存ジマスカラ、果シテ政府ハ議會ノ延長モ奏請セラレテ、此案ノ通過ヲ望マレテ居ルカ否ト云フコトモ併セテ御尋ヲ致シマス、即チ之ヲ要スルニ私ノハ極ク簡單デ、之ヲ要スル

ニ國體ノ精華ヲ蹂躪シテ迄モ悉ク打遣ラナクテハナラヌカ、取ツテ置キハ出來ナイカ、地租條令改正案ノヤウニ取ツテ置キハ出來ナイカト云フコトト、是非撤回セラレルカ、修正ヲセラレルカ、若クハ會期ノ延長ヲ求メラレルカト云フコト、此大體二ツニ外ナラヌヤウニ存ジマスル、甚ダ訥辯デ御聽キ苦シウゴザイマシタラウガ、是デ……

〔國務大臣三土忠造君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(三土忠造君) 只今中村君ノ御意見ヲ承リマシタガ、中村君ハ我

國ノ地租ナルモノハ、最モ古ク歴史ヲ有スル租稅デアツテ、國家ノ歴史ト重大密接ナル關係ヲ有スル、從テ國體ノ精華、國民思想等ニ餘程親密ニ織込マレテ居ル關係ヲ有スルモノデアルガ故ニ、之ヲ國稅ヨリ離シテ地方ニ委讓スルト云フコトハ、此國體ノ精華ニ影響ヲ及ボシヤシナイカ、國民ノ思想ノ上ニ惡イ結果ヲ齎シハシナイカト云フコトノ御心配カラ起ツタ御質問ト考ヘルノデアリマス、勿論私共ハ此租稅制度ト云フモノト國體ト云フモノトハ必シモ關係ハナイト思フノデアリマス、租稅制度ナルモノハ社會ノ進歩、産業經濟ノ發達ニ伴フテ、變遷シテ行クコトハ當然デアリマス、要ハ國家ノ經費ヲ國民ガ負擔スルニ付キマシテ、如何ニシテ擔稅力ニ應ジテ負擔ガ行ハレルカ、納稅者ノ負擔ノ均衡ガ如何ニシテ保タレルカト云フコトガ問題デアリマス、是ガ又國民思想ニ重大ナル關係ヲ有スルノデアリマス、如何ナル國ニ於キマシテモ産業ノ幼稚ナル時代ニ於キマシテハ、土地ニ對スル課稅ノ外ハ稅ノ財源ハ無カッタノデアリマス、只今例ニ御引キニナリマシタ英吉利ノ如キモ全然地租ガ主デアッタノデアリマス、日本モ大寶令制定ノ時代ニ租庸調ノ制ヲ定メマシテ、主タルモノハ租デアリマスルガ、即チ地租デアリマス、各國皆同ジデアリマスルガ、段々産業ノ進歩ニ伴ヒマシテ、其外ニ國民所得ガ増シテ來ル、是ガ爲ニ稅ノ變遷ヲ來スノデアリマシテ、何レノ國ニ於テモ相當發達シタル國ニ於テハ地租ト云フモノガ今日殘ツテ居リマシテモ極メテ輕微ナルモノデアリマス、英國ノ例ニ付キマシテハ昨日添田君ノ御質問ニ對シテモ私ハチヨット申シテ置イタノデアリマス、只今中村君ノ御述べノ通り英

國ニ於テハ尙地租ト云フ形體ハ存シテ居リマシテ、而モ僅ニ六百萬圓ノ收入デアリマス、英國ノ租稅收入ニ對シテ六百萬圓ト云フモノハ誠ニ輕微ナルモノデアリマス、添田君ノ御述べノ通り「ナポレオン」戰爭ノ際ニ軍費支辨ノ一ツノ方法トシマシテ、當時地租年額ノ四十倍ニ當ル公債ヲ提供スレバ永久ニ租稅ヲ免除スルト云フ方ヲ採リ、其後又變リマシテ三十倍ニ減リ、段々ニ減ゼラレ段々ニ變遷ヲ經マシテ、所得稅免稅點以下ノ者ハ地租ヲ免除スルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、英國ノ今日ノ六百萬圓ト云フモノハ英吉利ノ國民トシテ極メテ少數ノ國民ガ負擔シテ居ルノデアリマシテ、誠ニ殘骸ニ過ギナイモノデアリマス、然ラバ英國ハ何故ニ斯様ナ稅ヲ置イテ居ルカト申シマス、追ニ英國ハ古イ事ヲ尊ブ國デアルカラ、之ヲ存置シ居ルト云フノデアリマセヌ、是ハ最早相手ニナラヌト云フノデアアル、之ヲ廢シタイト云フコトハ英吉利ノ政治家モ考ヘテ居リマスケレドモ、輕微ノ問題デアリマスカラ力ヲ入レヌト云フノガ一ツ、モウ一ツハ一時ニ四十倍、三十倍ノ公債ヲ提供シテ免除シタモノトノ均衡上イカヌト云フコトデ左様ナ點カラ存置シテ居ルノデアリマシテ、地租ト云フモノハ英國ニ於テハ眼中ニ無シト申シテ宜カラウト思フノデアリマス、而シテ土地ニ對スル課稅ハ所得稅ノ一部ニ織込シテ課稅シテ居ルノデアリマシテ、日本モ段々ニ左様ナ傾向ヲ帶ビテ參リマシテ、前內閣ノ時代ニ矢張り社會政策的趣旨カラ自作農ニ對シテ地價二百圓以下ノ者ハ免稅イタシマシテ……國稅トシテハ免除ヲ致シマシテ、地方ニ於テ他ノ地租ト附加稅ト同額ダケノ稅ヲ取ラヌト云フコトニ致シタルデアリマス、當時中村君ハ是モ亦反對ダト申サレタノデアリマスルガ、私ハ是ハ最モ適當ナコトデアアル、段々ニ左様ニナツテ行クモノデアラウト思ヒマス、所謂普天ノ下王土ニアラザルハナク率土ノ濱王臣ニアラザルハナシト云フ觀念カラ出發シテノ御議論デアリマシタガ、此觀念カラ申シマスレバ、此觀念ニ付キマシテハ是ハ支那ノ言葉デアリマスルガ、寧ロ日本ニ最モ適切ニ當ル觀念デアラウト思ヒマス、稅法ガ如何ニ變リマシテモ、普天ノ下王土ニ非ルハ莫ク率土ノ濱王臣ニ非ルハ莫シト云フ觀念ハ、少シモ私ハ變ル所ガナイト考

ヘルノデアリマス、又収益税ノ意味ニ於テノ地租ト云フモノハ國税トシテ廢シマシテモ、土地ヲ持ッテ居リマスル者ハ相當程度以上ノ者ハ矢張り所得稅ヲ納メルノデアリマス、今回ノ所得稅法ノ改正ニ於キマシテモ、是マデ取ッテ居ル一般ノ所得稅ノ外ニ土地ニ對スル課稅ガ行ハレテ居ルノデアリマシマス、更ニ比例稅ニ於キマシテ土地ヨリ生ズル所得ニ對シテ課稅ヲ致スノデアリマス、土地ニ對シテハ課稅ヲ全然免除スルコトニナルノデアリマス、中村君モ御承知ノ通りニ地方自治團體ノ財政ノ急迫ハ私ガ屢、申上ゲル通りデアリマス、殊ニ稅ノ負擔ト云フモノガ公正ヲ缺イテ居ル、是ガ自治團體ノ健全ナル發達ヲ阻害シテ居ルト云フ狀況ハ重ネテ申ス必要ガ無イト思ヒマスガ、斯ノ如キ事情デアリマスカラ、全國ノ町村長ガ是マデ長イ間毎年集リマシテハ全會一致ヲ以テ、何トカシテ地方ノ自治團體ノ財政ヲ助ケテ貰ハナケレバイカス、ソレニハ地租營業稅ヲ地方ニ委讓シテ吳レト云フコトヲ屢、決議シテ居ルノデアリマス、私ハ是ハ地方ノ事情ニ通ズル者ノ殆ド輿論ト申シテ宜カラウト思フノデアリマス、斯様ナ次第デアリマスカラ此處ニ地租及營業收益稅ヲ地方ニ委讓スルト云フト云フコトヲ考ヘタノデアリマス、社會ノ變遷經濟狀態ノ推移ニ伴フテ稅制ノ改正ヲ致シマスルコトガ、國家觀念若クハ國體ノ精華等トハ私ハ關係ハ無イ、又サウ心配スル必要ハ無カラウト思フノデアリマス、而シテ已ムヲ得ズンバ此地租ト云フモノハ國稅トシテ存シテ置キマシテ、地租條例ヲ改正シテ大部分ハ地方ニヤッテモ宜イガ、地租ハ取ラシテモ宜イガ、極メテ少部分デモ國稅トシテ存シタナラバドウカト云フ御意見デアリマス、是ハ一ツノ理窟デアリマスルケレドモ、若シ相當多額ノ國稅ノ減稅ヲ致シテ、其減稅シタ部分ヲ地方ニ讓ルト致シマス、國稅トシテ存スルモノハ非常ニ輕微ナモノデナケレバナラヌ、其輕微ナモノデナケレバナラヌ地租ニ對シテ、賃賃價格ヲ調査シテ課稅ノ公平ヲ保タシムルト云フコトニ致シマスルト云フト、所謂費用倒レニナッテシマフノデアリマス、殊ニ地租ハ一筆毎ニ課稅ヲスルモノデアリマスカラ、今日ニ於キマシテモ共有財産ニ付キマシテハ一人當リ一錢トカ八厘トカト云フ納稅ヲ致シテ居ルモノモアル

ノデアリマス、之ヲ非常ナル割合ヲ以テ減シマスと云フト、殆ド一厘ニモ當ラヌヤウナモノモ出來テ參ルノデアリマス、左様ニシテ所謂國稅トシテ存スルト云フコトハ如何デアリマセウカ、故ニ存スルナラバ存スル、撤廢スルナラバ撤廢スル、ドチラカニ極メマセスト云フト、ホンノ輕微ナルモノトシテ生カスト云フコトハ、到底徵稅ノ點カラ申シマシテモ又賃賃價格ノ點カラ申シマシテモ、非常ナル費用ヲ要シマシテ、國稅トシテ得ル所ガ少イノデアリマス、左様ナ點カラ中村君ノ御說ニ從フコトハ出來ナイノデアリマス、又地籍事務ト云フコトハ非常ニ重大ナルモノデアルト云フコトデアリマスガ、是亦私ガ提案ノ理由トシテ述ベマスル際ニ附加ヘテ申上ゲマシタ通りニ、國家ノ諸般ノ政策カラ見マシテモ又國民ノ權利義務ノ觀念カラ申シマシテモ、地籍ヲ適正ニ整理スルト云フコトハ極メテ必要ナルコトデアリマス、ソレ故ニ地籍法ヲ制定イタシマシテ之ヲ整理スルノデアリマス、中村君ハ是マデノヤウニ稅務官吏ガ地租ヲ徵收スルト同時ニ地籍事務ヲ整理シテ居ルナラバ收入ガアルノデアアルガ、今度ハ稅務官廳ニ於テハ只地籍ヲ整理スルダケデアアルカ收入ガ無クナルノデアアル故ニ樂ミガ無イカラ亂雜ニ行ヒハセスカト云フ御心配デアリマスルガ、是ハ國家ノ官吏ガ處理イタシテ居リマスル國家行政事務ト云フモノハ他ニ澤山アリマスル、收入ヲ生ジナイモノガ無論澤山アルノデアリマス、之ニ付キマシテモ矢張り官吏ハ忠實ニ國家ニ對シテ處理スベキ事務ニ從事イタシテ居ルノデアリマス、是ハ私ハ少シモ心配ハ無イト思ヒマス、只法制ノ立テ方如何ノ問題デアリマスルガ故ニ、是ハ適當ニ法制ヲ立テマシテ、是マデノ如ク稅務官吏ヲシテ地籍事務ノ處理ヲ致サセマシテモ、決シテ之ヲ粗漏ニ致シマシタリ、或ハ怠慢ニ致スト云フヤウナ事ノ無イト云フコトヲ私ハ確信イタス者デアリマス、大體右申シマシタ所デ御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス

〔中村純九郎君演壇ニ登ル〕

○中村純九郎君 果シテ市町村ニ委讓サレルノハ厄介拂ヲ伴フテ居ルト云フ事柄ハ今ノ御答デ分リマシタ、往々ニシテ此政務官ノ大藏省ナドニ在ル諸君

ハ動モスルト國全體ノコトヲ考ヘズ、國ノ氣風トカ國體トカ、國ノ美風ト云フモノヲ顧ミズ、只算盤ノ上カラ數字ノ上カラ打遣ッテシマヘ、丁度此税制整理ヲ家財道具ノ片附デモスルヤウニ一緒ニ倉ヘシマッテシマヘト云フ心持デヤラレルト大變ナ次第デアラウト思フ、何故此僅カナ、丁度言ハレル通りデス、英吉利モ多分サウデセウガ、僅カナモノヲ地租條例ヲ改正シテ、少シバカリ殘シテ置イタラ此上モ無イデヤナイカト私ガ申シマシタガ、サウ云フコトヲシテハ手數……成程猫ノ額ミタヤウナ地面モ之ヲ丈量モシナクチャナラス、分筆モシナクチャナラス、色々ナ手數モアリマセウ、昨日邊リカラ承リマスルト毎年一千万件カラ件數ガアルト云フコトデアリマス、是ハ已ムヲ得ナイ、國ノ性質ヲ保存シ國ノ國風ヲ保存スルニハ是ハ已ムヲ得マセヌ、其位ナコトデ地租ヲ即チ厄介拂的ノ腹デ地租ヲ免除サレテハ大變デアラウト思ヒマス、併シソレハ利害論ニナリマス、私ハ是マデ諸君ガ税制ノ得失又經濟ノ利害、社會問題等ニ於テ御研究モアリマスガ、私ハ……

○議長(公爵徳川家達君) 中村君、政府ニ對スル再質疑ト議長ハ心得テ宜シウゴザイマスカ

○中村純九郎君 ドウカ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) ドウカ再質疑ニ願ヒタイ、先日カラ議員諸君ニ御注意申シテ置キマシタカラ無論速記録デ御承知ト考ヘマス、中村君ノミニ御許シ申スコトハ甚ダ議長トシテ面白ク無イト考ヘマス、十分御注意ヲ願ヒマス

○中村純九郎君 動、モスルトサウ云フコトニ言葉ガ脱線イタシタカモ知レマセヌガ、其趣意デゴザイマス、厄介拂トシテ之ヲ拂フト云フコトハ遺憾ニ存ジマスルガ、重ネテ、ソレニ付テ重ネテ、斯ウ云フ國風ノ美ナル所ヲ御考慮下サル道ハアルマイカト云フコトヲ重ネテ伺ヒマス

〔國務大臣三土忠造君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(三土忠造君) 重ネテノ御質問デアリマスガ、私共ガ地租ヲ地方ニ委讓スルト云フコトハ厄介拂ヲスルヤウナ考ハ少シモ持ッテ居リマセヌ、先

刻モ前内閣ノ時代ニ二百圓以下ノモノヲ地方ニヤッタノハ、厄介拂ヲシタノデヤナイカト云フ御話デアリマシタガ、私共ハサウ見テ居リマセヌ、社會政策ノ見地竝自作農擁護ノ必要上カラヤラレタコトヲ最モ適當デアルト考ヘテ居リマス、只今申シマシタノハ、若シ地租ト云フモノヲ國稅カラ撤廢シマスルト、中村君ノ御心配ニナル如ク國體ノ精華ヲ傷ケル、國民ノ愛國思想ニ非常ニ影響ヲ及ボス問題デアリマスレバ、私共地租委讓ト云フコトヲ企テマセヌ、或ハ減税ヲ致シマシテ一部分地方ヘヤッテ國稅トシテ存スルコトノ必要ガアリマセウガ、前來申上ゲマス通り、左様ナ性質ノモノデハ無イト考ヘテ居リマスカラ、中村君ノ御心配ハ御尤ト考ヘマスルガ、私ハ税制ノ立方ト云フモノハ社會ノ産業其他ノ進歩ニ隨ヒマシテ變ッテ來ルモノデ、是ガ國體トハ大シタ關係ハ無イコトト考ヘマス、ソレカラ先刻申落シマシタガ、會期ヲ延長シテモ政府案ノ通過ヲ圖ルカト云フ御話デアリマシタガ、只今ノ所會期ノ延長ヲ奏請スルト云フ考ヘハ少シモ持ッテ居リマセヌ、マダ相當ノ時間モアリマスルシ、無論重大ナ問題デアリマスカラ慎重御審議ハ願ハンナリマセヌガ、十分私共出來ルダケ皆サンニ御説明申上ゲ、御諒解ヲ仰ギマシテ、會期ノ中ニ御協賛ヲ得ンコトヲ期待シテ居ル次第デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ青木周三君ノ質疑ノ發言ヲ許ス筈デゴザイマスガ、最早正午ニ近ク相成リマシタカラ、青木君ノ質疑ハ午後ノ會議ニ御讓リヲ願ヒタウゴザイマス、午後一時三十分マデ休憩イタシマス

午前十一時五十六分休憩

午後一時四十一分開議

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ報告ヲ致サセマス

〔瀨古書記官朗讀〕

本日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ直ニ裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

昭和三年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)

昭和三年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特第一號)

本日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

馬ノ傳染性貧血ニ罹リタル馬ノ殺處分ニ關スル法律案可決報告書

本日豫算委員長ヨリ豫算委員青木周三君ヲ第六分科擔當委員ニ選定シタル旨ノ報告書ヲ提出セリ

本日内閣總理大臣ヨリ左ノ通政府委員仰付ケラレタル旨ノ通牒ヲ受領セリ
商工省所管事務政府委員

特許局長官 崎川才四郎 君

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、青木周三君ノ登壇ヲ望ミマス

〔青木周三君演壇ニ登ル〕

○青木周三君 私ハ鐵道會計カラ減債基金ヲ繰入レル、一般減債基金會計ニ五年度カラシテ繰入ラスルト云フコトニ關シテ聊カ疑ヲ懷イテ居ル者デゴザイマシテ、其事ニ付テ伺ヒタイト思ッテ居リマス、鐵道會計カラシテ減債基金ヲ繰入レルト云フコトハ、必シモ是ガ兩稅委讓ニ直接ノ關係ヲ有ッテ居ルトハ政府デハ仰シヤラナイノデアリマスルケレドモ、併ナガラ鐵道會計カラ減債基金ヲ繰入レル所ノ約二千萬圓ト云フモノハ何トシテモ兩稅委讓ノ財源トナルト云フコトハ、是ハ屢、政府ノ仰シヤル所ニ依ッテモ明カナル事デアリマスルカラシテ、此場合兩稅委讓ノ問題ガ上程セラレテ居ル時ニ政府ニ御伺ヒスルト云フコトガ適當デアラウト思ッテ、此壇ニ登リマシタ譯デゴザイマス、元來私ハ自分ノ事ヲ申上ゲマシテ甚ダ相濟ミマセスケレドモガ、元政治ニ關係ヲシタコトガ無いノデアリマス、社會ニ出マスルト、鐵道ノ片隅デ今日ニ至ル迄事務ノ事許リヤツテ居リマシタノデアリマス、隨テ政治上ノ問題ニ付テ彼此レ論ズル資格モアリマセヌシ、殊ニ此財政計畫ニ關スルヤウナ事ニ關シテハ、誠ニ淺薄ナル知識シカ有ッテ居リマセスケレドモガ、此減債基金ヲ鐵道會計カラ入レルト云フコトハ、今迄ヤツテ來テ居ル事ニ稍、關

係ヲ有シテ居ル爲メ、自然其處ニ疑ヲ生ジテ諸君ノ御清聴ヲ汚スニ至ッタ次第デゴザイマス、減債基金ヲ一般會計ニ繰入レルト云フコトニ付テハ、屢、大藏大臣カラシテ伺ヒマスルコトハ、是ハ誠ニ從來カラアツタ所ノ問題ヲ、當然解決スベキ問題ヲ單ニ解決シタダケデ、成程ソレカラ生ズル所ノ餘裕ガ兩稅委讓ノ財源ニモナルケレドモガ、是ハ其爲ニハヤッタノデハナイ、斯ウ云フ風ナコトヲ屢、伺ヒマスルノデアリマス、元來此大藏大臣ガ兩稅委讓ニ關シテハ、誠ニ丁寧反覆、本議場ニ於テノミナラズ、又衆議院ニ於テノミナラズ、昭和俱樂部デアルトカ或ハ朝日新聞ノ講堂デアルトカト云フ所デ屢、御説明ニナツテ、誠ニ雄辯ニ、丁寧反覆説明セラレテ居ルノデアリマス、其御説明ヲ承ッテ居リマスルト云フト、主タル點ハ兩稅委讓ハ國民ノ負擔ヲ輕減スルモノデアツテ、何等公債ニ依ルトカト云フヤウナ方法ヲ用ヒズシテ、國民ノ負擔ヲ輕減スル所ノ社會政策デアルト、斯ウ云フコトガ全部デハ勿論アリマセスケレドモガ、強ク主張セラレル所ノ點デゴザイマス、デ國民ハ行政ノ費用ハ、一般ノ國家ノ費用又地方團體ノ費用ヲ總計シテ何等ノ減ル所ガナクシテ、サウシテ國民ノ負擔ガ輕減セラレルト斯ウ云フコトガ、如何ニモ喜ブト同時ニ不思議ニモ思ッテ、其理由ニ付テハ殆ド身體ヲ耳ニシテ其理由ヲ聞カムト欲シテ居ルノデアリマス、大藏大臣ガ誠ニ反復其理由ヲ御説明デアリマスルケレドモガ、如何ニモ此簡單ナル問題ヲ十分ニ理解サセルコトガ出來ナカッタヤウニ私ハ考ヘルノデアリマス、ドウモ誠ニ私ハ先程モ申シマスル通りニ、斯様ナコトニハ殊ニ不敏ナモノデアリマスルケレドモガ、大藏大臣ノ仰シヤル所ヲ聞ケバ聞クホド、何等カ政府ノ財政ガ如何ニモ複雑デ如何ニモ難解ナルモノデアアル事ニ……言葉ガ惡イカモ知レマセスケレドモガ、蔭ニ隠レテ何トナク國民ヲ錯誤ニ導カセヤウトスルヤウナ御説明ヲ爲サルンデヤナイカト云フヤウナ氣ガ致シマス、是ガ私不敏ヲ顧ミズ私ノ疑ヲ率直ニ述ベテ、サウシテ大藏大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイト思フ所以デアリマス、例ヘバナゼ左様ナコトヲ言フカト云フノニ、是ハ私ガ主トシテ質問スル要點デハアリマセヌシ、無論間違ッテ居ルカモ知レマセスケレドモガ、兩稅委讓ノ代リ財源ノ最

モ重要ナモノデ、又何人モ承服スル所ノモノデアアル所ノ三年度、四年度ニ於ケル節約及自然増收ノ額約三千幾百万圓ト云フ所ノモノハ、是ハ自然増收ハ暫ク措キマシテ、節約額ノ二千數百万圓ト云フモノハ、是ハ二千數百万圓ト云フコトハ甚ダ少ナイヤウデアアルガ、前内閣前々内閣ト行政整理ヲ續ケテ來タ後ヲ引受ケテハ誠ニ少ナイガ、是レ以上ノ節約ト云フモノハ經濟的ニハ出來ナイ、斯ウ云フコトヲ屢、仰シヤツテ居ラレマシタガ、又六年度カラ行フ所ノ主力艦隊ノ財源、是ハドウスルノダト云フヤウナ追窮ガアリマス云フト、是ハ國防ノコトハ捨テ、置ケヌカラシテ、其時ハ他ノ經費カラ節約シテ之ニ應ズルト斯ウ仰シヤル、如何ニモ其點ガ我々ニハ受取リ難イ所ガアルノデアリマス、近來ハ又其説明モ變ツテ來テ、或ハ補助艦艇ノ費用ヲ細工ヲシテ生ミ出セヌコトハナイ、ト云フヤウニ仰シヤラシイノデゴザイマスルガ、是ハ私ノ重要ナル點デアリマセヌケレドモガ、斯様ニ説明ガ彼方ニ行キ此方ニ行キ、頗ル雄辯ニ御説明ニナリマスルケレドモガ、此處ヲ擱ヘテ見マスルト又彼方ニ變ツテ行クト云フヤウナ氣ガ致シマス、若シ節約ヲ以テ……他ノ經費ヲ節約シテ、是ハ海軍ノ補助艦艇ヲ節約シテ出來ルモノナラバ是ハ私ハ知リマセヌ、併シ他ノ經費ヲ節約シテ、サウシテ國防主力艦隊ニ應ジ得ラル、モノナラバ、何モ六年度ニ至ツテ節約ナサル必要ガナイノデ、今日只今カラ御節約ニナルノガ當リ前デヤナイカト、斯様ナ考ヘモスルノデアリマス、又是ハ昨日上山君カラモ御指摘ニナツテ大藏大臣ノ御答辯モゴザイマシタガ、電話ノ公債ノ如キ、私共ガ此兩稅委讓ノ稍、形ガ出來タ時ニ大藏大臣ノ御出席ヲ煩シマシテ、昭和俱樂部ニ於テ御説明ヲ承ツタ際ニハ、電話ノ公債ト云フヤウナモノガ、此兩稅委讓ノ財源ニナルヤウナコトハアリマセヌ、是ハ震災後特殊ノ關係カラシマシテ加入者ニ負擔セシメテ、サウシテ架設シテ居ッタノデアアルガ、是ハ國費ヲ以テ架設スルノガ本式デアアル、デアアルカラシテ今マデ加入者ニ負擔セシメテ居ッタ所ノモノダケラ、公債ニ替ヘルノデアアルカラシテ、是ハ他ノ財源ニナルヤウナコトハアリマセヌ、斯様ニ仰シヤッタコトヲ私ハ聽イテ居リマス、私バカリデナク多クノ人ガ皆左様ニ聽キ、左様ニ

信ジテ居ッタノデアリマス、ソレデアアルカラシテ此事ガ屢、議會ノ問題ニナツテ、果シテサウデアアルカト云フコトヲ皆ガ注意ヲ致シマシテ、追窮ヲ始メタノデアリマス、私共モ大藏大臣ガアレ程ニ仰シヤッタコトデアアルカラシテ、其點ハ恐ラクハ間違アルマイト考ヘテ居ッタ一人デアリマス、ソレガ衆議院ニ於テ田君ニ追窮セラレテ、其一億五千万圓ト云フモノガ、此加入者ノ負擔ヲ公債ニ替ヘタモノノ外ニ一億五千万圓ト云フ金ガアルト云フコトガ明カニナッタノハ、田君ヤ川崎君ノ如キ玄人ガ追窮シテ、初メテ分ッタコトデアリマス、ソレカラ後ト云フモノハ之ニ對スル説明ガ變ツテ來ル、マア昨日ニ至ツテハ最モ新タナ説明ヲ拜聽イタシタノデアリマス、併ナガラ此衆議院ノ豫算委員會ニ於テ田君ヤ川崎君ガ烈シク質問ヲスル迄ハ恐ラクハ私共ノ如キ其方ニ關係ノ殆ド無カッタ所ノ議員ハ、マア私ノヤウナ不敏ノ中ニ諸君ヲ加ヘルト云フコトハ甚ダ失禮デゴザイマスルガ、恐ラクハ大藏大臣ガ、アレ程ニ言ハレタノデアアルカラシテ、電話ノ公債ニ關スル限り他ノ財源ニ使ハレルト云フヤウナコトハアルマイト御信ジニナッタデアラウト思フ、所ガ段々ト玄人ノ研究ニ依リマスルト云フト、加入者ノ負擔金ト云フモノト公債ノ募集額ト云フモノノ中ニ一億五千万圓ノ開キガアルト云フコトガ明カニナッタノデアアル、ソレカラ先キニ至ツテ、此問題ニ關スル説明ガ變ツテ來タノデアリマス、變ツテ來タガ昨日ニ至ツテハ、上山君ノ質問ニ對シテハ、電話ノ……上山君ノ質問ハ私ハ少シ激シ過ギル、公債ヲ發行スルコトヲ得トアレバ、公債ヲ發行スル義務ガアルノデヤナイカト云フヤウニ、政府ハ考ヘテ居ヤシナイカト云フヤウナ御質問デ、是ハ如何ニモ激シイ御質問ダト考ヘテ居リマシタ所ガ、此電話ノ公債ニ限ツテ、大藏大臣ハ義務ガアル、電話ノ架設ノ事業ノ如キハ公債デアルノガ當リ前デアアル、斯様ニ仰シヤルニ至ッタノデアリマス、之ニ對シテ私ハ議論ヲシヤウトハ考ヘテ居リマセヌガ、ソレガ果シテ當リ前デアアルヤ、當リ前デナイヤト云フコトヲ申上ゲルト云フト、討論ニモナリマセウシ意見ノ相違ニモナリマセウケレドモ、私共ハ假ニソレガ當リ前デアッテモ、今マデノ通りニ若シ一般會計ノ普通ノ財源ヲ以テ電話ガ架設シ得ルナラバ、

其方が宜イデヤナイカト考ヘルモノデアリマス、大藏大臣ノ御議論ニ依リマスルト、電話ト云フモノハ中産階級以上ノ架設スルモノデアアルカラシテ、一般ノ國民全體カラ徵集スル所ノ租稅ヲ以テ架設スルト云フコトハ宜シクナイ、斯ウ云フ御議論デアリマス、併ナガラ私共ハ直チニソレヲ左様デゴザイマスカト云フテ引下ル譯ニ行カナイヤウナ考ヘガスルノデアリマス、電話ハ成程中産階級以上ノ人ガ架設シマスルケレドモガ、又其電話ト云フモノハ必シモ慰ミヤ、贅澤ノミニ使ハレルモノデハナクッテ、是ハ産業ニ使ハレルノデアリマシテ、産業上ノ働キヲスルノデアリマス、是ガ必ズヤ、國民ノ生活費ニ持ッテ行ッテ負擔セラレルモノニナルノデアリマスカラシテ、若シ是ガ一般會計ノ財源カラシテ出來ルモノナラバ……今マデヤッテ居ッタ通りニ出來ルモノナラバ、之デヤルノガ私ハ當リ前ダト思ヒマス、現ニ大藏省カラ發表ニナリマシタ所ノ、此電話ノ追加事業ノ計算書ヲ拜見イタシマスルト、四年度マデハ二千數百萬圓ノ長距離電話ノ架設費ト云フヤウナモノヲ、一般普通ノ財源カラヤッテ居ッタ、是ガ五年度カラハ公債ニ代ルコトニナッテ居ルノデ、ソレカラ後ハ此電話ノ收支デ以テ、ズット十五年度マデニ納マリガ付クヤウニ出來テ居リマスガ、之ヲ入レナイノハドウ云フ譯ダト云フト、是ハ他ノ財源ニ當テアル、既ニ他ノ財源ニ當テテ居ル、今マデアッタ所ノ、電話ノ事業カラ得タ所ノ利益ハ、他ノ財源ニ當テテアル、即チ電話ノ事業ト云フモノハ或何ボカノ、即チ二千萬圓出來ルノカ、三千万圓出來ルノカ知レマセヌケレドモ、ソレダケノ益金ガ上ッテ來ル、其益金ト云フモノガ一般會計ノ財源ニナル、詰リ租稅收入デ以テ支辨シ得ベキ所ノ事業ノ財源ニナッテ居ルノデアリマスカラシテ、必シモ公債ニ依ラナクチャナラヌト云フ理由ハナイ、ソレカラ得タ所ノ益金ガ租稅收入ヲ以テ支辨スベキ所ノ費用ヲ助ケルナラバ、決シテソレガ中産階級ノミニ使フモノニハ一般財源タル租稅ヲ以テソレニ當テヌト云フ理由ニハナルマイト考ヘマス、併ナガラ此事ハ私ノ主トシテ承リタイト云フ所デハアリマセヌガ、若シ間違ッテ居リマシタナラバ是モ序デノ節ニ御教示ヲ願ヘレバ結構ダト思ヒマス、又棚卸シヲスルヤウデ甚ダ恐縮デ

ゴザイマスガ、昭和俱樂部ニ於テ承ッタ所ニ依リマスルト云フト、昨日御質問ニナリマシタ稻田男爵ガ、昭和俱樂部ニ於キマシテモ大藏大臣ハ自作農ニ付テハ御反對ニナルヤウデアルガ、自作農ト云フモノガ出來ルト云フト、二百圓以下ノ、免稅點以下ノ小農ガ澤山出來ル、サウスレバ地租委讓ト云フモノハ、折角御委讓ニナッテモ、市町村ノ財源トスルノニ不便ナモノニナルノデハナイカト云フコトヲ、稻田男爵ガ聞カレマシタ所ガ、大藏大臣ハ、自分ハ自作農ニ反對デヤナイト云フコトヲ仰シヤッタ後デ、併ナガラ自作農ノ創定維持ト云フコトハ、アナタノ御心配ニナルヤウニ小農ガ……小地主ガ澤山出來テ、ソレデソレガ地租ニマデ關係スルヤウニ出來レバ至極結構デアリマスガ、併ナガラサウ云フ風ニ拵ヘタ自作農ト云フモノハ、直チニ色ノ財政上ノ事情カラシテ他ニ兼併サレテ、左様ナモノハ多クハ殘ラヌカラシテ心配ハアリマセヌ、斯ウ云フ風ニ言ハレマシタ、是ハ私が誤ッテ居ルノカト思ッテ稻田男爵ニ承リマシタ所ガ、正ニ自分モ左様ニ聞イタ、又二三ノ人ニ聞キマスルト云フト、サウ云フ風ニ聞イタヤウニ皆仰シヤル、所ガ昨日ノ議場ニ於キマシテハ……昨日デアリマシタカ、一昨日デアリマシタカ、大藏大臣ノ其點ニ關スル御答辯ハ誠ニ晦澁ト申シマスカ分リニククッテ、何かサウ云フ風ニシテモ、所有者ガ變ッテ行クト云フコトヲ言フタノデアルト仰シヤッタヤウデゴザイマスガ、所有者ガ名前ガ變ルトカ何トカ云フヤウナコトハ、サウ云フ問題ニ何等ノ關係ハナイノデアリマシテ、小農ガ潰レルカ潰レヌカト云フコトガ、地租委讓ガ市町村ノ財源トナルカナラヌカト云フコトニ關係スルノデアリマシテ、人ガ變ルトカ名前主ガ變ルトカ云フヤウナコトハ、稻田男爵モ御聞キニナッタノデヤナカラウト思フノデアリマス、斯様ニ大藏大臣ハ屢々御説明ニナルノニ、サウ云フ風ニ色ノ様ニ御説明ガ變化ヲシテ行ク度ニ、誠ニ雄辯ニ、丁寧ニ御説明ニナリマスノデ、私共ハ聞ク度ニ或ハサウデアアルカ、サウデアアルカト思ッテ尤モダト思ヒマスケレドモガ、熟考ヘテ見ルト其中ニ何等カノ塊リガ、吞込メナイ塊リガ滯ッテ居ルヤウナ感じヲ禁ズルコトガ出來ナイノデアリマス、誠ニ、何時デゴザイマシタカ、戰爭當時「アスキ

ス」氏ニ對シテ、斯カル國歩艱難ノ秋ニ雄辯ナル總理大臣ヲ戴クコトハ、英國ノ不幸デアルト云ツテ叫ンダ、人ガアリマスルガ、大藏大臣ノ雄辯ト云フモノモ我國ノ不幸ニナラナケレバ宜イガト云フヤウナ心配ヲ禁ズルコトガ出來ナイノデアリマス、斯様ニ色々御説明ガ變リモスルシ、何ダカ軟カイ御説明ノ中ニ吞ミ込メナイモノガ含ンデ居ルト云フコトハ、最モ私共ガ平生接觸シテ居ッタ所ノ此鐵道ノ減債基金ノ繰入ト云フコトニ付テモ痛切ニ感ズルノデアリマス、此コトハ餘リ世間デ問題ニモシマセヌシ、又是ハ代リ財源ノ極ク一部デアリマスカラシテ、大藏大臣ハ之ニ關シテ御説明ヲナサル時ニハ極メテアッサリト事モナゲニ仰シヤリマシテ、是ハ多年ノ懸案デアッテ鐵道會計ト雖モ減債基金ノ繰入ヲ爲スベキモノデアアル、然ルニ色々ナ事情デ以テ今日ニ至ル迄減債基金ガ繰入レテナイ、是ハ誠ニ不都合デアルカラシテ其懸案ヲ解決シタニ止マツテ、是ハ地租委讓ノ爲ヤッタモノデナイ、斯様ニアッサリト片付ケテオシマヒニナルノガ常デアリマス、最モ是ガ公債財源ヲ以テ委讓ノ財源トスルト云フコトニ甚ダ關係ノ薄イモノデアルト云フコトヲ繰返シテ御説明ニナルノデアリマス、私共ハソレモ左様デアルカ知ラヌト思フテ居リマスケレドモガ、是ハ必シモ悉クイケナイトカ、無理ダトカ云フコトヲ申上ゲルノデハアリマセヌ、ソレノ中ニ甚ダ矢張り前カラ申上ゲマス通りニ吞込メナイ所ノ塊リヲ含ンデ居ルト云フコトヲ疑ヒマシテ、此點ヲ多少理由ヲ述べサシテ戴キタイト思フノデアリマス、此點ハ多クノ人トハ申シマセヌガ、往々ニシテ極ク間違ヒ易イコトガアルノデアリマス、是ハ必シモ大藏大臣ノ説明ガ間違ヲ起スト云フノデモ何デアリマセヌガ、話ノ序デニ分リ切ッタコトノヤウデアリマスルガチヨット述べマスルガ、減債基金會計法ガ出來テ、鐵道會計ノ公債……鐵道會計ノ負擔ニ屬スル公債、一般會計ノ負擔ニ屬スル公債ガアル、其總額ノ万分ノ百十六ヲ減債基金法デ以テ減債基金ニ繰入ラスル、ソレヲ鐵道會計ガ少シモ出サナイデ、サウシテ一般會計ノミガ出シテ居ッタノデアリマス、今迄……是ハ甚ダ不都合デアアル、不都合ニ相違ナイガ、其不都合デアルト考ヘル人ノ中ニハ或ハ鐵道ノ債務ノ償還ヲ一般會計ガシテ居ッ

タノデアアルカラ不都合デアルト云フヤウニ考ヘル人ガ往々ニシテアル、是ハ間違デゴザイマシテ、一般會計カラ繰入レマシタ所ノ減債基金ト云フモノハ、鐵道ノ債務ニ屬スル所ノ公債ハ一文モ償却シテ居ラスノデ……償却シタモノハ全部一般會計ノ債務ヲ償却シテ居ッタノデアリマス、只率ガ万分ト云フ万ノ中ニハ鐵道會計ノ公債ガアルケレドモガ、其償還シタモノハ一般會計ノ所謂藏相ガ屢、仰シヤル處ノ、不生産的公債ト云フモノヲ多ク含ム一般會計ノ債務ヲ償却シテ居ッタノデアリマス、デアリマスルカラシテ言葉ヲ換ヘテ申シマスルト云フト、鐵道トカ、或ハ臺灣デアルトカ、製鐵所デアルト云フヤウナ特別會計ノ公債ヲ償却スルコトヲ後廻シニシテ、大藏大臣ガ屢、言ハレル所ノ不生産的ノ公債ヲ早ク先ヘ償却スル、是ガ此公債ノ信用ニ最モ關係ノアルモノデアアルカラシテ、何ハサテ措キ一般會計ノ此不生産的債務ヲ最先ニ償却ヲシテ、サウシテ稍、信用ヲ維持シ得ル所ノ特別會計ノ公債ハ後廻シニシテ、後カラソレヲ償却シテ行カウト云フノガ從來ノ政府ガ執リ來ッタ所ノ政策デアッテ、其通りニナツテ居ッタノデアリマス、此事ハ別段ニ私ガ申上ゲルマデモナイ、分リ切ッタコトデアリマスルケレドモ、是カラ先キニ述べマスルコトニ頗ル關係モアリマスルシ、又ドウカスルト云フト十人ニ二人カ三人ハサウ云フ誤解ヲ懷カレル方ガアリマスルカラシテ、此事ヲ申上ゲテ置キタイトデアリマス、左様デゴザイマスルカラシテ、今度執ラレタ所ノ政策ノ通りニ致シマシテ、鐵道會計カラ減債基金ヲ繰入レテ、鐵道會計ノ債務ヲ償却スル額ガ万分ノ百十六ト決ッテ居ルノデアリマスルカラシテ、鐵道會計ヨリ二千万圓入レレバ二千万圓入レルダケ一般會計ハ二千万圓入レル必要ガナイ、一般會計ハ二千万圓ト云フモノヲ出サナイカラ、ソレガ浮イテ來テ此兩稅委讓ノ財源トナルノデアリマスルガ、其働キニ依ッテドウ云フ結果ガ公債ニ生ズルカト申シマスルト云フト、從來ノ政府ガ順次執リ來ッタ政策ニ依リマス、一般會計ノ、藏相ガ言ハレル如クニ、何トカシテ早ク償却シテ行キタイト云フ所ノ不生産的公債ト云フモノノ償却ガ順次遅レルノデアリマス、今度ノ政策ト云フモノハ一般會計ノ債務ヲ遅ラシテ、態、遅ラシテ、サウ

シテソレガ從來カラアッタ所ノ懸案ヲ解決ヲシタノデアルト、斯ウ仰シヤルノデアリマス、私共ハ正ニソレガ從來カラアッタ所ノ懸案デアリマスルケレドモガ、其解決ノ方法ハ頗ル異様ナル所ノ解決ノ方法デアルト考ヘルノガ、私共ガ疑ヲ禁ズルコトガ出來ナイノデ、素人デアアルニ拘ラズ質問ヲシテ蒙ラ啓イテ戴キタイト云フノハ、ソコニアルノデアリマス、是ハ大藏大臣ガ屢、仰シヤルコトデゴザイマシテ、數次此議場ニ於キマシテモ、衆議院ノ議場ニ於キマシテモ言ハレル所デアリマシテ、鐵道ノ公債ノ如キ事業公債ハ何程出テモ市場ノ消化力ニ關係スルダケデアルカラ、消化力サヘアレバ是ノ殖エルコトハ一向心配イタシマセスト仰シヤッテ居ルノデアリマス、デアリマサルカラ其上ニ私ガソレニ蛇足ヲ加ヘル必要ハアリマセヌケレドモガ、殊ニ鐵道ノ會計ト云フモノハ必シモ一般會計ノ公債ト比較シテ、サウ急イデ一般會計カラモ万分ノ百十六、鐵道會計カラモ同ジク万分ノ百十六ト云フモノヲ押ヘテ、或年ニナッタナラバ鐵道會計モ一般會計モ公債ガビシヤット一緒ニ、同時ニ無クナルト云フヤウナ方法ヲ執ルガ宜イカ、執ラナクテモ宜イカト云フコトハ、一應御考ヲ願ヒタイノデアリマス、私ハ必ズ是ハ鐵道會計ノ公債、事業公債ト雖モ是ハ借金デアアル、借金デアアルカラ返ス方法ガ立ッテ居ナクチャナラヌト云フコトハ、私ハ何處迄モ信ジテ居ルノデアリマス、相當ナ方法ヲ講ジテ借金ヲ返ス途ハ立テ、居ナクチャナラヌ、併ナガラ今鐵道ノ會計ヲ通覽イタシマスルト云フト、鐵道ノ會計ハ御承知ノ通りニ毎年公債ヲ募ッテ鐵道ノ建設ヲ致シテ居リマス、年々此利息ヲ拂ハナケレバナラヌ所ノ債務ガ年々大キクナッテ行クノデアリマス、殊ニ今度ノヤウナ内閣ガ出來マスルト云フト、市場ノ消化力サヘアリサヘスレバ何ボデモ公債ヲ募ッテ多少不利益ナ所ノ線デアッテモ、私共ハ理論ヲ推シ詰メテ行キマスルト、租稅ヲ以テ支辨シテ行カケレバナラヌヤウナルト思フ程ノ線路モ、建設シテ行クト云フヤウナ御趣旨デイレシヤルノデアリマスルカラシテ、非常ニ此利子ヲ支拂ハナクチャナラヌ所ノ債務ガ増加シテ行キツ、アリマスルガ、併ナガラ一方ニハ私共ガ……私共デナイ、法律デ特有資本ト申シマスル

カ、利子ヲ支拂ハナクテ濟ム所ノ、而モソレハ非常ニ收益ヲ舉ゲルコトノ率ノ高イ財産ガ、是ハ又今ノ利子ヲ支拂ハナクチャナラヌ所ノ債務ヨリ……債務デ出來タ所ノ資本ヨリハ尙ホ一層長足ノ進歩ヲ以テ殖エツ、アルノデアリマス、甚ダ言葉ガ廻リ諄クナリマシテ御分リニクカッタカト思ヒマスルガ、詰リ利子ヲ支拂ハナクチャナラヌ資本ト、利子ヲ支拂フコトヲ要シナイ自分デ稼イダ所ノ資本トノ二ツアル、其片ッ方、所謂利子ヲ支拂ハナクチャナラヌ所ノモノガ殖エルヨリハ、ヨリ早イ所ノ速力デ、利子ヲ支拂ハナイデ濟ム所ノ資本ガ殖エツ、アルノデアリマス、大正七年ニハ此利子ヲ支拂ハナクチャナラヌ所謂借入資本ト申シマスルモノガ八億六千萬圓アリマシタ、サウシテ利子ヲ支拂ハナクテ濟ム所ノ特有資本ガ四億一千万圓アリマシタ、稍、大正七年ニハ半分デゴザイマシタ、所ガ今日ハ利子ヲ支拂ハナクチャナラヌ所ノ資本ガ十五億アリマス、利子ヲ支拂ハナイデ濟ム所ノ資本モ十五億ニッナテ居ル、トシ……ニナッテ居ルノデアリマス、斯様ニ此利子ヲ支拂ハナイデ濟ム所ノ資本ガ段々殖エテ行ッテ、利子ヲ支拂フコトヲ要スル所ノ資本ト云フモノヲ包ンデ行クヤウナ傾向ヲ有ッテ居ルノデアリマスカラシテ、サウ大藏大臣ノ言ハレル通りニ此公債ト云フモノハ、何ハ儲テ措キ一般會計ノ債務ヲ償却スルノヲ廢メテ迄モ急イデ償還シナクチャナラヌト云フコトハ私ハソレ程ニ考ヘテ居ラヌノデアリマス、然ルニ今度ノ財政計畫ハ一般會計デ藏相ガ言ハレル所ノ不生産的債務ト稱スル所ノモノハ何トカシテ早ク償還……償却シタイト云フ處ノ償却ハ遲ラシテ、サウシテ藏相ノ言ハレル所ノ、私ハ心配シテ居リマセヌ、是ノ殖エルコトハ一向心配シテ居リマセスト仰シヤル所ノ生産的債務ノ方ヲ償却スル、是ガ多年ノ懸案ヲ解決シタ所ノ當然ノ方法デアルト仰シヤル所ニ私ハ不審ガアル、何ノ爲ニ左様ナ矛盾ナコトヲ遊バスノデアアルカト云フコトガ私共ニハ分リ兼ねルノデアリマス、其事ヲ伺ヒタイノデアリマス、是ハ私……皆様モ御聽キニナッタコトデアリマスガ、若槻サンノ質問ニ對シテモ、亦加藤政之助君ノ質問ニ對シマシテモ、大藏大臣ハ正ニ左様ニ言ッテ居ラレルノデアリマス、最モハッキリシテ居ッタノハ加藤君ニ對スル

所ノ答辯デアリマスガ、事業公債ノ殖エルト云フコトハ宜イトハ言ハヌガ止ムヲ得ナイ、何デモ日本ノヤウニ國デ以テ電話モヤレバ、鐵道モヤルヤウナ所ニ於テハ事業公債ノ殖エルノハ已ムヲ得ヌ、之ニ對シテハ何等ノ心配ヲシテ居リマセヌ、唯此不生産的公債ノ殖エルノハ誠ニ因ル、是ハ何トカシテ濟シ崩シノ方法ヲ以テ速ク償却スル所ノ途ヲ講ジナクチャナラヌト考ヘテ居ルケレドモガ、未ダ的確ナル方法が見付カラヌ、斯様ニ仰シヤツテ居ルノデアリマス、ソレ程御心配ニナツテ居ル所ノ不生産的公債ノ償却ハ態、遲ラシテ、サウシテソレ程心配ヲナサラナイ、何等ノ心配ヲ要シナイト仰シヤル所ノ鐵道ノ公債ハ償却ノ方針ヲ樹テテ、サウシテソレガ多年ノ懸案デ頗ル當リ前ノコトヲ解決シタニ止マル、依ッテ浮イテ來タ所ノ財源ガ地租委讓……兩稅委讓ノ財源トナルノデアルト云フ説明ヲシテ居ラレルノデアリマス、是ガ私共ガ何トナク吞込メナイ所ノ固イ塊リデアルト云フコトヲ申上ゲルノデアリマス、此點ハ恐ラク私バカリデアリマセヌデ、皆様ノ内ノ幾部分モ何トカ政府ノ説明ガアリサウ……聞キタイト御考ヘニナルコトデアラウト思ヒマスカラシテ、此點ヲ舉ゲテ質問イタシマシタ所以デコザイマス、大藏大臣ハ此減債基金ノ繰入ニ關シテ、是ハ憲政會内閣ノ時ニ於テモ主義ヲ認メテ居ッタコトデアツテ、何人モ疑ハナイ、極ク當リ前ナコトデアルト云フヤウナコトヲ仰シヤルノデアリマス、其事ニ關シテハ多少事實ガ違ッテ居ルトハ申シマセスケレドモガ、往々ニシテ世人ヲ錯誤ニ導ク形ニナリツ、アリマスカラシテ、其事ニ關シテモ一言申述べサセテ戴キタイト思フノデアリマス、憲政會内閣ノ時デアリマシタカ、三派内閣ノ時デアリマシタカ、今ハ取調ベル方法ガアリマセヌモノデアリマスカラシテ、其點ヲハッキリ記憶イタシテ居リマセヌガ、恐ラクハ三派内閣ノ時デアッタラウト思ヒマス、其時ニハ此矢張り一般緊縮ノ方法、政策ヲ御執リニナツテ減債基金ト云フモノモ鐵道會計モ減債基金ノ繰入ヲシテ鐵道會計ノ債務モ償還ノ方法ヲ立テナクチャナラヌト云フコトガ廟議デ話ガアッタサウデアリマス、所ガ其時ノ廟議ハ今ノ御趣旨トハ餘程趣ヲ異ニシテ居ル、當時ハ此公債ト云フモノハ一切募ラヌト云フコトヲ

原則トシテ、已ムヲ得ザル所ノ帝都復興費デアルトカ、今迄計畫シテ行キツツアッタ所ノ鐵道ノ建設チャトカ云フモノモ出來ルダケ減ジテ、減ジタ上デ何トシテモ今迄ノヤリ掛ケヲヤツテ行カナクチャナラヌト云フモノダケヲヤルト云フヤウナ、ソレヲ公債デ支辨スル、斯ウ云フ風ナ方針デヤラレテ居ッタデアリマスルカラシテ、私共ノ鐵道ニ關スル限リニ於キマシテハ、數年ノ後ニハ、數年ノ後ニハ鐵道ノ益金ガ順次殖エテ來テ、建設費モ改良費モ鐵道ノ益金ヲ以テ支辨シテ行ケル時ガ來ル、現在ニ於テハ、現在ト云フモノハ其當時デアリマス、其當時ニ於テハ尙ホ公債ヲ募集シテ、サウシテ建設ヲシナクチャナラヌ所ノ時期ニアルノデアル、此際ニ一方ニハ金ヲ借りテ建設シナクチャナラヌト云フ所ノ時代ニ於テ、一方ニハ金ヲ借り一方ニハ金ヲ拂フト云フヤウナ事ハ如何ニモ減債ノ趣旨ニ合ハヌカラシテ、先ヅ以テ現在ノ計畫ガ完成ヲシテ公債ヲ募ルコトヲ要シナイ時ニ至ッテ減債基金ヲ繰入レテ遅クナイ、減債ト云フコトハ讀ンデ字ノ如ク債務ヲ償却シテ行ク所ノ方法デアル、一方ニ債務ガ殖エツ、アル際ニ、ソレニ持ッテ行ッテ借リタ金デ以テ……債務ヲ殖ヤシテ償却ノ方法ヲ立テタカラト言フタツテ、ソレガ一向其償却ニナラヌカラ、ソレ迄待タウデヤナイカ、數年ノ後ニハ改良費モ建設費モ益金デ支辨ガ出來ル、其時ニ至ッテ初メテ減債基金ノ繰入ヲシヤウ、斯ウ云フコトニ御決定ニナッタヤウニ私ハ承ッテ居リマス、其益金ヲ以テ改良建設ヲシテ行ケルト云フ其時ハ何時デアるかト云フト、是ガ今カラ申シマスルト昭和五年カ六年頃デアッタト思ヒマス、是ハ其當時ノ當局者ガ計算ヲ誤ッテ或ハ非常ニ殖エルト鐵道大臣ガ屢言ハル、所ノ非常ニ殖エルト思ッテ居ッタ所ノモノガ殖エナイデ、現在ニ於テハ其當時豫想シテ居ッタヤウナ所ノ益金ハナイ、斯ウ云フ事デアリマシテ、其當時豫想シテ居ッタ通りニ行ハレナイコトハ事實ナンデアリマスケレドモガ、其當時之ヲヤラウト言フタ精神ハ其通リデアリマシタ、尙ホ近來ニ至リマシテハ段々ニ其當時ノ四千六百萬圓位ノ建設費デ以テヤル積リデ居ッタヤツガ現在ニ於テハ六千萬圓トナリ、八千万圓トナリ、尙ホ事情ガ許スナラバ一億圓ニモシタイト云フヤウナ鐵道

大臣ノ御希望デアルノデアリマスルカラシテ、是ハナカ／＼此三派内閣ノ時ニ勘定シテ居ッタヤウナ譯ニハ參ラナイ、サウ云フ際ニ於テ一方ニハ一億萬圓モ公債ヲ募ッテ、一方ニハ益金ハ順次不良ナ所ノ建設線ガ殖エル、或ハ自動車ト競争ガアルト云フヤウナ爲ニ、段々益金ハ減ジツ、アルト云フ際ニ、金ヲ借りテマデ減債基金ヲ積立テヤウト云フノハ、從來サウ云フ計畫ハシタコトハナイノデアリマス、デ、私共ハ此様ニ……現内閣ノ御方針ノヤウニ致シマスルト云フト、一方デハ八千萬圓ノ公債ヲ募ッテ二千萬圓ノ減債基金ヲ入レル、六千萬圓ダケハ殖エテ來ル、順次殖エテ行ク所ノモノガドウシテ之ガ減債ノ方法ニナルノデアリマセウカト云フコトヲ疑フノデアリマス、一方ニハ公債……鐵道公債、即チ特別會計ノ公債ハ殖エル一方トナル、不生産の公債、一般會計ノ方ハ減債基金ノ……鐵道會計カラ減債基金ヲ繰入レルカラ、一般會計カラ減債基金ノ繰入レヲスル必要ハナイ、ソレデアルカラ不生産のノ公債償還ハ遅レル、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ消極的ニ不生産的ノ公債ガ殖エル、斯ウ云フ風ニナッテ行クト云フコトガ、ドウシテ是ガ減債基金法ノ精神ニ適フノデアリマセウ、是ハ減債基金法ト云フモノハ万分ノ百十六ハ、政府ガ何トシテモ繰入レテ行カナケレバナラスカラ、是ハ明文ニ違フ譯ニ行カヌカラシテ、明文ニ從ッテ減債基金ノ繰入ハスル、併シ其繰入ヲスル所ノ金ハ借りテ來テ拂フ、斯ウ云フノデアリマシテ、マルデ減債基金法ノ精神ト云フモノハ没却シテ、減債基金會計法ノ明文ニ從ッテ減債基金會計法ノ精神ヲ壞ル、斯ウ云フ風ニ私共ニハ受取レルノデアリマス、斯様ニ現内閣ノ方針ヲ迪ッテ行ッテ見マスルト云フト、ドウモ只今申シマスル通りニ、成程減債基金會計法ノ明文ニハ合スル、合スルケレドモガ一向ニ減債ノ實ハ舉ラナイ、舉ル方法ヲ以テヤラレルノデハナシニ、唯法律ガ命ジテ居ルカラ、ソレダケハ金ヲ借りテモヤラウト云フヤウナ御趣旨デアリマス、其上ニ先程カラ繰返シ繰返シ申シマスル通りニ、此一般會計、詰リ質ノ惡イ所ノ不生産的債務ノ償却ヲソレガ爲ニ遅ラスノデアリマス、斯様ニ是ハ取モ直サズ一方ニ於テハ不生産的債務ノ償却ヲ遅ラシテ、一方ニハ鐵道會計ノ如キ減債基金ヲ繰入レル所ノ

金ガアレバ、其金ヲ廻ハシテ建設費ニシテ、八千万圓募ル所ヲ六千万圓募ッテ置ケバ濟ムノデアル、ソレヲ態、法律ノ明文ト云フモノガアルト云フノデ、ソレデ以テソレダケノ金ハ別ニ募ッテ減債基金ニ入レルト云フ、要ラヌ所ノ公債ヲ殖ヤス、詰リ積極的ニ公債ヲ殖ヤシ消極的ニ公債ヲ殖ヤス、斯ウ積極ト消極トノ公債ノ増加ヲ圖ラレテ、ソレデ二重ノ金ガ浮イテ來ルノデアル、建設費ハソレデ以テ補フ、地租委讓ノ財源ハソレデ以テ補フ、斯ウ云フ風ナ方法ヲ爲サレテ、サウシテ是ハ少シモ公債ニ關係ノナイ所ノ今マデノヤリ方、懸案ヲ解決シタ所ノ、當然ノ方法デアルト仰ッシャッテ居ルノデアリマス、是ガ私共ハ甚ダ分ラヌ、言葉ヲ換ヘテ言ヒマス、私共ハ結局少クトモ、外ノコトハ私共ハ素人デ分リマセヌケレドモガ、八千万圓ノ此國庫ノ缺陷ノ中デ、二千万圓鐵道カラ繰入レル所ノ減債基金ノ關スル限り、二千万圓ダケハ少ク共公債ニ依テ、此委讓ノ財源ヲ得ラレタモノデハナイカト考ヘルノデアリマス、是ガ先程カラ國民ガ、私ガ申シマスル所ノ國民ガ疑フ所ナノデアアル、行政ノ費用ハ中央地方ヲ通ジテ一向ニ減ッテ居ナイ、減ッテ居ルノハ先程申シマシタ二千三百萬圓トカ、二千數百萬圓ノ金ハ減ッテ居ルカモ知レマセヌガ、目ニ見エル程ノ費用ガ減ッテ居ナイデ置イテ、國民ノ負擔ガ輕減ガ出來ルカラクリハ茲ニアルノダト云フ疑ヲ私共ハ持ツノデアリマス、サウデナクチャナラヌ、ドウシテモ無イモノカラ有ルモノハ生ズルコトハ出來ナイ、是ハ物理學ガ許サナイ、斯様ニ今日ノ負擔ヲ明日ニ延バシテ、サウシテ是ガ輕減ト云フ、是ハ所謂朝三暮四ノ政策デアリマシテ、狙公ハ以テ猿ヲ欺クコトガ出來ルカモ知レマセヌガ、大藏大臣ハ以テ國民ヲ納得サセルコトハ出來マイト私ハ考ヘルノデアリマス、……ト私ハ考ヘルノデアリマスルガ、併シ是ハ私ノ疑ヒデアリマシテ、此點ニ政府ノ御辯明ヲ承リタイ譯ナノデアリマス、討論ヲ致シテ居ルノデハアリマセヌガ、サウシテ又モウ一ツ疑ヒガアリマスルノハ、鐵道會計ハ先程カラ述べマスル通りニ、尙ホ八千万圓ノ公債ヲ募集シテ鐵道ノ建設ニ充ツルコトガ必要ダト、現政府ハ考ヘテ居ラレテ、ソレニ從ッテ豫算ヲ提出シテ居ラレルノデアリマス、是ハ衆議院ニ於キマシテモ議論ニ

ナリマシタ點デアリマスルガ、先程モ申シマシタ通りニ、此鐵道會計ノ益金カラシテ減債基金ニ繰入レル所ノ金ガアルナラバ、其金ヲ以テ建設ニ充テテ、サウシテ公債ノ募集額ヲ減ズル方ガ誠ニ常識的デモアリマスルシ、サウシテ又鐵道、帝國鐵道會計法ノ精神モ、其處ニアルノチャナイカト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、帝國鐵道會計法ニ於キマシテハ、鐵道益金……「資本ノ不足ハ鐵道益金ヲ以テ之ニ充ツ」資本ノ不足ト申シマスルノハ、言葉デハ字ガ分ラヌカモ知レマセスカラ申シマスルガ、資本ノ不足ト申シマスルノハ建設改良費ノコトデゴザイマス、建設改良費ハ鐵道益金ヲ以テ之ニ充ツル、若シ益金ニ不足ガアツタ時ニハ公債又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得、其鐵道益金ト云フモノハドウ云フモノデアアルカト云フコトモ亦法律ニ定メテアル、ソレハ營業收入カラ、營業ノ諸費、竝ニ公債ノ利息、公債取扱諸費、或ハ行政ノ監督ヲシテ居ル者ガアリマスガ、サウ云フ費用ヲ拂ッテ其總額カラアトノ總額ヲ差引キマシタ殘リヲ鐵道益金ト云ツテ居ル、デアリマスルカラ鐵道益金ト云ツテ今ノ始終問題ニナリマスル所ノ、改良費ノ財源トナル益金ト云フノガソレデゴザイマス、ソレデアリマスカラシテ其益金デ建設費ヲ支辨シ、改良費ヲ支辨スルノデアリマス、ソレデ不足ガアツタナラバ公債ヲ募集スルノデアアル、斯ウ云フ法律ノ立前ニナツテ居ルノデアリマスルカラシテ、借金ヲ……減債基金ヲ入レル前ニ……其減債基金ニ入レル前ニ益金ノ餘裕ガアルナラバ、ソレデ以テ建設費ヲ支辨シテ、サウシテ公債ノ額ヲ減ズルト云フコトガ、減債基金會計法ノ精神、ソレヲ設ケタ精神デアアル、成程ソレデハ特別會計カラ減債基金ヲ繰入レテ居ナイカラシテ、甚ダ不都合デアアルヤウデアリマスケレドモガ、ソレダケ公債ノ募集ガ少クナツテ居ルノデアリマスルカラシテ、若シ今ノヤウニシテ置クノガ、成程明文ニハ其通りデアリマスルケレドモガ、八千万圓募ッテ二千万圓ハ減債基金ニ入レルト云フコトデアリマスルナラバ、六千万圓ト云フ金ハ公債ノ額ハ殖エルノデアリマス、斯様ナ何ト申シマスカ如何ニモ法律ニハ從ッテ行ク、法律ノ明文ニハ從ッテ行クガ、其精神ハソレデ以テ壞レテ行ク、丁度稅務署ノ右手ノ官吏ガ同族會社ニ雇ハレテ租稅ノ逋脫

ヲスルヤウニ、法律ニハ從フケレドモガ其法律ニ從フト云フコトデ以テ、法律精神ヲ壞シテ行クト云フヤウナヤリ口ノヤウニ私共ニハ見エル、斯様ニ其點ヲ私共ガ非常ニ心配シテ居ルノデアリマスルガ、其方ノ議論ハ姑ク措イテ置キマシテ此鐵道ノ、サウ云フ金ガ一體政府デハソレハ改良費ヲ節約シテ、改良費ヲ節約シテ得タ所ノ金デ以テ減債基金ヲ繰入レルノデアアル、改良費ハソレ程要ラナイ、ソレ位ノ節約ハ出來ルノデアアルカラシテ、ソレデ以テアルノデアアルカラシテ、其減債基金ニ入レルベキ理由ガアルト、斯ウ云フ風ニ説明ヲシテ居ラレルノデアリマス、此改良費ニ付テモ私共ハ議論ガアルノデアリマス、成程改良費ハ一億數千万圓ノ……一億四千万圓トカ五千万圓トカ云フ大變ナ金額デアリマスルカラシテ、此中カラ一割二三十分ノ一千七八百万圓ノ金ヲ出スト云フコトハ必シモ不可能ナコトデアリマセヌ、又サウ云フコトモ必要ガアレバ出來ストハ私ハ申シマセヌ、申シマセヌガ併ナガラ今ノ改良費ト云フモノガ鐵道大臣ハ屢、改良ノコトハ十分ニ執行ッテ、尙ホソレダケノ餘リガアルノデアアルト仰シヤイマスルケレドモガ、私共ハソレヲ皆左様デゴザリマスルカト云フコトデ悉ク受入レル譯ニハ參リマセヌ、是ハ有ルトカ無イトカ云フコトハ、結局水掛論ニ終ルコトデゴザイマスルカラシテ、此事ニ關シテ質問ヲシヤウトハ考ヘテ居リマセヌガ、併ナガラ此事モ一應諸君ノ御耳ニ容レテ置クコトガ必要デアラウト私ハ思フノデアリマス、其改良費ハ今申シマスル通りニ、一億數千万圓ノ費用デゴザイマシテ、一々ソレノ項目ニ互ッテ申上ゲルト云フコトハ、誠ニ煩雜デゴザイマスカラシテ、屢、諸君ノ御目ニ付クモノニ付イテ申上ゲテ見タイト思ヒマス、ソレハ何カト云フト、鐵道ノ車輛ノ改良デゴザイマス、鐵道車輛ノ改良ト云フモノガ、果シテ鐵道大臣ノ言ハレル通り十分ニ出來テ居ルカドウカ、鐵道大臣ガ就任ノ後ニハ改良費ノ財源ガ非常ニ少ナクナッタノデアリマスルカラシテ、何カカラ是ハ減少シナケレバナラヌ、是ハ減ジタノガ惡イト云フノデモ何デモアリマセヌガ、四千万圓ノ車輛ノ改良費ノ中カラ一千万圓ノ改良費ヲ御捨テニナツテ居ルノデアリマスカラ、四分ノ一ノ減額ヲシテ居ラレルノデアリマス、是ハ人嘖哩

ヤ、貨物ノ哩數カラ考ヘテ、ソレデ十分デアッタカラヤッタノダト云フ御説デアリマスガ、左様デアリマセウト思ヒマス、其分ニ付テ私ハ此處デ水掛論ヲシヤウト云フノデアリマセヌガ、鐵道ノ車輛ノ狀態ハドウ云フ風ニナッテ居ルカト云ヒマス、鐵道ノ機關車ノ種類ガ百五十アリマス、客車ハ六七百ノ種類ガアリ、又貨車ノ種類ガ六百種モアルノデアリマス、是ハ各種ノ鐵道會社ヲ合併イタシマシテ、又年次……年々造ルノデアリマスカラ、技術モ進歩イタシマスルシ、又型モ變ッテ來ルノデアリマスカラ、斯ウ云フ色ノ種類ガ出來テ來ルノハ、是モ亦已ムヲ得ヌデアリマスケレドモ、併ナガラ機關車ノ種類ガ百五十種、客車ノ種類ガ六七百種モアルト云フコトハ、實際ノ運轉ヲスル上ニ頗ル不便ノモノデアリマス、能率ガ非常ニ惡イノデアリマスカラ、是ハ出來ルコトナラバモウ少シ三分ノ一位ニ種類ヲ減ジタイト云フコトハ、一般ノ鐵道ノ業務ニ當ッテ居ル者ノ希望デアリマス、又サウスルコトガ此運轉ノ能力ヲ上ゲル上ニ非常ニ必要ノ事ナンデアリマス、經費ノ節約ヲスルコトカ、能率ヲ上ゲルト云フヤウナコトモ非常ニ必要ナコトデアリマスケレドモガ、是ハ歷代ノ内閣ガ能ウヲ著ケナイ莫大ナ費用ノ掛ルコトデアリマスカラ、ソレヲ放ッテ置イテドウスルト云フノデアリマセヌガ、併ナガラサウ云フ風ニ車輛ニハ色々ノ種類ガアリマスガ、其中デソレハモウ鐵道經營上ソレダケノ改良費ガ出セナイノデアリカラ已ムヲ得ヌト致シマシテモ、鐵道ガ國有ニナッテ、サウシテ一般ノ……此間カラ鐵道大臣ガ言ハレル通り、國民ノ爲ニ出來テ居ルノデアリカラ、一般ニ嚴正公平ニヤッテ行クト云フノガ御趣意ダト仰シヤル、併ナガラ此車輛ノ中デ客車ガ最モ諸君ノ御目ニ付クノデアリマスカラ、客車ニ付テ申シマス、山陰線デアルトカ、北海道デアルトカ、或ハ九州デアルトカ云フ所ノ田舎ニ行キマス、例ノ鉄力ノ手遊ニ能クアルヤウナ四輪車トカ申シマシテ「ボギー」車デナイ前世紀ノ車ガマダ非常ニ殘ッテ居ルノデアリマス、是ハ今ノ六七百種アル所ノ客車ノ中ノ種類ノ一ツデアリマスガ、是ノ如キハ「ボギー」車ト一緒ニ編成ヲシテ運轉ヲスルコトガ出來ナイ、危險デアリマスカラシテ、是ナドハ早く廢止シナケレ

バナラスノデアリマスガ、地方ニ行キマス、其車ニ持ッテ行ッテ澤山人ヲ乗セテ居ルノデアリマス、是ハ、斯様ニ東海道線アタリデハ、諸君ガ御覽ニナルコトガ出來ヌヤウナガタノ車ニ持ッテ行ッテ、田舎デハソレヲ運轉シテ御客ヲ乗セテ居ル、其乗セテ居ル御客ノ運賃ハドウデアアルカト云フト、東海道デ諸君ノ御乗リニナル運賃、サウシテ田舎ノ山陰線トカ、何トカ云フ所デ、サウ云フ車ニ乗ッテ居ル所ノ運賃ト一厘一毛ノ差ガナイ、同ジ率デヤッテ居リマス、是ハ鐵道國有後ノ當時ニ於テ、是ハドウモ國有各會社ヲ合併シタノデアアルカラシテ、ソレマデハ手が廻ラスノデアアルカラ、ソレハ宜シク御了承ヲ願ヒタイト言ッテ居ラレマスケレドモ、國有後二十年後ノ今日ニ至ッテ、尙ホサウ云フ風ノ言拔ケニハナラナイノデアアル、デアアルカラシテ國家ガ國民ニ對シテ公約シタ所ノ義務デアアル、其義務ハ何トシテモ果タサヌケレバナラスノデアリマスガ、然ルニ改良費ハ十分ニヤッテアル、十分ニヤッタ上ニ、尙ホ剩リガアルカラシテ、減債基金ニ繰入レル所ノ金ガ浮クノデアルト云フヤウナ御議論ヲシテ居ラレマスガ、私ハ全部之ヲ受入レルコトガ出來ナイト斯ウ言フモノハ、單ニ一部ノ車輛ニ關スルモノデゴザイマスケレドモ、其外ノ線路デアルトカ、驛デアルトカ云フヤウナモノニハ、之ニ類スルモノガ非常ニ澤山アルノデアリマス、デアリマスカラシテ私共ハ鐵道ノ債務ニ付テ一切償還計畫ヲ立テヌ、斯ウ云フ事ヲ議論スルノデアリマセヌ、借リタ金デアリマスカラ、償還スル方法ハ何トカシテ立テ置カナケレバナラスト云フコトハ、私ハ認メマスノデアリマスガ、併ナガラ左様ナ狀態ニアリマスカラシテ、強イテ急ガナイモノデアアルナラバ、此方ハ成ルベク償還計畫ヲ立テルニシテモ、緩ククリシタ償還計畫ヲ立テニナルノガ宜イノト、ソレカラ一方ノ藏相ガ心配シテ居ラレル所ノ生産的ノ債務ニ關シテハ、モット急速ナル所ノ償還方法ヲ立テニナルノガ當リ前ダト考ヘル、今マデ申上ゲマシタコトハ、是ハ理論上ノコトデアリマスケレドモ、實際局ニ當ラレル所ノ大藏大臣ナリ鐵道大臣ノ身ニナッテ見マス云フト、一方ニハ現内閣ノ積極政策ニ依リ、又屢聲明セラレル通り鐵道大臣ノ御政策ニ依リマス云フト

〔副議長侯爵蜂須賀正韶君議長席ニ著ク〕

山間僻地、ドンナ所デモ人間ノ居ル限リ鐵道ヲ敷イテヤラナケレバナラヌト云フ、サウ云フ風ノ御方針デオ出デニナル以上ハ、非常ニ特別會計ノ債務ハ殖エテ來ル、是ハ已ムヲ得ナイ、サウスルト云フト今マデ通りニ一般會計ガ負擔シテ行クト云フコトハ……一般會計ノ負擔ニ堪ヘ切レナイト云フコトハ、是ハ認メナクテハナラナイ、サウ云フ風ニ鐵道ノ會計ハ段々債務ガ殖エテ行ク、其万分ノ百十六ヲ租稅デ以テ取ツテ、減債基金ニ入レテ行カヌケレバナラヌト云フコトハ、是ハ出來ナイ相談ダカラ、鐵道會計カラ此際減債基金ヲ繰入レヤウヂヤナイカト云フ方法ヲ御立テニナルコトハ、是ハ當リ前ノコトデアルト思ヒマス、併ナガラ一方カラ申シマシテ、此一般會計ニ於キマシテハ、從來ハ非常ニ緊縮政策ヲ以テ何トカシテ此債務ヲ……早ク不生産的ノ債務ヲ早ク償還シヤウト云フ苦心カラシテ、特別會計ニ對スル分マデ加ヘテ万分ノ百十六ヲ一般會計カラ入レテ居リ、尙ホ剩餘金ノ四分ノ一ヲ減債基金ニ繰入レテ居ルト云フヤウナ方法ヲ今マデ執ツテ居ッタ、今マデ執ツテ居ッタノヲ、之ヲ多年ノ懸案デアルカラト云ツテ、一時ニガラツト引繰返シテシマツテ、サウシテ此二千万圓バカリト云フモノハ一般會計ノ償還ヲ遅ラセル、又今度ノ豫算ノ編成ノ方法ニ依リマス、剩餘金ハ一切出ナイト言フ……出ルカモ知レマセヌガ、出デナイヤウ豫算ノ編成ガ出來テ居ルサウデアリマス、サウシマス、剩餘金ノ四分ノ一ノ繰入ト云フモノモナクナツテ行ク、然ルニソレニモ拘ラズ此鐵道カラ減債基金ヲ繰入レテ行クノガ、是カ多年ノ懸案ヲ解決シタ所ノ極ク當リ前ノコトデ、地租委讓ノ爲ニ殊更ニ行ッタノデナイト仰シヤルケレドモ、是ハドウシテモ國民ガ、唯ソレダケサウヂヤニンダト仰シヤッタダケデハ、國民ガ承服スルコトハ出來マス、マイト考ヘルノデアリマス、デアリマスルカラシテ減債基金……國債整理基金會計法ト云フガ如キモノハ是ハ死法デアリマス、法律ニ書イテハアリマスルケレドモガ、是ハ運用ノ仕方ニ依ツテ、運用ヲ爲サル人ガ、減債基金ノ精神ハ減債スルノデアル、減債ノ方法ノ爲ニハ、何トシテモ方法ヲ執ラナクチャナラヌ、此精神ヲ行ハナクチャ

ナラヌト云フ誠意ガナカタナレバ、コンナモノハ何ノ役ニモ立たヌ法律デア
ル、若シ眞實此國債ノ信用ヲ維持シ、以テ金融市場ニ惡影響ヲ與ヘナイヤウ
ニシヤウト仰シヤルナレバ、是ハ今迄通りニモヤツテ行ケマス、マイケレドモ
ガ、斯ウ云フ風ニ財政計畫ノ立直シヲ爲サル時ナラバ全體ノ立直シヲ爲サレ
テ、減債基金ノ會計法ニ改正ヲ加ヘル必要ガアルナレバ、減債基金會計法ニモ
改正ヲ加ヘ、或ハ現在ノ減債基金會計法ノ下デ行ヘルナラバ、ソレデ其方法
ヲ御變ヘニナツテ、從來ノ通りニ此不生産的公債ハ十分ニ償還ノ方法ヲ立テ
テ、サウシテ此特別會計ノ殖エテ行ク所ノ公債ニ對シテハ、是ハ又ソレダケ
ノ方法ヲ立テルト云フヤウナ、特別ノ方法ヲ立テラレナケレバナラヌ、唯減
債基金會計法ノ命ズル所ノ法文ニ從ツテ行クダケデ此問題ヲ解決シヤウト云
フコトハ、誠ニ私ハ誤ッタ政策デアルト考ヘルノデアリマス、ソレニハ色々ナ
方法ガアリマセウ、是ハ私共ハ其道ノ者デアリマセヌカラ能ク分リマセヌケ
レドモガ、或ハ鐵道ノ公債ノ如キモノハ今ハ一般會計ノ公債ト何等形ヲ異ニ
シテ居リマセヌカラシテ、先日若槻サンガ仰シヤル通りニ、是ガ市場ニ出テ
居ル時ニハ、鐵道ノ爲ノ公債デアルヤラ或ハ軍艦ノ製造ノ爲ニシタ所ノ公債
デアルヤラ、一向區別ガ無イカラシテ、是ハ市場ヲ壓迫スル時ニハ同ジデア
ルト仰シヤッタ、左様ナ事ガアルナレバ、或ハ鐵道ノ公債トソレカラ又一般會
計ノ公債ト云フモノヲ區別ヲ爲サルトカ、或ハソレハ一般會計ノ此震災手形
ヤ何カニ對スル所ノ公債ノ「カモフラージ」トシテ、ソイツヲ其儘ニシテ置ク
必要ガアルト仰シヤルナラバ、ソレナラバ又今迄ノ通りニ、今迄ハ特別會計
ノモノハ一ツモ減債シテ居リマセヌガ、ソレモイカヌガ、併シ今迄……少ク
トモ今迄通りニ、減債基金ト云フモノハ一般會計カラ入レテ、將來殖エル所
ノ鐵道ノ會計ノ公債ニ對スル所ノ減債基金ト云フモノヲ別ニ設ケル、即チ一
般會計ノ公債ニ付テハ或ハ万分ノ百五十トカ、サウシテ鐵道公債ニ付テハ万
分ノ八十トカ云フヤウナコトデ、別ナ方法ヲ御立テニナラナイデ、何トカ此
不生産的公債ヲ何トカシタイモノデアル、生産的公債ハ其儘デモ構ハヌト云
フヤウナコトデ、減債基金會計法ノ明文ニ從ッタダケデ、サウシテ其減債基

金會計法ノ精神ヲ滅却シテ行クト云フヤウナ方法ヲ御執リニナルノハ、是ハ財政當局トシテ如何ナモノデアラウカ、斯ウ云フコトヲ疑ッテ居ルノデアリマス、畢竟此今ノ方法ト云フモノハ……現在ノ方法ト云フモノハ、事モ無ゲニ御説明ニナリマスルケレドモガ、一方ニ於テハ此返サナクチャナラヌ……早ク返サナクチャナラヌ所ノ公債ヲ遅ラシテ、サウシテサウ急イデ返ス方法ヲ執ル必要ノナイ、而モ亦全體公債ヲ募ラナクテモ宜イト云フ公債ノ方ハ公債ヲ募ッテ、兩方デ……一方ニハ遅ラス一方デハ募ッテソレデ二重ニ金ガ浮イテ來ル、ソレデ一方ノ建設費ノ支辨ニ使用シ、委讓ノ財源ヲモ拵ヘヤウト云フヤウナ、謂ハ、甚ダ胡魔化シト云フノハ言葉ハ惡イカモ知リマセヌケレドモガ、胡魔化シ見タヤウナ所謂朝三暮四ノ方法ヲ以テオヤリニナルト云フコトハ、是ダケノ大キナ財政計畫ヲ爲サルノニ如何ニモ十分ナ御考慮ガ足りナイノデヤナイカト云フヤウナ感ジガシテナラヌノデアリマス、之ヲ政府ノ御説明ヲ一應承リタイト云フ爲ニ茲ニ申上ゲルノデアリマス

〔國務大臣三土忠造君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(三土忠造君) 青木君ノ御質問ハ主トシテ鐵道公債ニ關スル問題デアッタノデアリマスルガ、其質問ニ這入リマス前ニ仰シヤリマシタコトニ付キマシテ、一點説明ヲ致シテ置ク必要ガアルト思ヒマス、ソレハ電話ト公債トノ關係デアリマス、電話ノ昭和四年度ノ豫算ニ於キマシテ公債財源以外ノ普通歳入ヲ以テ賄ッテ居ルモノガアルノデヤナイカ、斯様ニシテ五年以後モヤッタナラバ公債ガ減ルノデヤナイカト云フヤウナ御質問デアッタヤウデアリマス、御承知ノ通り是マデノ電話ノ擴張計畫ハ昭和五年度ヲ以テ完成スルコトトナッテ居ルノデアリマス、所ガ昭和五年度迄ノ計畫ガ完成シテ、然ル後ニ新タナモノヲソコヘ繼イデ行クト云フコトハ事業ノ關係上困リマスノデ、茲ニ喰合セガ出來マスルヤウニ、前ノ計畫ガ昭和五年ニ終ラザルニ先ンジテ、昭和五年カラシテ新計畫ヲ新タニヤル斯ウ云フヤウニ致シマスト五年以後ハ新計畫ニ移リマシテ、四年ハ從來ノ計畫ニ依リ普通財源ニ依ルコトニ致シタノデアリマス、而シテ左様ニ申シマスルト云フト、四年度ニ普通財源デ以テ

支辨シテ居ルモノヲ續ケテ行ケバ宜イト云フ風ニ又御考ニナルカモ知レマセヌガ、ソレハ度々申上ゲマス通り、財政計畫ニ於キマシテ五年以降ニ生ズベキ歳入ノ餘剰ヲ、他ノ歳出ノ財源ニ充テテ、ソコニ剩餘金ガナイノデアリマスカラ、此點御承知ヲ願ヒマス、ソレデ本問題ノ此度昭和五年度ヨリ鐵道特別會計、臺灣總督府特別會計、製鐵所特別會計、此三特別會計ヨリシテ一般會計同様國債ノ元金万分ノ百十六ヲ毎年繰入レシムルコトニ計畫イタシマシタコトニ付キマシテノ御議論デアリマシタ、私ガ、是ハ多年ノ懸案ヲ解決シタナドト申シマシタニ付キマシテ、前内閣ノ當時ノ經緯等ヲ御話ガアリマシタガ、私モソレハ能ク存ジテ居リマス、併シ前内閣時代ノミナラズ、私共モ前カラ考ヘテ居ッタ問題デアリマシテ、ソレデ多年ノ懸案ト申シタ次第デアリマス、ソコデ御説明ノ通り現在ノ減債基金特別會計法ト云フモノハ一般會計各特別會計法ヲ通ジテノ國債ノ總額ヲ押ヘテ、其万分ノ百十六ニ當ルモノデ一般會計ノ公債ヲ拂ッテ居ルノデアリマス、所ガ何故ニ鐵道ノ如キ事業公債ヲ特ニマダ事業ガ段々進行シテ新タナ資金モ要スル際ニ於テ減債基金繰入ヲサスカト云フコトハ、私共ハ根本ニ斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、鐵道ノ如キ大キナル事業ニ付キマシテハ、而シテ大部分ノ仕事ガ技師ノ仕事デアル、技師ガ設計ヲ致シマシテ是レノ費用ガ要ルト云ヘバ事務官ハナカノ、茲ニ喙ヲ容レルコトハムヅカシイ、故ニ動モスレバ他ノ仕事ト比較イタシマシテ經費ノ膨脹ヲ來シ易イ事業デアル、斯様ニ私共ハ達觀的ニ見テ居ルノデアリマス、ソコデ他ノ一般會計ノモノハ相當節約ヲ圖リマスルガ

〔議長公爵德川家達君議長席ニ復ス〕

鐵道ノ方ニ對シマシテハ特別會計デアリマスルカラ、節約ノ圖リヤウガ無い、ソコデ他ノ一般會計ノ節約ヲスルヤウニ思ヒ切ッテ節約ヲサシマシタナラバ、相當ニ減債基金ナドヲ拂フ餘地ハアルト斯ウ私共ハ見タノデアリマス、果セハ哉、小川鐵道大臣ト相談イタシマシテ此方法ニ依リマシテ計畫ヲ立テテ見マスルト云フト、鐵道ノ益金ノ内デ改良費ニ對シテ節約ヲ加ヘル、改良費モ仕事ノ分量ヲ先ヅ大體減サヌ程度ニ於テ節約ヲスルト云フ風ニ致シマシテ、

其減債基金タル千八九百萬圓ノモノハ生ミ出セルノデアリマス、其上ニ尙ホ恩給ノ負擔モ致シタイ、斯様ニ致シタノデアリマスルガ、御説ノ通り鐵道特別會計法ニ於キマシテハ改良費ト建設費ヲ打ッテ一丸トシテ益金ヲ以テ財源トシテ、足ラス所ハ公債若クハ借入金ニ依ル、斯ウナッテ居ルノデアリマスケレドモ、是マデノ事業ハドウカト申シマス云フト、益金ヲ以テ、先刻御話ノ諸般ノ經費ヲ差引キ殘額ヲ……所謂純益金ヲ以テ改良費ヲ賄フコトハ出來ナカッタノデアリマス、大正十二年度ニ至ッテ初メテ益金ヲ以テ改良費ヲ賄フ、斯ウ云フコトニナッタノデアリマス、然ルニ又其後益金ヲ以テ改良費ガ賄フコトガ出來ズシテ、前内閣時代ニ青木君能ク御承知ノ通り、公債ヲ以テ其財源ノ一部ニ致シ、尙ホ毎年千四五百萬圓ノ借入金ヲ致シテ其改良費ノ財源ニ充テタノデアリマス、故ニ茲ニ減債基金デモ繰入ヲナサヌト致シマスルト云フト、改良費ニハ節約ノ餘地ハアリマセヌ、幾ラデモ矢張り改良費ハ要ル、只今青木君ノ仰ッシャルヤウニ道路ノ改良等ヲ申シマスルト云フト幾ラデモアリマス、是ハ鐵道ニ居ラレマシタ御經驗カラ御無理ナイト思ヒマスガ、大藏大臣ニ向ッテ各省ノ豫算ヲ要求スルコトハ皆其流儀デ來ルノデアリマス、是モ必要、是モ必要ト云フコトニ致シマスレバ、到底其歲計ハ持チ切れヌノデアリマス、ソレヲ相當ナ程度ニ押ヘテ急ヲ要セザルモノハ皆見合ハスト云フ風ニ致シテ押ヘルヨリ仕方ガナイ、其各省ノ要求ヲ左様ニ押ヘル頭ヲ以テ改良費ヲ計畫サシテ見マスルト云フト、ソコニ私ハ減債基金ヲ繰入レルダケノ餘地ハアル、又恩給ノ負擔モ致スダケノ餘地ガアル、即チ益金ノ内カラ是等ノ負擔ヲ致シテ殘リヲ以テ改良費ヲ賄フ程度ニ於テ改良ヲ致シテ行ケバ、是デ我慢スルヨリ致方ナイ、斯ウ考ヘマシテ、寧ろ鐵道自身ノ節約ヲサスト云フコトモ一ツノ目的ニ這入ッテ居ルノデアリマス、又減債基金ヲ繰入レマセヌトスルト、毎年利子バカリヲ拂ッテ居レバ宜イノデアリマスカラ、自然ニ放漫ニ流レ易イ、自ラ發行シタル公債ハ其元金ヲ一定……繰入レルト云フコトニ依リマシテ、建設改良ヲ通ジテ鐵道ノ方ガ緊縮節約ヲ圖ルト云フ精神ガソコニ籠ッテ行ク、斯ウ云フ考ヘカラシテ、此減債基金繰入ヲセシムルト云フコト

ニ致シタノデアリマス、固ヨリ其當然ノ結果トシテ一般會計ノ負擔ガ減ルノデアリマス、一般會計ノ負擔ガ減リマスルコトガ兩稅委讓ニ都合好クナルト云フコトハアリマス、ケレドモ主トシテ目的ト致シマシタノハ今マデ申サユナ次第デアリマス、然ラバ此國債ノ内デ不生産的ノ公債ハ成ルベク早く之ヲ償還スル、サウシテ懷ロテ置イテ一旦緩急アル場合ニ發行ノ餘力ヲ存スルト云フコトハ、私ガ度々申上ゲマシタ其方針ト相反スルノデハナイカト云フ御議論デアリマスガ、私ハ此方ハ此方ニ付テ別ニ考ヘヌケレバナラヌト思ヒマスルガ、是モ必要デアリマスルケレドモ此鐵道特別會計ノヤウナモノニ對シマシテ、是位ナ負擔ヲセシムル方ガ又必要デアル、斯ウ考ヘテ……一方ニ於テ繰入ヲ致シ……減債基金ヲ繰入ヲ致シテ公債ヲ減ジ、同時ニ又毎年八千萬圓ノ公債ヲ發行スルト云フト、差引シテ増ス一方デアルト云フコトノ御非難デアリマスルガ、是ハ私ハ致方ナイト思フノデアリマス、鐵道建設ノ如キハ之ヲ必要カ必要デナイカト云フコトハ是ハ意見ノ相違デアリマスガ、鐵道特別會計ニ於テノ採算上新線ヲ架設イタシマスルニ付キマシテ、新線バカリニ依ッテ計算スルノミナラズ、青木君モ能ク御承知ノ通り此新線ノ建設ニ依リマシテ舊線ノ營養分ヲ供給スルト云フヤウナ關係カラ、特別會計全體ヲ計算シテ收支ノ計算ガ立ツ、元利償却ノ途ガ立ツコトニナリマスカラ、鐵道ハマダ……產業發展ノ手段ト致シマシテ相當必然デアルト考ヘルノデアリマス、何處マデ併シ架ケルガ宜シイカ、ドノ鐵道ヲ架ケルノガ宜イカ架ケナイノガ宜イカト云フコトニナリマスルト、是ハ各個人ノ意見ニナリマスケレドモ、大體ノ意見ト致シマシテ私ハマダ鐵道ハ公債借入金ノ手段ニ依リマシテ建設ヲスル必要ガアルト思フ、一方ニ於テ公債ハ増シテ行クノダカラ減債基金ハ要ラヌト云フコトハドノ會計デモサウナッテ行キマス、増スト云フコトト一方ニ於テ減ルト云フコトトハ必シモ兩立スルモノデナイト考ヘマス、大體ニ於テ政府ノ見ル所ハ左様デアリマス

○青木周三君　チヨット御答辯ニ洩レタコトガアリマスカラ、此席カラ申上ゲ

テ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○青木周三君 只今ノ御答辯ヲ伺ヒマシテ、モウ一ツ質疑ヲシタイコトガアリマスルガ、其前ニ私が御尋ヲ申シマシタ中デ、是ダケノ税制ノ整理、財政ノ變革ヲ遊バス時ナラ、其序ニ鐵道ノ公債トカ、或ハ不生産的公債トカ云フモノニ、大藏大臣モ自ラ區別モアルシ、其區別ノ無イコトガ甚ダ宜シクナイト御心配ニナツテ居ルノデアリマスルカラシテ、ソレニ何等カノ減債ノ方法ノ區別ヲ御立チニナリ、從來ノヤウニ一方ハ早ク償還シヤウ、一方ハ多少遅クレテモ構ハヌト云フヤウナ途ヲ御立チニナッタラドウカ知ラヌト私ハ考ヘタノデアリマス、其事ニ付テノ御教示ヲ願ヒタイト申上ゲタノデアリマス、其事ヲチヨット伺ヒマス

〔國務大臣三土忠造君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(三土忠造君) 只今ノ重ネテノ御質疑ノ點ハ私申落シマシタガ、私モ日本ノ公債ノ今日ノ總額竝ニ將來ノ傾向等ヲ考ヘマシテ、出來ルダケ此普通ノ事業公債ト不生産的公債トノ間ニ區別ヲ立チマシテ、不生産的公債ニ付キマシテハ一定額ヲ……万分ノ百十六ト云フヤウナ制度デナクシテ一定額ヲ平均ニ繰入レマシテ、サウシテ相當ナ期間ニ全部完済スルト云フヤウナ計畫ヲ以テ進ムヤウナ事ヲ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、併シ此兩稅委讓ニ依リマシテ財源ヲ失フ、ソレト同時ニ之ヲヤルト云フコトハ出來マセヌカラ、先ヅ最モ急務ト致シマスル所ノ兩稅委讓ヲ先ニ斷行スル、斯ウ云フ考ヘデアリマス

○青木周三君 簡單デゴザイマスカラ此席カラ……

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○青木周三君 段々ニ政府ノ御答辯ヲ伺ヒマシテ結局我々ノ心配シテ居ル所ノ公債ヲ、消極的ニモ積極的ニモ公債ヲ以テ委讓ノ財源ヲ得ラレルノデナイト云フコトガ、十分ハッキリ致シマセヌ、枝葉ノ問題ニ關シテハ御答辯ガゴザイマシタケレドモ、此點ヲ彼此レ申シマスルコトハ、此大問題ノ前ニ不必要

ナ事デアリマスカラ敢テ申シマセヌケレドモガ、併ナガラ此點ヲ一ツ伺ツテ置キタイ、鐵道大臣ノ御話デモ、大藏大臣ノ御話デモ、此減債基金ノ繰入レト云フコトハ、鐵道ノ會計ヲシテ節約ヲ爲サシムル上ニ必要デアルノデアツテ、ソレガ多年ノ懸案タル原因デアル、斯ウ云フ事ガ御趣旨ノヤウニ只今伺ヒマシタ、殊ニ只今ハ稍、細微ナ點迄御説明ニナリマシテ、鐵道ノ會計ノ如キハ技術的ノモノデアツテ、事務的ノ人ガ之ニ持ッテ來テ喋ラ容レルコトガ非常ニ困難デアル、金ノ頭デ抑ヘナケレバナラヌ、斯ウ云フ風ナ御議論デゴザイマシテ、是ハ何トナク御議論ノ爲ニ議論ヲ爲サレルヤウナ感ジガ致シマスルノデアリマス、私共ハ節約ヲスルモノハ必シモ改良費ノミニ限ラヌノデアリマス、建設費ト雖モ節約ヲ爲サラナクテハナラヌモノダト思フ、今茲ニ節約ヲスルト仰ッシャルモノハ、收益勘定ノ費用ト資本勘定ノ上ニ於テハ、改良費ニ關係スルモノノミニ付テ大藏大臣ハ節約ヲ爲サシムル必要ガアル爲ニ減債基金ノ繰入ラシタノデアルト、斯様ニ仰ッシャルノデアリマス、併ナガラ建設費ト雖モソレハ同ジ事デアリマス、私共ハ鐵道會計ノ節約ト云フモノハ、詰リ債務ヲ減ズル爲ノ節約ト云フモノハ建設ヲ御控ヘニナラナケレバ出來ナイ、斯ウ考ヘテ居ル、必シモ改良費トカ、收益勘定ニ於ケル所ノ瑣末ノ經費ヲ左様ナコトデ御ヤリニナツタカラト云ツテモ決シテ此鐵道會計ガ健全ニ行ク爲ニハ、此建設ヲ御控ヘニナルノガ節約ノ最モ大切ナルモノデアル、先日此議場デ申上ゲマシタ通りニ、鐵道ノ建設ト云フモノハ非常ニ放漫ナヤウニ私共ハ考ヘルノミナラズ、大藏大臣……鐵道大臣ノ御意見ヲ推シテ行キマスト云フト、是ハ甚ダ極端ナ話デゴザイマスケレドモガ、殆ド何處ノ村ヘデモ這入ルヤウニ鐵道ヲ架ケレバナラヌト云フヤウニ聞エテ行クノデ、斯様ノ御方針デオヤリニナツタナラバ、減債基金ヲ何ボ御拵ヘニナツテ、技師ヲ督勵遊バシタカラト云ツタツテ、ソレガ決シテアナタ方ノ目的トナサルヤウニハ參ラヌト私ハ考ヘテ居ルノデアアルノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ左様ナ減債基金、金ヲ拂フ所ノ方法ヲ立テテ、詰リ借金ノ万分ノ百十六ト云フモノヲ納メルヤウナ方法ヲ拵ヘテ置カヌト云フト節約ガ出來ナイト云フヤウナ、不信用ナ所

ノ鐵道大臣ヲ御拵ヘニナツテ、ドウシテ此大キナ三十億ト云フ所ノ財産ガ御任セニナレマセウカ、是ハ誠ニドウモ鐵道大臣ノ不信任案ダト私ハ考ヘル、鐵道大臣ガ國務大臣ノ地位ニ居ツテ、事務ノ長官トナツテ、サウシテソレデ以テ御監督ナサレナガラ、僅ニ万分ノ百十六ノ基金ノ繰入ヲ負擔シナケレバ、此財政ガ放漫ニ流レル、斯ウ云フヤウナコトガ一方ノ閣僚ノ口カラ、左様ナ御意見ガ出テ居ツテ、鐵道大臣ハ其儘ニシテオ出デニナレマスカ、是ハ無論鐵道大臣ノ仰ッシャッタコトデナイ、技師ノ技術計畫デアツテ、之ヲ監督スル所ノ方法ガナイト仰シヤルノデアアル、ソレガナクテドウシテ鐵道大臣ト云フモノガ職務ヲ完全ニ行フコトガ出來マスカ、斯様ナ事ハ全ク口實ト私ハ承ルノデアリマス、最後ノ御話ハ、最後ノ御答辯ハ結局此減債ノ今ノヤリ方ハ、稍、言フタコトト矛盾ハスルケレドモガ、今ハ此兩稅委讓ト云フコトガ大切ナル方法デアルカラシテ、其方ヲ先ニヤツテ、サウシテ此今ノ減債ノ方法ニ付テハ悠ックリ考ヘルト仰シヤイマスルケレドモガ、是ハ私共ハサウ思ハヌ、此減債ノ途ハ多年ノ懸案ヲ解決シタト云フケレドモガ、實ハ財源ヲ得ル爲ニ何等ノ將來ノ方法ヲ講ジナイ、唯減債基金會計法ヲ明文デ押シテ行キサヘスレバ斯ウナルカラ、ソレデ金ガ二千万圓浮クヂヤナイカト云フテ御拵ヘニナツタヤウニ今ノ御説明デ行ケバ解釋スル様ニナル、併シ是ハ餘リ言ヒマスト云フト亦議論ニナリマスカラ、此點ニ付テ敢テ御答辯ヲ求メマセケレドモガ、只今ノ鐵道大臣不信任論ハ何トカモウ一度御説明ニナラヌト云フト、是ハ容易ナラナイ事ニナルト考ヘマストデアリマス、併シ私ハ大體ニ了解イタシマシタ、強ヒテ御答辯ヲ求メマセヌ、何カ御説ガアルナラバ承リタイ、是デ私ハ打切りマス

○議長(公爵德川家達君) 是ニテ通告者ハ終リマシタ

〔伯爵堀田正恒君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 堀田伯爵ハドウ云フ事デスカ

○伯爵堀田正恒君 此際動議ヲ提出イタシマス

○議長(公爵德川家達君) ドウ云フ動議デアリマスカ

○伯爵堀田正恒君 只今日程ニ上ボツテ居リマシタコトデ……

○議長(公爵德川家達君) モウ一度……

○伯爵堀田正恒君 只今日程ニ上ボツテ居リマス諸案ニ付キマシテ……

○議長(公爵德川家達君) 御述ベニナツテ宜シウゴザイマス

○伯爵堀田正恒君 只今日程ニ上ボツテ居リマス諸案ハ、重大ナル法律案デゴザイマスルニ依リマシテ、是等ノ法律案ノ特別委員ノ數ハ二十七名トシ其委員ノ指名ハ議長ニ於テセラレムコトヲ希望イタシマス

○子爵西大路吉光君 賛成

○子爵數篤麿君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 堀田伯爵ノ本案ノ委員ヲ二十七名トスル動議、且ツ其委員ハ議長ノ指名ニ任セルト云フ動議ニ、同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

〔起立者多數〕

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス、特別委員ノ氏名ヲ、書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔瀨古書記官朗讀〕

地租條例廢止法律案外十六件特別委員

公爵近衛 文麿君 侯爵佐佐木 行忠君 伯爵兒玉 秀雄君

子爵井上 匡四郎君 子爵前田 利定君 子爵裏松 友光君

子爵綾小路 護君 男爵阪谷 芳郎君 和田 彦次郎君

石塚 英藏君 上山 滿之進君 男爵中島 久滿吉君

塚本 清治君 男爵郷 誠之助君 男爵長 基連君

男爵稻田 昌植君 添田 壽一君 倉知 鐵吉君

南 弘君 菅原 通敬君 馬場 鏌一君

中村 圓一郎君 森 平兵衛君 金杉 英五郎君

小塩 八郎右衛門君 藤田 謙一君 絲原 武太郎君

○議長(公爵德川家達君) 日程第二十一、山口縣營軌道及筑後軌道株式會社

所屬軌道補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會
山口縣營軌道及筑後軌道株式會社所屬軌道補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和四年二月二十三日

衆議院議長 元 田 肇
貴族院議長 公爵德川家達殿

山口縣營軌道及筑後軌道株式會社所屬軌道補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案

政府ハ左ノ軌道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲之ニ必要ナル額ヲ限度トシテ公債ヲ發行スルコトヲ得

一 山口縣營軌道

一 筑後軌道株式會社所屬軌道

〔國務大臣小川平吉君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(小川平吉君) 山口縣營軌道及筑後軌道ハ國有鐵道並行敷設ノ爲ニ、其營業困難ニ相成リマシテ、廢業ノ止ムナキニ立至リマシタノデ、之ヲ法律ノ規定ニ依リ、補償スル爲ニ公債ヲ發行セントスル法律案デゴザイマス、何卒御協賛ヲ御願ヒ致シマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ノ委員ハ鐵道敷設法中改正法律案ノ委員ニ付託イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第二十二、鑛業法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

鑛業法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和四年二月二十三日

貴族院議長 公爵德川家達殿

衆議院議長 元 田 肇

鑛業法中改正法律案

鑛業法中左ノ通改正ス

第二條中「及硫黃」ヲ「硫黃及石膏」ニ改ム

第四十八條 削除

第八十二條 削除

第八十五條中「百分ノ一」ヲ「百分ノ五」ニ改ム

第八十八條第一項ヲ左ノ如ク改ム

北海道、府縣及市町村ハ鑛業稅ニ對シ各左ノ制限内ノ附加稅ヲ課スルコトヲ得

一 北海道、府縣

試掘鑛區稅 千分ノ三十

探掘鑛區稅 千分ノ七十

鑛產稅 千分ノ二百

二 市町村

試掘鑛區稅 千分ノ三十

探掘鑛區稅 千分ノ七十

鑛產稅 千分ノ千二百

同條第三項ヲ左ノ如ク改ム

前二項ノ規定ハ町村制ヲ施行セザル地ニ於テハ町村ニ準ズベキモノニ之ヲ準用ス

第九十八條中「乃至第四十八條」ヲ「第四十七條」ニ改ム

附 則

第八十二條ノ改正規定ハ昭和六年一月一日ヨリ、第八十五條及第八十八條

第一項ノ改正規定ハ昭和六年分ノ鑛產稅及之ニ對スル附加稅ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ規定ノ施行期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十二條、第八十五條及第八十八條第一項ハ樺太ニ在リテハ當分ノ内仍ホ從前ノ規定ヲ適用ス

第二條ノ改正規定施行ノ際現ニ石膏ヲ掘採スル者又ハ其ノ承繼人ハ同規定施行ノ日ヨリ六月間從前ノ例ニ依リ其ノ掘採ヲ繼續スルコトヲ得其ノ期間内ニ當該掘採者又ハ其ノ承繼人ガ石膏ヲ掘採スル爲出願ヲ爲シタル場合ニ於テ許可ノ登錄又ハ不許可ノ指令ノ日迄亦同ジ

前項ニ掲グル者第二條ノ改正規定施行ノ日ヨリ六月以内ニ石膏ヲ掘採スル爲出願ヲ爲シタルトキハ其ノ掘採區域ニ限リ第九條第三項、第二十九條、第三十一條、第三十三條及第三十三條ノ二ノ規定竝ニ第九條第二項ノ鑛區面積ニ關スル規定ニ拘ラズ之ヲ許可ス

土地所有者ハ前項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ニ對シ石膏ノ掘採ニ付相當ノ補償金ヲ請求スルコトヲ得

砂鑛法第十三條及第十五條ノ規定ハ前項ノ補償金ニ之ヲ準用ス

試掘鑛區第四項ノ規定ニ依ル鑛區ト重複シ且同種ノ鑛物ナル場合ニ於テ其ノ試掘權者試掘權存續期間中同種ノ鑛物ニ付探掘ノ出願ヲ爲シ又ハ第三十三條ノ二第一項ノ規定ニ依ル出願ヲ爲シタルトキハ第九條第三項、第二十八條及第二十九條ノ規定ニ拘ラズ之ヲ許可ス

砂鑛法第五條ノ規定ハ第四項ノ規定ニ依ル鑛區他人ノ鑛區ト重複シ且同種ノ鑛物ナル場合ニ之ヲ準用ス

〔國務大臣中橋德五郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(中橋德五郎君) 只今上ボリマシタ鑛業法中ノ改正案ハ、今回多年各關係地方ヨリシテ、請願其他希望ガアリマシタノデアリマシテ、鑛業稅ヲ半額其關係地方ニ委讓スルト云フコトニ致シタイト云フノガ第一ノ趣意デアリマス、第二ハ從來試掘中鑛物ヲ發掘イタシマシタルモノニ付キマシテ、

是ガ處分ヲ致シマス時ニハ其土地ノ鑛山監督署長ノ認可ヲ經ナクチャナラヌコトニナツテ居リマシタガ、其後ノ實況ニ依リマスルト云フト、其手續ハ不用ニ屬シマスルヤウニ考ヘマスルノデ、之ヲ全廢スル、斯ウ云フコトニ改正ヲ致シタイトデアリマス、第三ニハ石膏デアリマス、石膏ハ從來鑛業法中ノ鑛物ノ中ニ數ヘテ居リマセナカッタノデ、之ニ關シマスル規定ヲ適用スルコトガ出來ナカッタノデアリマス、段々石膏ノ事業モ進ンデ參リマシタカラ、之ヲ矢張り此鑛業法中ノ鑛物ノ一種ト致シテ含蓄ヲ致シタイト、斯ウ云フコトヨリシテ本案ヲ提出シマシタ、ドウゾ宜シク御審議ノ上御協賛アラムコトヲ偏ニ御願ヒ致シマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ノ特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔瀨古書記官朗讀〕

鑛業法中改正法律案特別委員

侯爵 中山 輔親君	伯爵 川村 鐵太郎君	子爵 朽木 綱貞君
男爵 今枝 直規君	室田 義文君	內藤 久寛君
磯貝 浩君	五十嵐 甚藏君	松本 勝太郎君

○議長(公爵德川家達君) 日程第二十三、大正十四年法律第二十九號中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

大正十四年法律第二十九號中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和四年二月二十三日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長 元 田 肇

大正十四年法律第二十九號中改正法律案

大正十四年法律第二十九號中左ノ通改正ス

第一條中「六年」ヲ「九年」ニ、「百萬圓」ヲ「百六十萬圓」ニ、「四百萬圓」ヲ「七百四十萬圓」ニ改ム

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ施行ス

參照

大正十四年法律第二十九號ハ染料製造獎勵ニ關スル法律ナリ

〔國務大臣中橋德五郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(中橋德五郎君) 此大正十四年法律第二十九號ノ改正案ハ豫ネテヨリ問題ニナツテ居リマシタ人造藍ノ保護獎勵ヲシタイト云フノガ目的デアリマス、此大正十四年ノ二十九號法律ハ各種ノ染料ノ保護獎勵ニ關スル法律デアリマスルノデ、三四百萬圓ノ補助金ヲ五箇年ニ支出スルコトニナツテ居リマシタガ、之ニ今回此人造藍保護獎勵ノ金額ヲ又三百萬圓餘リ追加イタシマシテ、此保護年限ヲ四年度ヨリシテヤリマスルカラ、是ガ通過イタシマスルナラバ、又ツレヨリ五箇年ニ互リマシテ、提出ヲスルト云フコトノ案デアリマシテ、金額ハ豫算ノ中ニ含ムデアルヤウナ譯デアリマスルカラ、ドウゾ御審議ノ上デ御協賛アラムコトヲ偏ニ御願ヒ致シマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ノ特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀致サセマス

〔瀨古書記官朗讀〕

大正十四年法律第二十九號中改正法律案特別委員

侯爵 大隈 信常君 子爵 大河内 正敏君 子爵 片桐 貞央君
子爵 曾我 祐邦君 男爵 赤松 範一君 稻畑 勝太郎君
田村 駒治郎君 高廣 次平君 鳴海 周次郎君

○議長(公爵德川家達君) 日程第二十四、蠶絲業法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

蠶絲業法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和四年二月二十三日

衆議院議長 元 田 肇

貴族院議長公爵德川家達殿

蠶絲業法中改正法律案

蠶絲業法中左ノ通改正ス

第九條第二項ヲ削ル

第十條 蠶種製造者原蠶種ヲ製造セントスルトキハ一蛾別ニ産卵セシムベシ

第十一條 蠶種製造者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ蠶種ノ製造ニ用フル繭ノ検査ヲ受クベシ

蠶種製造者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ母蛾ニ付蠶種ノ検査ヲ受クベシ

前項ノ検査ハ普通蠶種ニ在リテハ掃立口毎ノ歩合検査トス

蠶種製造者ハ歩合検査ニ合格セザル普通蠶種ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ再検査ヲ受クルコトヲ得

第十一條ノ二 同業組合、同業組合聯合會又ハ蠶種製造者ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケ前條ノ検査ニ代ヘ組合員、所屬組合ノ組合員又ハ自己ノ製造スル蠶種ニ關シ検査ヲ行フコトヲ得

前項ノ検査ニ關スル方法ハ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第十二條中「前條」ヲ「第十一條」ニ改メ「原蠶種製造所」ヲ削ル
第十三條中「第二項」ヲ削リ「第三項」ヲ「第四項」ニ改メ同條ニ左ノ一項ヲ加フ

第十一條ノ二ノ規定ニ依リ蠶種ニ關スル検査ヲ行フ者ハ其ノ検査ニ合格シ

タル蠶種ニハ證印ヲ押捺シ其ノ検査ニ合格セザル蠶種ハ之ヲ燒棄スベシ
第十九條中「桑苗ノ仕立、ノ下ニ「繭ノ乾燥、」ヲ、「蠶絲類ノ検査」ノ下ニ「若
ハ賣買」ヲ加フ

第二十七條第一項ヲ削リ同條第二項中「第三項」ヲ「第四項」ニ改ム

第三十五條第一項中「桑ノ病蟲害ノ豫防」ノ下ニ、「繭ノ乾燥」ヲ、「蠶絲類ノ
検査」ノ下ニ「若ハ賣買」ヲ、「飼育場、」ノ下ニ「検査場、乾燥場、」ヲ加ヘ「生
繭」ヲ「繭」ニ改メ同條第二項中「地方長官」ノ上ニ「主務大臣又ハ」ヲ加ヘ「犯
罪嫌疑者」ヲ「被疑者」ニ改ム

第三十五條ノ二 行政官廳ハ同業組合、同業組合聯合會又ハ蠶種製造者ガ
第十一條ノ二ノ規定ニ依リ行フ検査ニ關シ検査ノ補正ヲ爲サシメ合格ノ
決定ヲ取消シ證印ノ抹消ヲ命ジ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處
分ヲ爲スコトヲ得

第三十六條中「當該官吏員」ノ下ニ「又ハ同業組合若ハ同業組合聯合會ノ
検査員」ヲ、「第十一條」ノ下ニ、「第十一條ノ二」ヲ加フ

第三十七條ノ二 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第十一條ノ二第二項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル方法ニ違反シテ檢
査ヲ行ヒタル者

二 第十三條第二項ノ規定ニ違反シテ蠶種ヲ燒棄セザル者

第三十八條第一號中「第十一條」ノ下ニ、「第十一條ノ二」ヲ加フ

第四十一條第一項中「第三十八條」ノ上ニ「第三十七條ノ二」ヲ加フ

第四十八條中「沖繩縣、小笠原島、伊豆七島其ノ他」ヲ削リ同條ニ左ノ一項
ヲ加フ

本法ヲ施行セザル地域ガ本法ヲ施行スル地域ト爲リタル際ニ於ケル必要
ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔政府委員東武君演壇ニ登ル〕

○政府委員(東武君) 農林大臣ハ衆議院デ答辯中デアリマスルカラ、私ガ代ッ
テ提案理由ヲ説明イタシマス、現行ノ蠶絲業法ハ明治四十四年ノ制定ニ係ッ
テ居リマス、大正六年ニ一部分ノ改正ヲ行ヒマシテ、今日ニ及ンダノデアリ
マスル、爾來我國ノ蠶絲業ハ各方面ニ於テ長足ノ進歩ヲ遂ゲ、就中蠶品種ノ
改良竝ニ微粒子病毒ノ減退等ニ付キマシテハ、顯著ナル成績ヲ示シテ居リマ
ス、又蠶種製造業ハ、當業者ノ智識經驗ノ向上ト相俟ッテ、其技術、又經營方
法ガ著シク改マリマシテ、其結果ト致シマシテ現行ノ蠶絲業法中ニハ、斯業
ハ現狀ニ適セザルモノガ多ク生ジテ參ッタノデアリマス、是等ノ點ニ付キマ
シテハ、數年前ヨリ蠶絲業者及其團體ヨリ屢、改正ノ建議請願等ガアッタノデ
アリマスルガ、政府ニ於キマシテハ、又法律改正ノ必要ヲ認メマシテ慎重ニ
調査研究中デアリマスルガ、其中ニ蠶種ノ製造方法、蠶種ノ検査制度、蠶種
ノ取締等ニ關スル事項ニ付キマシテ、茲ニ成案ヲ得マシタノデ、蠶絲委員會
ノ審議ヲ經マシテ本改正ノ法律案ヲ提出イタシタ次第デアリマス、慎重御審
議ノ上御協賛アラム事ヲ切望スル次第デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサ
セマス

〔瀨古書記官朗讀〕

蠶絲業法中改正法律案特別委員

侯爵 中御門 經 恭君 子爵 西大路 吉 光君 志村 源太郎君

今井 五 介君 菊池 恭 三君 尾崎 元次郎君

坂 田 貞 君 横 山 章 君 田 中 一 馬君

○議長(公爵徳川家達君) 日程第二十五、帝國鐵道會計法中改正法律案、政
府提出、衆議院送付、第一讀會

帝國鐵道會計法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和四年二月二十三日

衆議院議長 元 田 肇

貴族院議長公爵德川家達殿

帝國鐵道會計法中改正法律案

帝國鐵道會計法中左ノ通改正ス

第七條第二項中「鐵道及軌道ニ關スル監督上ノ諸費用」ヲ「鐵道、軌道其ノ他陸運ニ關スル監督上ノ諸費用」ニ改ム

附 則

本法ハ昭和四年度ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣三土忠造君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(三土忠造君) 只今議題ニナリマシタル帝國鐵道會計法中改正法律案ニ付キマシテ、提案理由ヲ説明イタシマス、陸上運送ノ監督ニ關スル事務ハ、從來遞信省所管ニ屬シテ居リマシタガ、曩ニ事務系統ノ整理ヲ致シマシテ、其結果此事務ハ鐵道省ニ移管スルコトニ致シマシタノデ、之ニ伴ヒマシテ茲ニ新タニ其監督ニ關スル諸費用ヲ本會計ノ負擔ト致シ、收益勘定ノ歲出トスル必要ガアリマスノデ、本案ヲ提出イタシタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ハ鐵道敷設法中改正法律案ノ特別委員ニ付託イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第二十六ヨリ第三十マデ一括シテ政府ノ説明ヲ煩ハシマス

昭和二年法律第十五號中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和四年二月二十三日

衆議院議長 元 田 肇

貴族院議長公爵德川家達殿

昭和二年法律第十五號中改正法律案

昭和二年法律第十五號中左ノ通改正ス

「建築又ハ購入シタル國有財産」ヲ「建築シ、購入シ又ハ埋立テタル國有財産」ニ改メ「千九百萬圓」ヲ「二千三十萬圓」ニ改ム

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

參照

昭和二年法律第十五號ハ國有財産整理資金特別會計法ノ特例ニ關スル法律ナリ

噸稅法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和四年二月二十三日

衆議院議長 元 田 肇

貴族院議長公爵德川家達殿

噸稅法中改正法律案

噸稅法中左ノ通改正ス

第一條第一項中「五錢」ヲ「七錢」ニ、「十五錢」ヲ「二十一錢」ニ改ム

附 則

本法ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行前噸稅法第一條第一項但書ノ規定ニ依リ一時ニ納付シタル噸稅ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

借入金整理ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和四年二月二十三日

衆議院議長 元 田 肇

貴族院議長公爵德川家達殿

借入金整理ニ關スル法律案

政府ハ本法施行ノ際一般會計ガ他ノ會計ニ對シテ有スル貸付金六千四百十萬九百圓ノ債權ヲ大藏省預金部ニ讓渡シ之ヲ以テ一般會計ノ大藏省預金部ヨリノ借入金中同一額ノ債務ニ代フルコトヲ得

附 則

本法ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

賠償金特別會計法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和四年二月二十三日

衆議院議長 元 田 肇

貴族院議長公爵德川家達殿

賠償金特別會計法中改正法律案

賠償金特別會計法中左ノ通改正ス

第三條中「法令ノ定ムル所ニ依リ支出スル交付金」ノ次ニ、第三條ノ二ノ規定ニ依ル組入金」ヲ加フ

第三條ノ二 本會計ノ資金ハ豫算ノ定ムル所ニ依リ之ヲ國際聯盟、移殖民及航空施設ニ關スル經費ニ使用スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ本資金ヲ使用セントスルトキハ其ノ金額ヲ一般ノ歳入ニ組入レ一般ノ歳出トシテ拂出スヘシ

附 則

本法ハ昭和四年度ヨリ之ヲ施行ス

電話事業公債法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和四年二月二十三日

衆議院議長 元 田 肇

貴族院議長公爵德川家達殿

電話事業公債法中改正法律案

電話事業公債法中左ノ通改正ス

第一條中「三億二千八百萬圓」ヲ「五億三千百三十萬圓」ニ改ム

〔國務大臣三土忠造君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(三土忠造君) 日程第二十六ノ昭和二年法律案第十五號中改正法律案ニ付キマシテ御説明申上ゲマス、昭和四年度豫算計畫ニ於キマシテ帝都復興事業ノ内百二十九萬餘圓ハ、帝都復興事業費ヲ以テ建築イタシマシタル建物、及帝都復興費ヲ以テ購入又ハ埋立テマシタル土地ニシテ不用ニ歸シタルモノノ賣却代金ヲ以テ充用スルコトニ致シマシタ、而シテ右國有財産ノ處分ニ依ル收入金ハ、國有財産整理資金特別會計法ノ規定ニ依リマスレバ、同特別會計ノ歳入ニ組入ルベキモノデアリマスルガ、御承知ノ通り帝都復興事業費ハ、其財源ヲ震災善後公債ニ依リタル特例ノモノデアリマスルカラ、之ヲ國有財産整理資金特別會計ニ組入ル、コトナク、從來ノ取扱ト同様直接ニ一般ノ歳入ニ組入レマシテ、帝都復興事業費ノ財源ニ充用スル爲メ昭和二年法律第十五號ヲ改正スル必要ヲ生ジマシテ本案ヲ提出イタシタ次第デアリマス、何卒速ニ御協賛下サラムコトヲ希望イタシマス、ソレカラ日程第二十七、噸稅法中改正法律案ノ提案ノ理由ヲ御説明申上ゲマス、現行噸稅法ハ明治三

十二年ノ制定ニ係リマシテ、爾來三十餘年間何等ノ改正ヲモ加ヘズシテ今日ニ至ッタノデゴザイマス、噸稅法ノ内容ト致シマシテハ、本邦海港ニ入港スル外國貿易船ニ對シ、其各港入港毎ニ登簿噸數一噸又ハ十石ニ付キ五錢ヲ課稅シ、一時ニ十五錢ヲ納付シタル者ニ對シテハ、其港ニ於テ一年間課稅セザルコトニナッテ居ルノデアリマス、而シテ本改正案ノ要點ハ右五錢ノ稅率ヲ七錢、十五錢ヲ二十一錢ニソレレ、改ムルモノデアリマス、蓋シ本邦ニ於キマシテハ比較的ニ海難事件ガ多イノデゴザイマシテ、其原因ハ燈臺等船舶ノ交通ニ關スル設備ノ不完全ニ基ク所ガ少クナイノデアリマス、政府ニ於キマシテハ是マデ是等ノ設備ノ改善ニ付キマシテ出來得ル限りノ措置ヲ講ジテ居ルノデゴザリマスケレドモ、何分經費ノ關係上今少ホ遺憾ノ點ガ頗ル多イノデゴザイマス、斯クノ如キ狀態ヲ長ク持續スルコトハ海運ノ發展ニ大ナル障礙ヲ與フル所以デアリマスノミナラズ、延イテハ我ガ國力ノ伸張ニモ影響スル虞レガアリマスノデ、速ニ相當ノ對策ヲ講ズルノ必要ガアルト認メルノデアリマス、依ッテ此際噸稅ノ增收ヲ圖リ、之ニ依ッテ計畫ノ實現ヲ期スル趣旨ノ下ニ、玆ニ本案ヲ提出イタシタ次第デアリマス、何卒速ニ御協賛アラムコトヲ希望イタシマス、日程第二十八、借入金整理ニ關スル法律案ニ付キマシテ提案ノ理由ヲ説明イタシマス、一般會計ハ帝國鐵道及各植民地特別會計ニ對シマシテ六千四百十萬九百圓ノ債權ヲ有シ、他面治水事業費、大正三年臨時事件費及臨時軍事費支拂ノ爲メ、預金部ニ對シテ七千九百七十五萬圓ノ債務ヲ有シテ居ルノデアリマス、斯ノ如ク債權債務ノ竝ビ存シテ居リマスルコトハ、徒ニ歲計ノ膨脹ヲ來シ、收入支出ノ煩累ヲ増シマスルニ過ギマセヌノデ、一時ニ之ガ相殺的整理ヲ講ズル爲メ、前ニ述ベマシタル一般會計ノ有スル債權ヲ預金部ニ讓渡イタシマシテ、一般會計ノ預金部ニ對シテ負フ所ノ債務七千九百七十五萬圓ノ内、右ト同一額ノ債務ノ償還ニ代ヘマシテ、此限度ニ於テ債權債務ヲ消滅セシメルコトガ、財政整理上最モ機宜ノ措置ト考ヘマシテ、是ガ實行ニ關シ本法律案ヲ提出イタシタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス、日程第三十、電話事業公債法中改

正法律案ヲ御説明イタシマス、電話事業擴張ノ計畫ハ大正六年及同九年度ノ改訂ノ際財源ノ大部分ヲ公債ニ依ルコトニ致シマシタ所、大正十二年關東地方大震災以後該事業費ニ對スル公債支辨ヲ打切りマシテ、大正十四年度以來ハ加入者ニ設備負擔金ヲ課シ、自給自足ノ方法ニ依リ擴張ヲ遂行スルコトニ計畫ヲ改訂セラレタノデアリマシタガ、今般時勢ノ進運ニ伴ヒ新タニ擴張計畫ヲ立テルト共ニ、一面加入者ノ設備負擔金ヲ漸次減免スルコトニ致シマシタ、其財源トシテ此電話擴張ニ伴フ收入ヲ充當スルノ外一部ヲ公債ニ依ルコトニ致シマシタ爲メ、電話事業公債法中發行制限額ヲ改正スルノ必要ヲ生ジマシタ、是ガ改正法律案ヲ提出シタ次第デゴザイマス、何卒速ニ御協賛アラムコトヲ希望致シマス、次ニ賠償金特別會計法中改正法律案ハ、只今前後致シマシタガ、日程第三十ヲ先ニ御説明致シマシタ、日程第二十九賠償金特別會計法中改正法律案ニ付キマシテ御説明致シマス、獨逸國トノ平和條約ニ基キマシテ、本邦政府ガ賠償トシテ受領イタシマス現金竝ニ物件ハ、大正九年法律第二十五號ニ依リマシテ之ヲ一般ノ歲入歲出ト區分ヲ致シテ、賠償金特別會計ニ於テ保有シテ居リマスガ、同特別會計ノ資金ハ昭和三年度末ニ於キマシテ千八百餘萬圓ニ達シ、且ツ自今「ドーズ」案ニ依リ賠償支拂計畫ノ支障ナク實行サレマスル限り、毎年約七百萬圓ノ年金ヲ受領シ得ル豫定デアリマス、右賠償金特別會計ノ資金ハ帝國財政ノ現狀ニ鑑ミマシテ、之ヲ最モ適切有效ナル使途ニ當テルコトガ肝要デアリマスルカラ、昭和四年度以降、毎年度豫算ノ定ムル所ニ依リ之ヲ一般會計ニ組入レマシテ、國際聯盟、移殖民及航空施設ニ關スル經費ニ使用スルコトノ適當ト認メマシテ、之ガ爲ニ本案ヲ提出イタシタ次第デアリマス、何卒御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望致シマス

〔男爵阪谷芳郎君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 阪谷男爵ハ……

○男爵阪谷芳郎君 質問デス

○議長(公爵德川家達君) 只今通告ガアリマスカラ……日程第二十七ニ田中館愛橘君ノ質疑ノ通告ガゴザイマスカラ、同君ノ發言ヲ許シマス

〔田中館愛橘君演壇ニ登ル〕

○田中館愛橘君 本員ハ質疑ヲ致シマスニ付キマシテ少シク躊躇イタシマシタ、ト申シマスノハ、質疑ヲ致シマスルト云フト、何ヤラ現政府ニ反對ノ態度ヲ執ル如キ感ヲナスノ空氣ガ見エマシテ、誠ニ面白カラヌ風ト存ジマスル、何卒斯様ナ風潮ハ速ニ本院ヨリ一掃セラレムコトヲ希望イタシマス、私ノ質疑ハ、如何ナル政府ガ局ニ當リマシテモ同ジ質疑ノ出ルコトト存ジマス、第一ニ伺ヒマスルコトハ此噸稅法ノ改正デアリマス、稅制整理ノ一部ト存ジマス、稅制整理ト云フコトニハ全然賛成ノ意ヲ表スル者デアリマス、而シテ稅制整理ノ根柢タル所ノ度量衡整理ハ尙更ラ賛成ヲスル者デアリマス、此噸稅法ノ名稱デアリマス、折角御計畫ニナリマスルカラ、此噸稅法ノ噸ト云フ文字デアリマス、口偏ニ噸服ノ噸ノ字ヲ書イタ噸ノ字デアリマス、此文字ハ度量衡法ニ一切見當ラヌ所ノ文字デアリマス、此噸ノ字ヲ取除ケマス爲ニハ本員モ相當ニ苦心ヲ致シタモノデアリマス、此噸ノ字ハ多ク英噸ニ使ッタモノデアリマス、二千二百四十「ポンド」ニ當ル所ノ英國ノ度量衡ノ噸ニ使ヒマシタ、然ルニ米國ハ品物ニ依リマシテ二千「ポンド」ヲ以テ噸ト致シマシテ、矢張り同ジ噸ノ字ガ使ハレテアリマス、甚ダ紛ラハシイ、ソコデ「メートル」法ヲ施行シマスル時ニ「メートル」ノ噸ヲ如何ニシヤウカ、ドウ云フ文字ヲ作ラウカト云フコトヲ苦心シマシテ、本員ナドモ相談ニ預リマシタ、其結果「メートル」法ニ使ヒマス所ノ瓦ト云フ字ノ偏ニ屯ト云フ字ヲ書キマシタ、是ハ此度量衡法施行令第二條ニ載ッテアル所ノ文字デアリマス、口偏ニ噸ト云フ字ヲ書イタ噸ノ字ハ此度量衡法中ノ施行令全部ニ於テ一字モ見當ラヌ所ノ文字デアリマス、而シテ此度量衡法ハ昭和九年ヨリ厲行サレルノデアリマシテ、政府部内、此處ニ使フベキ所ノ項目ガ擧ゲテアリマスガ、項目ニ於テハ昭和九年ヨリハ厲行シナクチャナラヌ、只今ハ猶豫期間デアアル、我々ハ「メートル」法ノ度量衡ヲ使フベキ義務ガアル、唯猶豫シテアルダケデアリマス、斯ノ如キ時機ニ於キマシテ、此稅法ヲ御改正ニナリマスカラ、須ク現制度ノ下ニアル所ノ瓦ノ偏ニ屯ト云フ字ヲ書キマシタ、噸ト云フ字ニ之ヲ御書變ヘニナ

ルコトガ出來マセスカ、誠ニ簡單ナ甚ダ字句ニ因ハレタ論ノヤウデアリマスルガ、決シテ揚足ヲ取ルトカ、突込ムトカ云フ意味デハゴザイマセヌ、度量衡ノ整理ヲ一日モ早ク致シマシテ、我國ノ規格統一、進ンデハ世界的ノ規格統一ニ貢獻スル精神ヨリ伺フノデアリマス、尤モ此噸モ文字ヲ變ヘタダケデアアリマセヌ、内容ニ、僅カデアリマスルガ、變化ヲ致シマス、ト云フノハ「メートル」噸ハ千「キログラム」ヲ以テ一噸ト致シマス、然ルニ英噸千十六「キログラム」○四八ト云フヤウナ小サナ數ガ出來マス、兎ニ角一千「キログラム」ニ對シ約十六「キログラム」程多クナリマス、ソレ故ニ稅金ニ致シマスレバ「ベルセント」六、百圓ノ稅金ヲ課スル時ニ百○一圓六十錢稅金ヲ徵ルコトニナリマスカラ、大藏省ノ方ハ不足ハアルマイト存ズルノデアリマス、ドウカ出來得ベクンバ、サウ云フヤウニ出來マスマイカ、之ヲ伺フノガ一ツデアリマス、次ニ伺ヒマスノハ衆議院ノ速記録ヲ讀ミマスレバ、之ニ依ッテ得ル所ノ約五十萬圓ノ稅金、年額五十萬圓ト存ジマスガ、之ヲ以テ燈臺ヲ御建設ニナル、確カ十一箇所ト思ヒマシタガ、燈臺建設ニ而シテ航路ノ安全ヲ圖ルト云フコトガ盛ンニ衆議院ノ方デハ論ゼラレタヤウデアリマス、誠ニ結構ナコトデアリマシテ、本員モ滿腔ノ賛成ヲ表スルモノデアリマス、併シ燈臺ト申シマスルモノハ、一旦建テマスレバ永年ノ間保存ヲ致シマスル、或モノハ數十年間、役ヲシマスルカラ其後ハ茲ニ稅金ノ餘裕ヲ生ズルコトト存ジマス、ソレニ依ッテ燈臺港灣ノ設備其他ト云フコトガ確カ衆議院ノ方ノ速記録ニアタト存ジマス、燈臺其他デアリマスルカラ、何レ燈臺ニ附屬シタ音ヲ出シマス、音響ノ器トカ、斯ウ云フヤウナモノガアルダラウト存ジマスルガ、本員ノ希望イタシマスル所ハ航海ノ安全ハ單リ燈臺ニノミ依ルモノデアリマセヌ、燈臺ハホンノ一部分デアリマス、航路ノ安全ヲ圖ルモノハ氣象ガ最も大切デアリマス、今日僅一箇所ノ海上氣象臺ト云フモノガ出來マシタケレドモ、中々是ダケデハ足ラナイ、海上カラ來ル所ノ無線電信ヲ以テ發シマスル所ノ氣象報告ヲ受ケ、之ヲ整理ヲ致シマシテ、サウシテ天氣豫報ヲ發表スルノデアリマス、天氣豫報ヲ發表ニ付キマシテモ未ダ氣象臺ノ數モ足リマセヌ、

漸ク近頃ニナツテ太平洋上ニ發スル所ノ颶風ノ性質ト云フモノガ幾分カ分ルヤウニナリマシタガ、マダマダ之ヲ確實ニ研究イタシマシテ航路ノ安全ヲ圖ルコトハ必要デアリマス、是ハ單リ我國ノ航海者ノミナラズ世界的ノ航海者ニ對シテ必要ガアルノデアリマス、尙ホ申上ゲタイコトハ海上ヨリ報告ヲ受ケマスルニ船ニハ總ベテ氣象ノ觀測機械ガ設ケテアリマス、而シテ此觀測機械ハ時々検査ヲ致サナイト誤リガアリマス、ソレデ重要ナ所ノ港ニ氣象機械ノ検査ヲスル所ヲ設ケナケレバナリマセス、是ハ氣象臺デモ今日は非欲シイモノダト云フコトヲ希望シテ居ルノデアリマス、是ガ確カニ分ラネバナリマセス、人間ノ體溫ヲ見マスルノデモ間違ッタ寒暖計デ醫者ガ體溫ヲ計ッテハ、トンデモナイ誤診ヲ致シマシテ大事件ニナルト思ヒマス、此頃ノ天氣豫報ニ付キマシテハ溫度ノ高低、之ニ對スル壓力ノ高低、風向、風力、是ノ聊カナル違ヒニ依ッテ此颶風ガ右ニ行クモノカ左ニ行クモノカト云フコトヲ決メルノデアリマスカラ、是等ノ觀測所ハ是非共設ケナケレバナラス、此税金ハ衆議院デモ確カ特定ニ御使ヒニナルヤウナ御説明ガアッタト思ヒマス、サウ云フコトデアリマスレバ、其方面ニ向ッテ天氣豫報設備ニ向ッテ御使ヒニナルヤウナコトハアリマスマイカ、之ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、右二箇條ニ對シテ當局ノ御答辯ヲ煩シマス

〔國務大臣三土忠造君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(三土忠造君) 田中館博士ノ「メートル」法ノコトニ付キマシテノ御質問デアリマシタガ、今回改正イタシマスルノハ、部分改正デアリマスルノデ、舊來ノ法律ノ名前ヲ其儘存續イタスノデアリマス、御承知ノ通り昭和九年ニ全部「メートル」法ガ實施サレマス、其前ニ考究イタシテ更ヘルコトニ致シマス、收入ヲ以テスル施設デアリマスガ、此收入ガ六十萬圓程アリマスノデソレヲ第一燈臺其他ト書イテアリマスガ、燈臺其他「ブイ」或ハ航空標識ト云フモノニ今日考ヘテ居ルノデアリマス、天氣豫報等ノ測定ニ付キマシテハ、文部省ノ所管デアリマスカラ、是ハ必要ニ應ジマシテ相當ヤッテ行カナケレバナラスト思ヒマス、此收入ニ於キマシテハ主トシテ直接ニ燈臺ト「ブ

イ」航路標識ト云フモノニ使フノデアリマス、ソレデハ足ラナイノデアリマス、ガ全部ソレヲ使フ積リデアリマス

○田中館愛橘君 簡單デアリマスカラ此席ヨリ……其舊來アッタ法律デモ昭和九年ヨリハ改メナケレバナラスト云フコトデスガ其時ニナツテカラ御改メニナルノデアリマスカ

〔國務大臣三土忠造君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(三土忠造君) 此法律ノミナラズ他ニモ改メルコトガアルドラウト思ヒマスカラ、全部見マシテ整理シテ改メルヤウニ致シマス

○田中館愛橘君 此コトニ付キマシテ、一言御許シテ願ヒマスガ

○議長(公爵徳川家達君) 田中館君ニ申上ゲマスガ再ビ質疑ヲナサルト云フコトデアリマスカ、今一言申スト云フコトデアリマシタガ、御意見デハモウ絶對ニ御免ヲ蒙リマス

○田中館愛橘君 宜シウゴザイマス、只今ノ御説明ニ依リマス此金額ハ全部航路ノ識別ダケニ御使ヒニナル、他ノモノニハ一切使ハナイ、サウ云フコトデアリマスカ

〔國務大臣三土忠造君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(三土忠造君) 燈臺、「ブイ」、航路標識等ニ主ニ使フノデアリマス、全部……

○議長(公爵徳川家達君) 阪谷男爵

○男爵阪谷芳郎君 簡單デゴザイマスカラ……今日ノ日程ニ上ボッテ居リマスル地租、營業稅委讓問題ニ付テ大藏大臣ノ御説明ノ際ニ、補填財源トシテ御舉ゲニナリマシタモノガ段々アリマス、只今日程ニ載ッテ居リマスルモノモ其中ニ一、二見エテ居リマスガ、其委讓法案、地租營業稅委讓法案ノ通過ハ只今ノ所隨分困難ニ見受ケラレルノデアリマス、萬一不成立デアリマシタ場合ニハ只今日程ニ載ッテ居リマスルモノノ中デ、法律ノ必要ノナクナルモノガアリマスルノデゴザイマセウカ、私ハ豫算委員ノ一人トシテ、殊ニ大藏省ノ所管ヲ有ッテ居リマスノデ、歲入ト法律ノ關係ガ今年ハ至ッテ混雜イタシ

テ居リマス、デ只今ノ日程ニ上ボリマシタ分ニ付テハ至ッテ其分界ガ不明瞭デアリマス、大藏大臣ノ其補填財源トシテ御説明ニナリマシタモノノ中ニハ確カニ上ボッテ居ル、其處ノ關係ハ如何デゴザイマスカ

〔國務大臣三土忠造君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(三土忠造君) 御答イタシマス、既ニ申上ゲマシタ通り兩稅委讓ノ財源ヲ作ルト云フ積リデナクシテ、各法律ノ改正其他ノモノハ、各、別個ノ理由ガアツテ提案イタシタノデアリマスルカラ、是ト別個ノモノト御考下サツテ宜シウゴザイマス

○男爵阪谷芳郎君 サウ致シマスルト自然不用ナル財源ガ生ズル譯ニナルガ、ソレハ御認メニナッテ居リマスカ

〔國務大臣三土忠造君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(三土忠造君) 不用ノ財源トナリマスルモノハ昭和四年度ニ於キマシテハ關係ナイノデアリマス、昭和四年、五年ハ大體關係ナイノデアリマス、昭和六年度ニ於キマシテ兩稅委讓ヲシナイトスレバ相當歲入ガ其處ニ浮イテ參リマス、斯ウ云フ關係ニナリマス

○男爵阪谷芳郎君 尙ホ豫算委員會ノ方デ伺フ事ニ致シマス

○議長(公爵德川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔瀨古書記官朗讀〕

昭和二年法律第十五號中改正法律案外四件特別委員

侯爵德川 圀順君 伯爵二荒 芳德君 子爵花房 太郎君

子爵舟橋 清賢君 男爵池田 長康君 加藤 政之助君

木村 清四郎君 大川 平三郎君 濱口 儀兵衛君

○議長(公爵德川家達君) 日程第三十一、開墾助成法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

開墾助成法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和四年二月二十六日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長 元 田 肇

開墾助成法中改正法律案

開墾助成法中左ノ通改正ス

第二條 助成金ノ額ハ命令ノ定ムル所ニ依リ事業ノ爲支出シタル金額ノ十分ノ四以内トス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行前助成金交付ノ指令ヲ受ケタル者ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル但シ主務大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法施行ノ日以後ニ於テ施行スル事業ニ對シ從前ノ例ニ依ル助成金ノ交付ヲ廢止シ本法ニ依ル助成金ヲ交付スルコトヲ得

〔政府委員東武君演壇ニ登ル〕

○政府委員(東武君) 開墾助成法中改正法律案ノ提案理由ノ説明ヲ致シマス、開墾助成法中改正法律案ノ提案ノ理由ハ、此現在行ハレテ居リマス開墾助成法ハ大正八年ニ制定セラレマシテ開墾事業ニ對スル投入資金ノ利息ヲ補給スルト云フ趣意ニ基キマシテ、一定ノ助成金ヲ交付スル制度ニナッテ居ルノデアリマス、近時四圍ノ事情ノ變遷ニ伴ヒマシテ、開墾事業ノ經營ハ事業資金ノ調達ノ困難、事業者負擔ノ過重ト云フコトガ事業遂行上ノ主ナル支障トナッテ、成績豫期ノ如クナラザルノ實狀ニ鑑ミマシテ、從來ノ利息補給ノ制度ヲ改メマシテ、今回ハ事業費ノ現金ノ一部ヲ補給スル事ニ致シテ居リマス、從來ノ助成金ハ、利子ヲ補給スルト云フノデ、六厘ノ利率ニ依ッテ補給ヲ致シテ居ッタノデアリマスガ、此改正案ハ、事業費ノ現金ノ一部ヲ補給スル事ニ致シマシテ、四割ノ補助ヲ致ス事ニ改正イタス事ニナッテ居ルノデアリマ

ス、尤モ是ガ爲ニ同一面積、例ヘバ一萬町歩ニ對シマスル、本年ハ一萬町歩ノ經費ノ要求ガ豫算ニ載ッテ居ルノデアリマスルガ、一萬町歩ニ對スル國庫ノ負擔ノ總額ニハ異動ヲ生ジマセヌノデアリマス、助成金ノ年割額ニ於キマシテ、繰上ゲ交附スルコトニナルノデアリマス、サウシテ國庫ノ負擔ハ變リマセヌガ、事業者ノ受ケル所ノ便宜ハ非常ニ著シイモノガアルノデアリマス、此開墾事業獎勵上一層有效適切ナラシメル爲ニ、本改正案ヲ提出シタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔瀨古書記官朗讀〕

開墾助成法中改正法律案特別委員

侯爵久我 常通君 子爵伊集院 兼知君 子爵東園 基光君

玉利 喜造君 男爵黒川 幹太郎君 鍋島 桂次郎君

藤田 謙一君 三木 與吉郎君 小林 嘉平治君

○議長(公爵徳川家達君) 日程第三十二ヨリ第三十四マデ政府提出、衆議院送付、第一讀會

神戸商業大學移轉改築費ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和四年二月二十六日

衆議院議長 元 田 肇

貴族院議長公爵徳川家達殿

神戸商業大學移轉改築費ニ關スル法律案

神戸商業大學移轉改築費ハ大學特別會計法第一條ノ規定ニ拘ラズ之ヲ一般會計ノ所屬トス

昭和三年度ニ於テ施行シタル元神戸高等商業學校ノ移轉改築ノ經費竝ニ昭

和四年度及昭和五年度ニ於テ施行スル神戸商業大學ノ移轉改築ノ經費ニ充用スル爲官立大學資金ノ内百五十四萬八千七百六十圓ヲ限リ一般會計ニ繰入ルルコトヲ得

附 則

本法ハ昭和四年度ヨリ之ヲ施行ス
昭和三年法律第五號ハ之ヲ廢止ス

大正十三年法律第十號中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和四年二月二十六日

衆議院議長 元 田 肇

貴族院議長公爵徳川家達殿

大正十三年法律第十號中改正法律案

大正十三年法律第十號中左ノ通改正ス

第一項中「及千葉醫科大學」ヲ「千葉醫科大學及東京工業大學」ニ改ム

附 則

本法ハ昭和四年度ヨリ之ヲ施行ス

參照

大正十三年法律第十號ハ高等諸學校震災復舊諸費ニ屬スル豫算ノ施行ニ關スル法律ナリ

學校及圖書館特別會計法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和四年二月二十六日

衆議院議長 元 田 肇

貴族院議長公爵德川家達殿

學校及圖書館特別會計法中改正法律案

學校及圖書館特別會計法中左ノ通改正ス

第八條ニ左ノ一項ヲ加フ

文部大臣ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ前項以外ノ者ヲシテ歲入歲出豫算ノ一部ヲ施行セシムルコトヲ得

附 則

本法ハ昭和四年度ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣三土忠造君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(三土忠造君) 只今一括議題ニ上ボリマシタル三案ニ付キマシテ御説明ヲ致シマス、第一ハ神戸商業大學移轉改築費ニ關スル法律案デアリマス、神戸高等商業學校ノ移轉改築ニ關スル經費ハ、昭和三年度ノ追加豫算ヲ以テ昭和三年度乃至昭和五年度ニ互ル繼續費トシテ成立イタシマシタル事ハ御承知ノ通りデゴザイマス、而シテ其財源ニ付キマシテハ、同校ガ移轉後ニ於テ不用トナルベキ同校ノ敷地及校舍ヲ賣却シテ得タル資金ヲ一般會計ニ繰入レル事ニ致シマシテ、昭和三年法律第五號ノ制定ヲ見タノデアリマス、然ルニ該校ハ昭和四年度ヨリ昇格イタシマシテ、神戸商業大學トナリ、官立大學特別會計ノ所屬トナリマスルガ、前述ノ豫算ハ、既ニ昭和三年度ニ於テ一般會計ニ於テ施行中ノモノデアリマスカラ、便宜上之ヲ一般會計ノ所屬ト爲スノ特例ヲ開キマシテ、且ツ是ガ財源關係ニ付キマシテ、同法律ノ内容ヲ改正スルノ必要ガアリマスノデ、本案ヲ提出イタシタ次第デアリマス、ソレカラ次ハ大正十三年法律第十號中改正法律案デアリマス、之ヲ御説明申上ゲマス、東京工業學校ノ震災復興費ハ、東京外國語學校ノ分ト共ニ、震災復興諸費トシテ、大正十三年度追加豫算ヲ以テ大正十三年度乃至昭和五年度ニ互リマシタ繼續費トシテ成立ヲ致シマシタコトハ御承知ノ通りデアリマス、然

ルニ同校ハ矢張り昭和四年度ヨリ昇格イタシマシテ東京工業大學トナリ官立大學特別會計ノ所屬トナリマシタ、併シ前述ノ豫算ハ他ノ震災復興費ト同ジク之ヲ一般會計ノ所屬ト致シマシテ之ヲ施行スル爲ニ大正十三年法律第十號ヲ改正スルノ必要ガアリマシテ、本案ヲ提出イタシマシタ次第デアリマス、次ハ學校及圖書館特別會計法中改正法律案デアリマス、文部省直轄諸學校ニ於テ使用スル用紙類ハ各學校ニ於キマシテ個々ニ購買スルノ現狀デアリマシテ、經濟的見地ヨリスレバ甚ダ不利ナ狀態ニアリマス、又其規格ノ統一ヨリスルモ遺憾ノ點ガアリマスルニ鑑ミマシテ、是等ノ用紙類ノ購買及印刷等ヲ本省ニ於キマシテ統一シテ施行スルコトニ致シマスル爲ニ、學校及圖書館特別會計ノ歲入歲出豫算ノ一部ヲ、學校長及圖書館長以外ノ者ヲシテ施行セシムルコトヲ得ルノ途ヲ開ク爲ニ、同特別會計法ヲ改正スルノ必要ガアリマスルノデ、本案ヲ提出イタシタ次第デアリマス、何卒右三案トモ御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔瀨古書記官朗讀〕

神戸商業大學移轉改築費ニ關スル法律案外二件特別委員

公爵鷹司 信輔君 伯爵樺山 愛輔君 子爵實吉 安純君

子爵清岡 長言君 子爵三室戶 敬光君 眞野 文二君

男爵北河原 公平君 中村 純九郎君 八馬 兼介君

○議長(公爵德川家達君) 日程第三十五、絲價安定融資補償法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

絲價安定融資補償法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和四年二月二十八日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長 元 田 肇

絲價安定融資補償法案

絲價安定融資補償法

第一條 生絲ノ價格ガ一般經濟狀況ニ照シ異常ナル低落ヲ爲シ蠶絲業ノ基礎ヲ危クスル虞アル場合ニ於テ其ノ價格ノ安定ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ政府ハ銀行ガ生絲ノ製造又ハ加工ヲ爲ス者ニ對シ主務大臣ノ定ムル條件ニ從ヒ生絲ヲ擔保トシ手形割引ノ方法ニ依リ資金ノ融通ヲ爲ス場合ニ於テ之ニ因リ損失ヲ受クルトキ銀行ニ對シ其ノ損失ニ付補償スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ガ命令ノ定ムル所ニ依リ生絲ノ製造又ハ加工ヲ爲ス者ニ對シ資金ノ融通ヲ爲ス場合ニ於テ其ノ者ニ對シ銀行ガ前項ノ條件ニ從ヒ生絲ヲ擔保トシ手形割引ノ方法ニ依リ資金ノ融通ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

一 生絲ノ問屋

二 主務大臣ガ絲價委員會ノ議ヲ經テ適當ト認ムル者

前二項ノ規定ニ依リ政府ガ損失補償ノ契約ヲ爲スニ付テハ絲價委員會ノ議ヲ經ルコトヲ要ス

絲價委員會ノ組織及權限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 損失補償ノ契約ヲ爲スコトヲ得ル期間ハ本法施行ノ日ヨリ五年トス

第三條 損失補償ノ契約ニ基キ政府ノ支拂フベキ損失補償金ノ總額ハ三千萬圓ヲ超ユルコトヲ得ズ

第四條 第一條ノ損失ハ銀行ガ擔保トシテ受取リタル生絲ニ付債權ノ辨濟ヲ受ケ尙不足アルトキ其ノ不足分トス

前項ノ損失ニ付政府ノ補償スベキ額ハ損失補償ノ契約ニ定ムル金額ノ制限其ノ他ノ條件ニ從ヒ絲價安定融資補償審查會之ヲ決定ス

絲價安定融資補償審查會ノ組織及權限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條 銀行ガ擔保トシテ受取リタル生絲ヲ債權ノ辨濟ヲ受クル爲處分セントスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

主務大臣前項ノ認可ヲ爲サントスルトキハ絲價委員會ノ議ヲ經ルコトヲ要ス

第六條 政府ガ銀行ニ對シテ支拂フベキ損失補償金ハ五分利附國債證券ヲ以テ之ヲ交付スルコトヲ得

第七條 政府ハ前條ノ規定ニ依リ交付スル爲必要ナル額ヲ限度トシ公債ヲ發行スルコトヲ得

第八條 本法ニ依リ交付スル國債證券ノ交付價格ハ時價ヲ參酌シテ主務大臣之ヲ定ム

第九條 損失ノ補償ヲ受ケタル銀行ハ命令ノ定ムル所ニ依リ債權ノ取立ヲ爲シ其ノ取立金ヲ政府ニ納付スベシ

銀行ハ命令ノ定ムル所ニ依リ生絲ノ問屋其ノ他生絲ノ製造又ハ加工ヲ爲ス者ノ爲ニ生絲ノ販賣ヲ爲ス者ヲシテ其ノ取扱ニ係ル生絲ノ販賣代金中ヨリ前項ノ債權ノ取立ヲ爲サシムルコトヲ得

第十條 損失ノ補償ヲ受クルノ契約ヲ爲シタル銀行ガ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ損失補償ノ契約ニ違反シタルトキハ政府ハ契約ヲ解除シ、損失ノ全部若ハ一部ニ付補償ヲ爲サズ又ハ損失補償金ノ全部若ハ一部ノ償還ヲ命ズルコトヲ得

第十一條 主務大臣本法施行ノ爲必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ生絲ノ製造又ハ加工ヲ爲ス者及第一條第二項各號ノ一ニ該當スル者ニ對シ其ノ事業又ハ財産ニ關スル報告ヲ爲サシメ、其ノ事業又ハ財産ノ狀況ヲ檢査シ其ノ他必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第十二條 本法ノ適用ニ付テハ產業組合中央金庫ハ之ヲ銀行ト看做ス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔政府委員東武君演壇ニ登ル〕

○政府委員(東武君) 絲價安定融資補償法案ノ提出理由ヲ御説明申上ゲマス、本邦蠶絲業ハ本邦ノ重要産業デアリマシテ又國際收支ノ關係ニ於テ益其重大ヲ加ヘツ、アルノデアリマス、而シテ詳カニ其内容ヲ調べマスルト云フト、幾多ノ缺陷ヲ以チマシテ、内外ニ於ケル事情ノ變遷推移ニ鑑ミマシテ、斯業ガ克ク將來今日ノ繁盛ヲ維持シ、一般ノ發展ヲ期スルガ爲ニハ、速ニ其全般ニ互ツテ根本的ナル改善充實ヲ圖ルコト頗ル急務ナリト信ズルノデアリマス、政府ニ於キマシテハ當業者ヲシテ深ク此點ニ顧ミテ、自發的ニ適當ナル施設ヲ講ゼシムルト共ニ、是ト相俟ツテ慎重ナル調査考究ニ基キ、著々適切ナル對策ヲ講ジマシテ、是ガ促進ヲ圖リ、以テ斯業ノ健全ナル發達ヲ全ウスルニ努力シ、當業者又備荒ノ資金ヲ積ミ將來ニ對應セムトシツ、アルノデアリマス、然リト雖モ其業タルヤ固ヨリ急速ニ之ガ實現充實ヲ期スルコトガ困難デアル爲ニ、相當假スニ年月ヲ以テシナケレバナラス、然ルニ從來製絲業ノ不振著シキモノガアリマシテ、御承知ノ通り絲價ノ異常ナル低落ニ遭遇スル時ニハ、當業者ニ於キマシテ獨力能ク之ガ對應ノ策ヲ講ズルノ力ガ乏シク、遂ニハ改善充實ノ業ガ成ラズシテ、中途ニシテ製絲業存立ノ基礎ヲ危クセシメ、延ヒテハ養蠶業ノ衰頹ヲ招來スルコトガナキニシモアラヌノデアリマス、而シテ絲價ノ著シキ低落タルヤ主トシテ製絲業者ガ信用ガ薄弱デアリマシテ、金融難ニ陥リ、止ムナク其製品ノ賣急ギヲ爲スニ因ツテ起ルコトガ多イノデアリマス、他ニ格別ナル經濟上ニ必然ノ原因ガナイニモ拘ラズ、不自然ノ低落ヲ重ネル場合ガ多ク、從ツテ其價格ノ安定ハ畢竟斯業ノ根本的改善ニ俟タナケレバ其全キヲ期スルコトガ出來ヌノデアリマス、本邦重要産業ノ維持發達ヲ圖ル上ニ於テハ、其改善充實ノ業ノ達成セラル、マデノ間ニ於キマシテ、衰頹スルコトナカラシムルガ爲ニ、一時的の方策トシテ絲價ノ異常ナル低落ニ際シマシテ、之ヲ防止スベキ適當ナル應急施設ヲ豫メ備ヘテ置クコトガ極メテ緊要ト考ヘルノデアリマス、而シテ右絲價安定ノ施設ハ絲價變動ノ微妙ナルニ照ラシ、必要ニ應ジ機ヲ失スルコトナク、敏速ニ發動シ得ルノ組織ト爲スヲ要スルノデアリマス、且ツ其不安定ガ主トシテ製絲業者ノ資力薄

弱ニシテ金融潤澤ナラザルニ基クノ事實ニ鑑ミマシテ、此點ニ對シ適切ナル方法ヲ採ルノ要ガアルト共ニ、一面海外消費國ニ對シマシテ、努メテ誤解ヲ生ゼシメザル方法ニ依ルコトヲ必要ト考ヘ、茲ニ右ノ趣旨ニ依リマシテ生絲ノ價格ガ一般經濟狀況ニ照ラシマシテ異常ナル低落ヲ爲シ、本邦蠶絲業ノ基礎ヲ危殆ナラシムル虞アル場合ニ於テ、製絲業者ヲシテ各自慎重ナル考慮ノ下ニ其製品ノ賣急ギヲ手控ヘシメテ、市場ニ於ケル供給量ノ自然調節ニ因リマシテ、絲價ノ安定ヲ得セシメムガ爲ニ、平常ノ金融系統ニ依リマシテ、製絲業者ニ對シ潤澤圓滑ナル資金ヲ融通シテ、其金融難ニ陥ルコトヲ防グコトトシ、之ニ因ツテ銀行等ガ損失ヲ受ケタ時ハ、政府ガ之ニ對シテ補償スル制度ヲ設ケムトスルノデアリマス、是レ本法提案ノ理由デアリマスガ、速ニ御審議ノ上御協賛アラムコトヲ切望スル次第デアリマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ハ蠶絲業法中改正法律案ノ特別委員ニ付託イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第三十六、大正十一年法律第五十二號中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

大正十一年法律第五十二號中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和四年二月二十八日

衆議院議長 元 田 肇

貴族院議長公爵德川家達殿

大正十一年法律第五十二號中改正法律案

大正十一年法律第五十二號中左ノ通改正ス

第一條中「政府ハ」ノ下ニ「農業及」ヲ加ヘ「實地調査ヲ行フ」ヲ「本法ニ依ル實地調査ヲ行フコトヲ得」ニ改ム

參照

大正十一年法律第五十二號ハ統計資料實地調査ニ關スル法律ナリ

〔政府委員下條康麿君演壇ニ登ル〕

○政府委員(下條康麿君) 只今日程ニ上ボリマシタ大正十一年法律第五十二號中改正法律案ニ付キマシテ、提案ノ理由ヲ簡單ニ申上ゲタイト存ジマス、此大正十一年法律第五十二號ト申シマスルノハ、各般政策施設ノ基本資料トシテ信憑スルニ足ルベキ最モ正確ナル統計ヲ得ルノ目的ヲ以チマシテ、特別ノ實地調査、即チ所謂「センサス」ヲ施行スル爲ニ制定セラレテ居リマス、而シテ現在ニ於キマシテハ單ニ勞働事情ニ關スル「センサス」ヲ施行スル場合ニ限ラレテ居リマスガ、時勢ノ進運ニ伴ヒマシテ農業統計ノ刷新改善ヲ圖ル爲ニ、農業「センサス」ヲ施行スルノ必要ガアルニ至ッタノデアリマス、此農業「センサス」ノ計畫ニ關シマシテハ、政府ハ昨年中中央統計委員會ニ諮問イタシマシテ、其答申ヲ得マシタノデ、取敢ズ明年度カラ之ガ實施ニ著手セント致シテ居ルノデアリマス、從ヒマシテ本法ノ適用範圍ヲ擴張イタシマシテ、勞働事情バカリデハナク、農業「センサス」ヲ施行スル場合ニモ適用イタシタイト考ヘテ居ルノデアリマス、是ガ本案ヲ提出イタシマシタ理由デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ハ開墾助成法中改正法律案ノ特別委員ニ付託イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第三十七、朝鮮簡易生命保險特別會計法案、日程第三十八、朝鮮簡易生命保險ノ事務ニ關スル郵便物ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

朝鮮簡易生命保險特別會計法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和四年二月二十八日

貴族院議長公爵德川家達殿

朝鮮簡易生命保險特別會計法案

朝鮮簡易生命保險特別會計法

第一條 朝鮮總督府ニ於テ簡易生命保險事業ヲ經營スル爲特別會計ヲ設置シ其ノ歲入ヲ以テ歲出ニ充ツ

第二條 本會計ニ於テハ保險料、積立金ヨリ生ズル收入、毎年度豫算ノ定ムル所ニ依リ朝鮮總督府特別會計ヨリ繰入ルル金額及附屬雜收入ヲ以テ其ノ歲入トシ保險金、還付金、事業取扱費、營繕費其ノ他ノ諸費ヲ以テ其ノ歲出トス

第三條 本會計ニ於ケル歲入總額ノ歲出總額ニ超過スル金額ハ之ヲ積立ツベシ

本會計ノ歲計ニ不足アルトキハ積立金ヨリ之ヲ補足スベシ

第四條 本會計ニ於テ支拂上現金ニ餘裕アルトキハ之ヲ大藏省預金部ニ預入ルルコトヲ得

第五條 政府ハ毎年本會計ノ歲入歲出豫算ヲ調製シ歲入歲出ノ總豫算ト共ニ之ヲ帝國議會ニ提出スベシ

第六條 本會計ノ收入支出及積立金ノ運用ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

朝鮮簡易生命保險ノ事務ニ關スル郵便物ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和四年二月二十八日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長 元 田 肇

朝鮮簡易生命保險ノ事務ニ關スル郵便物ニ關スル法律案

朝鮮簡易生命保險ノ事務ニ關スル郵便物ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ無料ト爲スコトヲ得

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔國務大臣三土忠造君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(三土忠造君) 朝鮮簡易生命保險特別會計法案ニ付キマシテ御説明ヲ致シマス、朝鮮ニ於ケル現狀ニ鑑ミマシテ、大體内地ノ例ニ依リマシテ、朝鮮ニ簡易生命保險制度ヲ實施スルノ必要ヲ認メマシテ、之ガ實施ノ方法ニ付キマシテハ別途制令等ヲ制定セラルルコトニ相成ッテ居リマス、而シテ簡易生命保險事業ハ原則トシテ純保險料式ニ基キ、保險料及積立金ノ運用金利殖ヨリ生ズル收入等ヲ以テ保險金、還付金等ノ經費ニ充當セムトスルモノデアリマシテ、唯收支關係上收入ノ不足ヲ見マスノデ、當分ノ内朝鮮總督府特別會計ヨリ補給スルコトニ致シテアリマスガ、性質上之ガ收支ハ一團トシテ獨立ニ計算スルヲ適當ト考ヘマスルノデ、本事業ニ關スル歳入歳出ハ、之ヲ朝鮮總督府特別會計ト區分イタシマシテ、別ニ特別會計ヲ設置スルノ必要ガアリマスノデ、本案ヲ提出イタシタ次第デアリマス、何卒御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔瀨古書記官朗讀〕

朝鮮簡易生命保險特別會計法案外一件特別委員

侯爵鍋島 直映君 子爵吉田 清風君 子爵藪 篤 麿君
男爵小畑 大太郎君 阪本 鈺之助君 湯淺 倉平君

津村 重舍君 若尾 璋八君 森田 福市君

○議長(公爵德川家達君) 日程第三十九、國寶保存法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

國寶保存法案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和四年二月二十八日

衆議院議長 元 田 肇

貴族院議長公爵德川家達殿

國寶保存法案

國寶保存法

(小字ハ衆議院ノ修正文)

第一條 建造物、寶物其ノ他ノ物件ニシテ特ニ歴史ノ證徴又ハ美術ノ模範ト爲ルベキモノハ主務大臣國寶保存會ニ諮問シ之ヲ國寶トシテ指定スルコトヲ得

第二條 主務大臣前條ノ規定ニ依ル指定ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ官報ヲ以テ告示シ且當該物件ノ所有者ニ通知ス

第三條 國寶ハ之ヲ輸出又ハ移出スルコトヲ得ズ但シ主務大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第四條 國寶ノ現狀ヲ變更セントスルトキハ主務大臣ノ許可ヲ受クベシ但シ維持修理ヲ爲スハ此ノ限ニ在ラズ

第五條 主務大臣前二條ノ規定ニ依ル許可ヲ爲サントスルトキハ國寶保存會ニ諮問スベシ

第六條 國寶ノ所有者ニ付變更アリタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ所有者ヨリ主務大臣ニ届出ヲ爲スベシ國寶滅失又ハ毀損シタルトキ亦同ジ

第七條 國寶ノ所有者ハ主務大臣ノ命令ニ依リ一年間ノ期間ヲ限リ帝室、

官立又ハ公立ノ博物館又ハ美術館ニ其ノ國寶ヲ出陳スル義務アルモノト
ス但シ祭祀法用又ハ公務執行ノ爲必要アルトキ其ノ他已ムコトヲ得ザル
事由アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ命令ニ對シテ不服アル者ハ訴願ヲ爲スコトヲ得

第八條 前條ノ規定ニ依リテ國寶ヲ出陳シタル者ニ對シテハ命令ノ定ムル
所ニ依リ國庫ヨリ補給金ヲ交付ス

第九條 第七條ノ規定ニ依リテ出陳シタル國寶其ノ出陳中滅失又ハ毀損シ
タルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ國庫ヨリ其ノ所有者ニ對シ通常生ズベ
キ損害ヲ補償ス但シ不可抗力ニ因リタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ損害補償額ハ主務大臣之ヲ決定ス其ノ決定ニ對シテ不服アル者ハ
決定通知ノ日ヨリ三月内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第十條 第七條ノ規定ニ依リテ出陳シタル國寶ニ付其ノ出陳中所有者ノ變
更アリタルトキハ新所有者ハ當該國寶ニ關シ本法ニ規定スル舊所有者ノ
權利義務ヲ承繼ス

第十一條 公益上其ノ他特殊ノ事由ニ依リ必要アルトキハ主務大臣國寶保
存會ニ諮問シ國寶ノ指定解除ヲ爲スコトヲ得

主務大臣前項ノ規定ニ依ル指定解除ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ官報ヲ以
テ告示シ且當該物件ノ所有者ニ通知ス

第十二條 神社又ハ寺院(佛堂ヲ含ム以下同ジ)ノ所有ニ屬スル國寶ハ神社
ニ在リテハ神職(官國幣社ニ在リテハ宮司、府縣郷社ニ在リテハ社司、
村社以下ニ在リテハ社掌)、寺院ニ在リテハ住職(佛堂ニ在リテハ受持僧
侶)之ヲ管理ス但シ主務大臣ノ許可ヲ受ケ別ニ管理者ヲ定ムルコトヲ得

第十三條 神社又ハ寺院ノ所有ニ屬スル國寶ハ之ヲ處分シ、擔保ニ供シ又
ハ差押フルコトヲ得ズ

第十四條 神社又ハ寺院其ノ所有ニ屬スル國寶ヲ維持修理スルコト能ハザ
ルトキハ主務大臣國寶保存會ニ諮問シ之ニ對シ補助金ヲ交付スルコトヲ

得

特ニ必要アルトキハ神社又ハ寺院以外ノモノノ所有ニ屬スル國寶ニ付前項ノ規定ヲ準用ス

第十五條 補助金ハ豫算額ヲ以テ之ヲ交付スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ精
算ノ上剩餘アルトキハ之ヲ還付セシムルコトヲ得

第十六條 補助金及補給金トシテ國庫ヨリ支出スベキ金額ハ毎年度十五萬
圓以上二十萬圓以下トス

前項ノ金額ノ外特ニ必要アルトキハ豫算ノ定ムル所ニ依リ臨時ニ補助金
又ハ補給金ヲ支出スルコトヲ得

第十七條 國寶保存會ノ組織及權限ニ關スル事項ハ本法ニ規定スルモノノ
外勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十八條 神社又ハ寺院ノ所有ニ屬スル國寶ノ管理ニ關スル事項ハ命令ヲ
以テ之ヲ定ム

第十九條 國ノ所有ニ屬スル國寶ニ關シテハ勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコ
トヲ得

第二十條 主務大臣ノ許可ナクシテ國寶ヲ輸出又ハ移出シタル者ハ五年以
下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十一條 國寶ヲ損壞、毀棄又ハ隱匿シタル者ハ五年以下ノ懲役若ハ禁
錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ國寶自己ノ所有ニ係ルトキハ二年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二百圓
以下ノ罰金若ハ科料ニ處ス

第二十二條 第四條ノ規定ニ違反シ許可ヲ受クベキ者之ヲ受ケズシテ國寶
ノ現狀ヲ變更シタルトキハ五百圓以下ノ過料ニ處ス

第二十三條 第六條ノ規定ニ違反シ届出ヲ爲サザル者ハ百圓以下ノ過料ニ
處ス

第二十四條 第七條ノ規定ニ依リテ出陳シタル國寶ノ管理者又ハ神社若ハ
寺院ノ所有ニ屬スル國寶ノ管理者怠慢ニ因リ其ノ管理スル國寶ヲ滅失又
ハ毀損スルニ至ラシメタルトキハ五百圓以下ノ過料ニ處ス

第二十五條 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ本法ニ規定スル過料ニ付之ヲ準用ス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

古社寺保存法ハ之ヲ廢止ス

古社寺保存法ニ依リテ特別保護建造物又ハ國寶ノ資格アルモノト定メラレタル物件ハ之ヲ本法ニ依リテ國寶トシテ指定セラレタル物件ト看做ス

古社寺保存法ニ依リテ下付シタル保存金ハ之ヲ本法ニ依リテ交付シタル補助金ト看做ス

〔政府委員山崎達之輔君演壇ニ登ル〕

○政府委員(山崎達之輔君) 國寶保存法案提出ノ理由ヲ御説明申上ゲマス、從來建造物寶物ノ類ニ付キマシテ、歴史ノ象徵トナリ、美術ノ模範トナル物ノ保存ニ關シマシテハ、御承知ノ通り古社寺保存法ノ制定ヲ見テ居ッタノデアリマス、然ルニ同法ノ規定イタシマス所ハ社寺有ノ物件ノミニ限ラレテ居ルノデアリマシテ、此範圍ヲ擴張イタスコトノ必要ヲ認メルノデアリマス、尙又同法ニ依リマシテ、保存上必要ナル補助金ノ金額ガ限定イタサレテ居リマスルガ、其制限ヲ擴張イタシマスコトノ必要ヲ認メテ居ルノデアリマス、其他同法ハ三十年以前ノ制定ニ係ッテ居リマスル爲ニ、不備ノ廉モ尠カラザルヤウニ認メルノデアリマス、以上ノ理由ニ依リマシテ從來ノ古社寺保存法ヲ改メマシテ、新ニ國寶保存法ヲ制定イタシマシテ、是等ノ貴重ナル物件ノ保存上遺憾ナキヲ期シタイ考ヘデアルノデアリマス、此理由ヲ以チマシテ本案ヲ提出イタシマシタ次第デゴザイマスルガ、何卒御審議ノ上御協賛ヲ御與ヘ下サレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ノ特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔瀨古書記官朗讀〕

國寶保存法案特別委員

侯爵 細川 護立君 伯爵 林 博太郎君 男爵 藤田 平太郎君

高田 早苗君 竹越 與三郎君 馬越 恭平君

根津 嘉一郎君 北村 宗四郎君 大谷 尊由君

○議長(公爵德川家達君) 日程第四十、家畜保險法案、日程第四十一、家畜再保險特別會計法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

家畜保險法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和四年二月二十八日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長 元 田 肇

家畜保險法案

家畜保險法

第一章 家畜保險組合

第一節 總則

第一條 家畜ノ所有者ハ其ノ所有スル家畜ニ付相互保險ヲ爲ス目的ヲ以テ家畜保險組合ヲ設立スルコトヲ得

保險ノ目的タルベキ家畜ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 家畜保險組合ハ法人トス

第三條 組合ノ區域ハ郡市ノ區域ニ依ル但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ區域ニ依ラザルコトヲ得

前項ノ規定ニ於テ郡トアルハ北海道ニ在リテハ北海道廳支廳長管轄區域トス

第四條 組合ハ其ノ名稱中ニ家畜保險組合タルコトヲ示スベキ文字ヲ用フベシ

家畜保險組合ニ非ザルモノハ其ノ名稱中ニ家畜保險組合タルコトヲ示スベキ文字ヲ用フルコトヲ得ズ

第五條 組合ノ住所ハ其ノ主タル事務所ノ所在地ニ在ルモノトス

第六條 本法ニ依リ登記スベキ事項ハ登記前ニ在リテハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第七條 本法ニ依リ登記スベキ事項ハ其ノ事實ノ生ジタル後二週間以内ニ之ヲ各事務所ノ所在地ニ於テ登記スベシ

登記スベキ事項ニシテ行政官廳ノ認可ヲ要スルモノハ其ノ認可書ノ到達シタル時ヨリ登記ノ期間ヲ起算ス

第八條 組合ニハ所得稅及營業收益稅ヲ課セズ

第九條 組合ガ本法ニ基キテ爲ス登記ニ付テハ登録稅ヲ課セズ

第十條 本法ニ依ル家畜保險ニ關スル書類ニハ印紙稅ヲ課セズ

第二節 設立

第十一條 組合ヲ設立セントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ發起人ハ定款ヲ作成シ組合員タルベキ資格ヲ有スル者ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ招集スベシ

定款ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一 目的

二 名稱

三 區域

四 事務所ノ所在地

五 保險ノ目的及保險料率

六 準備金ノ積立及管理ノ方法

七 剩餘金處分及不足金填補ノ方法

八 組合員タル資格ニ關スル規定

九 組合員ノ加入及脫退ニ關スル規定

十 事業執行ニ關スル規定

十一 役員ニ關スル規定

十二 組合ガ公告ヲ爲ス方法

十三 存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由第十二條 創立總會ニ於テハ命令ノ定ムル所ニ依リ定款其ノ他必要ナル事項ヲ議定シ且理事及監事ヲ選任スベシ

第三十六條ノ規定ハ創立總會ニ於ケル決議ニ之ヲ準用ス

第十三條 創立總會終結シタルトキハ發起人ハ遲滯ナク行政官廳ノ認可ヲ申請スベシ

第十四條 組合ハ前條ノ認可ヲ受ケタル時成立ス

第十五條 組合ハ第十三條ノ認可ヲ受ケタルトキハ設立ノ登記ヲ爲スベシ

第十六條 登記スベキ事項左ノ如シ

一 第十一條第二項第一號乃至第三號、第十二號及第十三號ニ掲ゲタル事項

二 事務所

三 設立認可ノ年月日

四 理事及監事ノ氏名、住所

前項ニ掲ゲタル事項中ニ變更ヲ生ジタルトキハ其ノ登記ヲ爲スベシ

第十七條 民法第四十五條第三項及第四十八條ノ規定ハ組合ニ之ヲ準用ス但シ一週間トアルハ之ヲ二週間トス

第三節 組合員ノ權利義務

第十八條 組合員ハ組合ノ區域内ニ所有スル保險ノ目的タルベキ家畜ニシテ同種類ノモノハ總テ之ヲ保險ニ付スベシ但シ定款ヲ以テ別段ノ定ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

組合ハ組合員ニ對シ正當ノ事由ナクシテ保險ノ引受ヲ拒ムコトヲ得ズ

第十九條 組合ハ組合員ヲシテ定額ノ保險料ヲ釀出セシムルノ外定款ノ定ムル所ニ依リ追徵金ヲ釀出セシムルコトヲ得

前項ノ保險料及追徵金ニ關スル制限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十條 組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ保險金額ヲ削減スルコトヲ得

第二十一條 組合員ハ組合ニ醸出スベキ保險料及追徴金ニ付相殺ヲ以テ組合ニ對抗スルコトヲ得ズ

第二十二條 保險ノ目的ノ讓受人ハ組合ノ承諾ヲ得テ讓渡人ノ權利義務ヲ承繼スルコトヲ得

組合ハ正當ノ事由ナクシテ前項ノ承諾ヲ拒ムコトヲ得ズ

前二項ノ規定ハ保險ノ目的ニ付相續其ノ他ノ包括承繼アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第四節 保險關係

第二十三條 組合ハ保險ノ目的タル家畜ノ死亡ニ因リテ生ズルコトアルベキ損害ヲ填補スルモノトス

前項ニ規定スル家畜ノ死亡ニハ屠殺ニ因ル死亡ハ之ヲ包含セズ但シ切迫屠殺ニ因ル死亡ハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ切迫屠殺ノ範圍ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十四條 組合ノ責任ハ定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外組合ガ保險料ヲ受領シタル日ノ翌日ニ始マル

第二十五條 組合ノ責任ガ始マリタル日より二週間以内ニ保險ノ目的タル家畜ガ死亡シタルトキハ組合員ハ保險金ヲ請求スルコトヲ得ズ但シ其ノ死亡ノ原因ガ組合ノ責任ノ始マリタル後ニ生ジタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十六條 組合ハ何時ニテモ保險ノ目的タル家畜ヲ検査シ又ハ組合員ニ其ノ管理方法ノ變更其ノ他必要ナル處置ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十七條 保險ノ目的タル家畜ガ著シキ疾病ニ罹リ又ハ著シキ傷害ヲ受ケタルトキハ組合員ハ遲滞ナク之ヲ組合ニ通知スベシ

第二十八條 左ノ場合ニ於テハ組合ハ損害ノ全部又ハ一部ニ付填補ノ責ヲ免ルルコトヲ得

一 組合員第二十六條ノ規定ニ依ル組合ノ検査ヲ拒ミ又ハ組合ノ指示ニ

從ハザルトキ

二 組合員前條ノ規定ニ依ル通知ヲ怠リタルトキ

三 組合員保險ノ目的タル家畜ノ疾病又ハ傷害ノ治療ヲ怠リタルトキ

第二十九條 組合員保險ノ目的タル家畜ヲ切迫屠殺セントスルトキハ組合ノ承諾ヲ求ムベシ但シ已ムヲ得ザル事由アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

組合員前項ノ規定ニ違反シタルトキハ組合ハ其ノ損害ヲ填補スル責ニ任ゼズ

第三十條 組合員ノ故意又ハ重大ナル過失ニ因リテ生ジタル損害ハ組合之ヲ填補スル責ニ任ゼズ

第三十一條 保險金額ハ家畜ノ價額ノ百分ノ八十ヲ超過スルコトヲ得ズ保險金額ガ家畜ノ價額ノ百分ノ八十ヲ超過シタルトキハ其ノ超過シタル部分ニ付テハ家畜保險ハ無効トス

第三十二條 組合ガ填補スベキ損害ノ額ハ死亡ノ原因ノ發生前ノ價額ニ依リテ之ヲ定ム

第三十三條 本法ニ依ル家畜保險ニハ商法第三百九十一條、第三百九十二條、第三百九十三條第二項、第三百九十四條、第三百九十五條、第三百九十九條乃第四百條、第四百三條第一項、第四百十二條、第四百十六條及第四百十七條ノ規定ヲ準用ス

第五節 管理

第三十四條 組合ニハ理事及監事ヲ置クベシ

理事及監事ハ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス但シ理事ハ特別ノ事由アルトキハ組合員ニ非ザル者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

第三十五條 理事又ハ監事ハ何時ニテモ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ解任スルコトヲ得

第三十六條 理事及監事ノ選任及解任ハ總組合員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ決ス但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第三十七條 理事ハ定款及總會ノ決議録ヲ各事務所ニ備ヘ置キ且命令ノ定
ムル所ニ依リ組合員名簿ヲ主タル事務所ニ備ヘ置クベシ

第三十八條 理事ハ通常總會ノ會ヨリ一週間前ニ財産目錄、貸借對照表、
事業報告書、損益計算書及剩餘金處分案又ハ不足金填補案ヲ監事ニ提出
シ且之ヲ主タル事務所ニ備フベシ

第三十九條 組合員及組合ノ債權者ハ前二條ノ書類ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ
得

第四十條 理事ハ第三十八條ノ書類及監事ノ意見書ヲ通常總會ニ提出シテ
其ノ承認ヲ求ムベシ

第四十一條 民法第四十四條第一項、第五十二條第二項、第五十三條乃至
第五十五條、第六十條及第六十一條第一項ノ規定ハ組合ノ理事ニ之ヲ準
用ス

第四十二條 監事ハ理事又ハ事務員ト兼ヌルコトヲ得ズ

第四十三條 民法第五十九條ノ規定ハ組合ノ監事ニ之ヲ準用ス

第四十四條 組合ト理事トノ利益相反スル事項ニ付テハ監事組合ヲ代表ス
理事缺ケタルトキハ監事其ノ職務ヲ行フ但シ其ノ期間ハ三月ヲ超エルコ
トヲ得ズ

理事ノ職務ヲ行フ者ナキトキハ行政官廳ハ假理事ヲ選任シ理事ノ職務ヲ
行ハシムルコトヲ得

第四十五條 組合員ハ總會ニ於テ各一箇ノ議決權ヲ有ス但シ定款ノ定ムル
所ニ依リ一人ニ付議決權總數ノ十分ノ一ヲ超エザル範圍内ニ於テ二箇以
上ノ議決權ヲ有セシムルコトヲ得

第四十六條 組合員ハ總組合員五分ノ一以上ノ同意ヲ得テ會議ノ目的及招
集ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ理事ニ提出シテ總會ノ招集ヲ請求スルコト
ヲ得

理事ガ前項ノ規定ニ依ル請求アリタル後二週間以内ニ正當ノ事由ナクシ
テ總會招集ノ手續ヲ爲サザルトキハ監事其ノ總會ヲ招集スベシ

第四十七條 總會ノ招集ノ手續又ハ決議ノ方法ガ法令又ハ定款ノ規定ニ違
反スルトキハ組合員ハ決議ノ日ヨリ一月以内ニ其ノ決議ノ無効ノ宣告ヲ
裁判所ニ請求スルコトヲ得

前項ノ場合ニハ商法第六十三條第二項、第三項及第六十三條ノ四ノ
規定ヲ準用ス

第四十八條 總會ノ決議ハ本法又ハ定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出
席シタル組合員ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス

第四十九條 組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ書面又ハ代理人ヲ以テ議決權
ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席者ト看做ス但シ組合員ニ非ザ
レバ代理人タルコトヲ得ズ

第五十條 民法第六十二條、第六十四條及第六十六條ノ規定ハ組合ニ之ヲ
準用ス

第五十一條 組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ定款ヲ以テ總會ニ代ハルベキ總
代會ヲ設クルコトヲ得

總會ニ關スル規定ハ前項ノ總代會ニ之ヲ準用ス但シ總代會ニ於テハ解
散、合併及分割ノ決議ヲ爲スコトヲ得ズ

第五十二條 定款ノ變更ハ總會ノ決議ニ依ルベシ

第三十六條ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス

定款ノ變更ハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第六節 組合ノ計算

第五十三條 組合ノ事業年度ハ一年トス

第五十四條 組合ハ每事業年度ノ終ニ於テ存スル家畜保險ニ付命令ノ定ム
ル所ニ依リ責任準備金ヲ積立ツベシ

第五十五條 組合ハ不足金ノ填補ニ備フル爲每事業年度ノ剩餘金中ヨリ命
令ノ定ムル所ニ依リ準備金ヲ積立ツベシ

第五十六條 組合ガ剩餘金ノ分配ヲ爲ス場合ニハ其ノ分配ハ命令ノ定ムル
所ニ依リ釀出シタル保險料ノ額ニ比例シテ之ヲ爲スベシ

第七節 加入及脱退

第五十七條 組合ハ組合員タルベキ資格ヲ有スル者ニ對シ正當ノ事由ナクシテ組合員ト爲ルコトヲ拒ムコトヲ得ズ

第五十八條 組合員ハ三月前ニ豫告ヲ爲スニ非ザレバ脱退スルコトヲ得ズ

第五十九條 組合員ハ左ノ事由ニ因リテ脱退ス但シ第一號ノ場合ニ付テハ定款ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

一 保險關係ノ消滅

二 死亡

三 破産

四 除名

第六十條 除名ノ事由ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムベシ

除名ハ總會ノ決議ニ依ルベシ但シ除名シタル組合員ニ其ノ旨ヲ通知スルニ非ザレバ之ヲ以テ其ノ組合員ニ對抗スルコトヲ得ズ

第三十六條ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス

第六十一條 組合員ハ組合ヲ脱退シタルトキト雖モ脱退ノ日ノ屬スル事業年度ノ追徴金及保險金額ノ削減ニ關シテハ其ノ義務ヲ免ルルコトヲ得ズ

第八節 解散

第六十二條 組合ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス

一 定款ニ定メタル事由ノ發生

二 總會ノ決議

三 組合ノ合併

四 組合ノ分割

五 組合ノ破産

六 行政官廳ノ解散ノ命令

第六十三條 組合ノ合併及分割ハ總會ノ決議ニ依ルベシ

組合ノ分割ノ場合ニハ前項ノ決議ノ外尙分割後存続スル組合及分割ニ因リテ設立スル組合員タルベキ者各別ニ決議ヲ爲スベシ

第三十六條ノ規定ハ解散、合併及分割ノ決議竝ニ前項ノ規定ニ依ル決議ニ之ヲ準用ス

前三項ニ規定スルモノノ外合併及分割ノ決議竝ニ第二項ノ規定ニ依ル決議ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第六十四條 組合ガ合併又ハ分割ノ決議ヲ爲シタルトキハ其ノ決議ノ日ヨリ二週間以内ニ財産目錄及貸借對照表ヲ作ルベシ分割ヲ爲ス場合ニ於テハ尙分割ニ因リテ設立スル組合ガ承繼スベキ權利義務ノ限度ヲ記載シタル書面ヲ作ルベシ

組合ハ前項ノ期間内ニ其ノ債權者ニ對シ異議アラバ一定ノ期間内ニ之ヲ述ブベキ旨ヲ公告シ且知レタル債權者ニ各別ニ之ヲ催告スベシ但シ其ノ期間ハ二月ヲ下ルコトヲ得ズ

第六十五條 債權者ガ前條第二項ノ期間内ニ合併又ハ分割ニ對シテ異議ヲ述ベザリシトキハ之ヲ承認シタルモノト看做ス

債權者ガ異議ヲ述ベタルトキハ組合ハ合併又ハ分割前之ニ對シ辨濟ヲ爲シ又ハ相當ノ擔保ヲ供スベシ

第六十六條 第六十四條第二項又ハ前條第二項ノ規定ニ違反シテ爲シタル組合ノ合併又ハ分割ハ之ヲ無効トス

第六十七條 總會ノ決議ニ因ル解散、合併又ハ分割ハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第六十八條 合併後存続スル組合又ハ合併ニ因リテ設立シタル組合ハ合併ニ因リテ消滅シタル組合ノ權利義務ヲ承繼ス

分割ニ因リテ設立シタル組合ハ第六十四條第一項ノ規定ニ依リテ定メタル限度ニ於テ從前ノ組合ノ權利義務ヲ承繼ス

第六十九條 組合ガ解散シタルトキハ合併又ハ分割ノ場合ヲ除クノ外保險關係ハ終了ス

前項ノ場合ニ於テハ組合ハ未ダ經過セザル期間ニ對スル保險料ヲ拂戻スベシ

第七十條 組合ガ解散シタルトキハ合併、分割及破産ニ因ル場合ヲ除クノ外清算人ノ氏名、住所及解散ノ原因、年月日ノ登記ヲ爲スベシ

但シ行政官廳ノ命令ニ因リ解散シタルトキハ解散ノ原因及其ノ年月日ノ登記ヲ爲スコトヲ要セズ

前項ノ規定ニ依リ登記シタル事項中ニ變更ヲ生ジタルトキハ其ノ登記ヲ爲スベシ

第七十一條 行政官廳組合ノ解散ヲ命ジタルトキハ解散ノ原因及其ノ年月日ノ登記ヲ囑託スベシ

登記所ハ前項ノ囑託ニ因リテ其ノ登記ヲ爲スベシ

第七十二條 組合ガ合併又ハ分割ヲ爲シタルトキハ合併又ハ分割後存続スル組合ニ付テハ變更ノ登記ヲ爲シ、合併又ハ分割ニ因リテ消滅シタル組合ニ付テハ解散ノ登記ヲ爲シ、合併又ハ分割ニ因リテ設立シタル組合ニ付テハ設立ノ登記ヲ爲スベシ

第七十三條 民法第七十條ノ規定ハ組合ニ之ヲ準用ス

第九節 清算

第七十四條 清算人ハ其ノ職務ノ範圍内ニ於テ理事ト同一ノ權利義務ヲ有ス

第七十五條 清算人ハ就職後遲滞ナク組合財産ノ現況ヲ調査シ財産目錄及貸借對照表ヲ作り之ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムベシ

第七十六條 清算人ハ左ノ順序ニ從ヒテ組合財産ヲ處分スベシ

一 一般ノ債務ノ辨濟

二 解散ノ日ノ屬スル事業年度ニ於テ支拂ノ原因ノ生ジタル保險金額及

第六十九條第二項ノ規定ニ依リテ拂戻スベキ金額ノ支拂

三 殘餘財産ノ處分

前項第三號ノ殘餘財産ノ處分ニ付テハ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

第七十七條 清算人タルベキ者ナキトキ又ハ清算人ノ缺ケタル爲損害ヲ生ズル虞アルトキハ行政官廳ハ清算人ヲ選任スルコトヲ得

第七十八條 清算事務ガ終リタルトキハ清算人ハ遲滞ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムベシ

第七十九條 清算終了シタルトキハ其ノ登記ヲ爲スベシ

第八十條 民法第七十三條、第七十四條、第七十八條乃至第八十一條及第八十三條ノ規定ハ組合ニ之ヲ準用ス

第十節 登記手續

第八十一條 組合ニ關スル登記ハ其ノ事務所所在地ノ區裁判所又ハ其ノ出張所ノ管轄トス

第八十二條 各登記所ニ家畜保險組合登記簿ヲ備フ

第八十三條 設立ノ登記ハ理事及監事ノ全員ノ申請ニ依リテ之ヲ爲スベシ
申請書ニハ定款並ニ理事及監事ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附スベシ

合併又ハ分割ニ因ル設立ノ登記ニハ前項ノ書面ノ外合併又ハ分割ニ關スル總會ノ決議錄ヲ添附スベシ
分割ニ因ル設立ノ場合ニハ尙第六十三條第二項ノ決議アリタルコトヲ證スル書面ヲ添附スベシ

第八十四條 事務所ノ新設、移轉其ノ他登記事項ノ變更ノ登記ハ理事、其ノ職務ヲ行フ監事若ハ假理事又ハ清算人ノ申請ニ依リテ之ヲ爲スベシ
但シ組合ノ合併又ハ分割ニ因ル變更ノ登記ハ理事及監事ノ全員ノ申請ニ依リテ之ヲ爲スベシ

申請書ニハ申請人ノ資格ヲ證スル書面及登記事項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附スベシ
但シ前ニ登記ノ申請ヲ爲シタル申請人ガ同一登記所ニ前項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要セズ

第八十五條 合併又ハ分割ニ因ル解散ノ登記ハ解散シタル時ノ理事及監事ノ全員ノ申請ニ依リテ之ヲ爲スベシ

申請書ニハ總會ノ決議錄並ニ第六十四條及第六十五條ノ手續ヲ爲シタルコトヲ證スル書面ヲ添附スベシ

第八十六條 本法ニ依リ登記シタル事項ハ區裁判所遲滞ナク之ヲ公告スベシ

第八十七條 非訟事件手續法第二百二十二條、第四百十二條乃至第五百十一條ノ六、第五百五十四條乃至第五百五十七條、第七十五條、第七十六條、第七十八條及第九十五條ノ二ノ規定ハ組合ニ之ヲ準用ス

第十一節 監督

第八十八條 行政官廳ハ何時ニテモ理事又ハ清算人ヲシテ組合ノ事業、財産又ハ清算事務ニ關スル報告ヲ爲サシメ、組合ノ事業、財産又ハ清算事務ノ狀況ヲ檢査シ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得行政官廳ハ組合清算ノ場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ組合ニ對シ其ノ財産ノ供託ヲ命ズルコトヲ得

第八十九條 組合ノ事業若ハ組合財産ノ狀況ニ依リ其ノ事業ノ繼續ヲ困難ナリト認ムルトキ又ハ組合ノ行爲若ハ決議ガ法令若ハ定款ニ違反シ其ノ他公益ヲ害スルノ虞アルトキハ行政官廳ハ決議ヲ取消シ、理事、監事若ハ清算人ヲ解任シ、組合ノ事業ヲ停止シ又ハ組合ノ解散ヲ命ズルコトヲ得

第二章 家畜再保險

第九十條 本法ニ依ル家畜保險ノ再保險事業ハ政府之ヲ管掌ス

第九十一條 組合ガ家畜保險ノ引受ヲ爲シタルトキハ之ニ因リテ政府ト組合トノ間ニ再保險關係成立スルモノトス

第九十二條 再保險金額及再保險料ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第九十三條 組合ハ家畜保險ノ引受ヲ爲シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ニ對シテ其ノ旨ヲ通知スベシ

第九十四條 左ノ場合ニ於テハ政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ再保險金額ノ全部又ハ一部ノ支拂ノ責ニ任ゼズ

一 組合ガ法令又ハ定款ニ違反シテ損害ノ填補ヲ爲シタルトキ

二 組合ガ損害額ヲ不當ニ認定シテ損害ノ填補ヲ爲シタルトキ

三 組合ガ不正ノ目的ヲ以テ前條ノ規定ニ依ル通知ヲ怠リタルトキ

第九十五條 本法ニ依ル家畜再保險ニハ商法第三百九十一條、第三百九十九條、第四百十二條、第四百十六條及第四百十七條ノ規定ヲ準用ス

第九十六條 組合ガ再保險ニ關スル事項ニ付政府ニ對シテ民事訴訟ヲ提起スルニハ家畜再保險審査會ノ審査ヲ經ルコトヲ要ス

第九十七條 前條ノ審査ノ請求ハ時効ノ中斷ニ關シテハ之ヲ裁判上ノ請求ト看做ス

第九十八條 家畜再保險審査會ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第九十九條 本法ニ依ル家畜再保險ニ關スル書類ニハ印紙稅ヲ課セズ

第三章 罰則

第一百條 左ノ場合ニ於テハ家畜保險組合ノ發起人、理事、監事又ハ清算人ヲ五圓以上五百圓以下ノ過料ニ處ス

一 本法ニ依リ行政官廳ノ認可ヲ受クベキ場合ニ於テ其ノ認可ヲ受ケザルトキ

二 本法ニ依ル登記ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ

三 行政官廳又ハ總會若ハ總代會ニ對シ不實ノ申立ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ

四 本法ニ依リ行政官廳ノ徵スル報告ヲ差出サズ又ハ其ノ檢査ヲ拒ミ其ノ他行政官廳ノ命令若ハ處分ニ從ハザルトキ

五 本法ニ依ル總會又ハ總代會ノ招集ヲ怠リタルトキ

六 組合ノ目的ニ非ザル事業ヲ爲シタルトキ

七 本法ニ依リ事務所ニ備ヘ置クベキ書類ヲ備ヘズ、其ノ書類ニ記載スベキ事項ヲ記載セズ若ハ不正ノ記載ヲ爲シ又ハ正當ノ理由ナクシテ其ノ閱覽ヲ拒ミタルトキ

八 本法ニ違反シテ破産ノ宣告ヲ請求セザルトキ

九 第五十四條、第六十四條又ハ第六十五條第二項ノ規定ニ違反シタルトキ

十 本法ニ依ル公告ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ公告ヲ爲シタルトキ

十一 清算ノ場合ニ於テ本法ニ違反シテ辨濟ヲ爲シ又ハ組合財産ノ處分ヲ爲シタルトキ

十二 法令又ハ定款ニ違反シテ剩餘金ヲ處分シ又ハ追徴金ヲ取立テ若ハ保險金額ヲ削減シタルトキ

第一百條 第四條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ十圓以上二百圓以下ノ過料ニ處ス

第一百二條 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前二條ノ過料ニ之ヲ準用ス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

家畜再保險特別會計法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和四年二月二十八日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長 元 田 肇

家畜再保險特別會計法案

家畜再保險特別會計法

第一條 家畜保險法ニ依ル家畜再保險事業ヲ經營スル爲特別會計ヲ設置シ其ノ歲入ヲ以テ其ノ歲出ニ充ツ

第二條 本會計ニ於テハ再保險料、積立金ヨリ生ズル收入、借入金及附屬雜收入ヲ以テ其ノ歲入トシ再保險金、再保險料ノ還付金、借入金ノ償還金及其ノ利子、一時借入金ノ利子、事業取扱費其ノ他ノ諸費ヲ以テ其ノ歲出トス

第三條 本會計ニ於テ決算上剩餘金ヲ生ズルトキハ之ヲ積立ツベシ

本會計ノ歲計ニ不足アルトキハ積立金ヨリ之ヲ補足スベシ

第四條 本會計ニ屬スル經費ヲ支辨スル爲必要アルトキハ政府ハ本會計ノ負擔ニ於テ借入ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ借入ヲ爲スコトヲ得ル金額ハ純再保險料ヲ以テ再保險金及再保險料ノ還付金ヲ支辨スルニ不足スル金額ヲ限度トス

第五條 本會計ニ於テ支拂上現金ニ餘裕アルトキハ之ヲ大藏省預金部ニ預入ルコトヲ得

第六條 本會計ニ於テ支拂上現金ニ不足アルトキハ本會計ノ負擔ニ於テ一時借入ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル一時借入金ハ當該年度内ニ之ヲ返還スベシ

第七條 本會計ノ積立金ハ國債ヲ以テ保有シ又ハ大藏省預金部ニ預入レ之ヲ運用スルコトヲ得

第八條 政府ハ毎年本會計ノ歲入歲出豫算ヲ調製シ歲入歲出ノ總豫算ト共ニ之ヲ帝國議會ニ提出スベシ

第九條 本會計ノ毎年度歲出豫算ニ於ケル事業費ノ支出殘額ハ之ヲ翌年度ニ繰越使用スルコトヲ得

第十條 本會計ノ收入支出ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附 則

本法ハ昭和四年度ヨリ之ヲ施行ス

一般會計ハ當分ノ内毎年度豫算ノ定ムル金額ヲ本會計ニ繰入ルコトヲ得

〔政府委員東武君演壇ニ登ル〕

○政府委員(東武君) 家畜保險法案提案ノ理由ヲ説明イタシマス、近時畜産ノ發達ニ鑑ミマシテ、家畜保險ノ必要ガ緊切ニナツテ參リマシタ、家畜保險ハ家畜ノ死亡ニ依ル損害ヲ填補スルノ目的デアリマシテ、之ニ依リ家畜所有者ノ不安ヲ一掃シ、又家畜ニ對スル金融ノ途ヲ開クコトガ出來マスルノデ、畜産ノ改良發達上極メテ必要ナル施設ト考ヘテ居ルノデアリマス、外國ニ於キマシテハ既ニ此種ノ施設ガ相當發達シテ居ルノデアリマスガ、現在我國ハ僅ニ畜産組合等ニ於キマシテ、家畜ノ共濟施設ヲ行ツテ居ルノニ過ギマセヌ、依テ政府ハ新ニ家畜保險法ヲ制定イタシマシテ、家畜保險組合ヲシテ相互主義

ニ依リマシテ、牛馬ノ死亡ニ依ル損害保險ヲ行ハシメ、之ニ對シ政府ニ於テ再保險ヲナシ、以テ元受保險ノ基礎ヲ鞏固ナラシメマシテ、茲ニ家畜保險制度ノ確立ヲ期スル次第デアリマス、此保險組織ハ家畜保險ノ得失竝ニ我國ノ現狀ニ鑑ミマシテ極メテ適切デアリ、且ツ實效ガアルモノト信ジテ居ルノデアリマス、宜シク御審議ノ上御協賛アラムコトヲ切望スル次第デアリマス

〔國務大臣三土忠造君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(三土忠造君) 家畜保險法案ニ付キマシテハ、只今農林當局ヨリ御説明イタシマシタ通りデアリマシテ、此家畜保險法ヲ制定イタシマスルト共ニ、再保險ノ制度ヲ立ツル必要ガ生ズルノデアリマス、即チ家畜保險法ヲ制定イタシマシテ、元受保險ハ相互の組合ヲシテ之ヲ經營セシメ、再保險ハ政府ニ於テ之ヲ管掌スルコトニ致シタイト思フノデアリマス、而シテ家畜保險法ニ依ル家畜保險事業ハ、原則トシテ再保險料等ノ收入ヲ以テ再保險金、事業取扱費等ノ經費ニ充當セムトスル所ノ趣旨デアリマシテ、唯當分ノ中收支ノ關係上、收入ノ不足ヲ一般會計ヨリ補給スルコトニ致シテアリマスノデ、性質上之ガ收支ハ一團トシテ獨立ノ計算ヲスルコトヲ適當ト考ヘマスノデ、本事業ニ關スル歳入歳出ハ之ヲ一般ノ會計ト區別イタシマシテ特別會計ヲ設置スルノ必要ガアリマス、是ガ本案ヲ提出シタ次第デアリマス、何卒御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ朗讀ヲ致サセマス

〔瀨古書記官朗讀〕

家畜保險法案外一件特別委員

侯爵 佐竹 義春君 伯爵 奥平 昌恭君 子爵 松平 直平君
子爵 曾我 祐邦君 男爵 足立 豐君 菅澤 重雄君
大城 兼義君 山田 惠一君 野村 徳七君

○議長(公爵徳川家達君) 日程第四十二、會計検査院法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

會計検査院法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和四年二月二十八日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長 元 田 肇

會計検査院法中改正法律案

會計検査院法中左ノ通改正ス

第二條中「書記官專任一員」ヲ「書記官專任二員」ニ改ム

附 則

本法ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔副議長侯爵蜂須賀正韶君議長席ニ著ク〕

〔政府委員前田米藏君演壇ニ登ル〕

○政府委員(前田米藏君) 會計検査院法中改正法律案ノ理由ヲ極ク簡單ニ御説明申上ゲマス、近來會計検査院ノ事務ハ非常ニ煩雜且ツ多岐ニ相成リマシテ、會計検査院ノ中ニアリマスル部ト部トノ間ニ立チマシテ比較研究イタシマスル外ニ、部ト部トノ間ヲ共通イタシマスル一般事項ニ付キマシテ著シク研究ノ必要ヲ生ジテ參リマシタノデ、斯ウ云フ方面ノ仕事ヲ致シマス爲ニ、今回專任ノ書記官一名ヲ増員セムトスルノデアリマシテ、極ク簡單ナ案デアリマス、何卒宜シク御審議ノ上御協賛ヲ願ヒマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 本案ハ昭和二年法律第十五號中改正法律案外四件ノ特別委員ニ付託イタシマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 日程第四十三ヨリ第五十六迄一括シテ委員長ノ報告ヲ煩ハシマス

大正十四年度第一豫備金支出ノ件、大正十四年度特別會計第一豫備金支

出ノ件、大正十四年度第二豫備金支出ノ件、大正十四年度豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件、大正十四年度特別會計第二豫備金支出ノ件、大正十四年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件、大正十四年度第一豫備金支出ノ件、大正十五昭和大正十五年年度特別會計第一豫備金支出ノ件、昭和元昭和元年度第二豫備金支出ノ件、大正十五昭和元年度特別會計第二豫備金支出ノ件、昭和元年度第二豫備金支出ノ件、昭和元年度豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件、昭和元年度特別會計第二豫備金支出ノ件、昭和元年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

右承諾スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年二月二十六日

右特別委員長

侯爵 德川 賴 貞

貴族院議長公爵德川家達殿

〔侯爵德川賴貞君演壇ニ登ル〕

○公爵德川賴貞君 大正十四年度第一豫備金支出ノ件外十三件、承諾ヲ求ムル件ノ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、本委員會ハ二月二十日正副委員長ヲ互選イタシマシテ、不肖委員長ニ當選イタシマシテ、二月二十一日第一回ノ會議ヲ開會イタシマシテ、一應政府ノ説明ヲ求メ、續イテ質問應答ヲ重ネマシタガ、同日ハ審議終了ニ至リマセヌデ、次イデ二月二十六日第二回ノ會議ヲ開キマシテ審議ヲ繼續イタシマシタ、此審査中、外務省所管竝ニ陸軍省所管ノ部ニ於キマシテ、支那事件費ノ支拂ニ付キマシテ質問應答ガゴザイマシタ、又内務省所管ニ於キマシテ、信濃川改修工事、即チ同川ノ大河身ノ分岐點ニ於キマス所ノ工事ノ破壊ニ付キマシテ、其設計、其施行及其維持管理等ニ付キマシテ質問ガゴザイマシタ、本件ハ結局内務省ニ於キマシテ斯カル不始末ヲ惹起シタコトハ誠ニ遺憾ニ堪ヘヌト云フコトデゴザイマシタ、其他阿片ノ賠償金支出ニ關シマシテ質問ガゴザイマシテ、政府ヨリソレ

ゾレ説明ガゴザイマシタ、本委員會ニ於キマシテハ以上只今申述ベマシタヤウナ質問應答ヲ重ネマシテ、審議ノ結果此十四件ノ支出ニ對シマシテ全部承諾ヲ與フル議決ヲ致シタ次第デゴザイマス、右御報告申上ゲマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 日程第四十三ヨリ第五十六マデ一括シテ問題ニ供シマス、委員長報告通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異存ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 日程第五十七、第五十八、第五十九、第一讀會ノ續、委員長報告

裁判所ノ設立ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年二月二十日

右特別委員長

伯爵 寺島 誠 一郎

貴族院議長公爵德川家達殿

大正二年法律第九號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年二月二十日

右特別委員長

伯爵 寺島 誠 一郎

貴族院議長公爵德川家達殿

借地借家臨時處理法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年二月二十日

貴族院議長公爵德川家達殿

右特別委員長

伯爵 寺島誠一郎

〔男爵渡邊修二君演壇ニ登ル〕

○男爵渡邊修二君 裁判所ノ設立ニ關スル法律案外二件ノ特別委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、先ヅ裁判所ノ設立ニ關スル法律案ニ付テ申上ゲマス、此案ハ北海道野付牛町ニ區裁判所ヲ新設セムトスルモノデアリマスガ、質問ノ主ナルモノハ野付牛町ニ區裁判所ヲ新設スルニ付キマシテ、諸般ノ狀況ハ如何デアッタカト云フコトデアリマシタ、之ニ對シマシテ政府當局ノ答辯ノ要旨ハ野付牛町ハ此方面ニ於ケル交通經濟ノ中心デアリマシテ、最近長足ノ進歩ヲ致シ、商業ハ盛ントナリ、裁判所及檢事局關係ノ件數モ増加イタシマシタニ拘ラズ、網走區裁判所ヘノ交通ガ甚ダ不便デアリマス爲メ、同町ニ區裁判所ヲ新設スルノガ急務デアルト云フコトデアリマシタ、次ニ大正二年法律第九號中改正法律案ハ右野付牛町區裁判所新設ニ伴フ裁判所管轄區域表中ノ改正デアリマシテ、本案ニ付キマシテハ御報告申上ゲル程ノ質問ハゴザイマセヌデシタ、次ニ借地借家臨時處理法中改正法律案ニ付キマシテ申上ゲマス、本案ハ借地借家臨時處理法附則ノ改正案デアリマシテ、同法ノ有效期間ガ本年四月三十日迄デアリマスノデ昭和十四年四月三十日迄延長セムトスルモノデアリマス、本案ニ付キマシテ質問ノ主ナルモノハ、今後更ニ十箇年間此法律ノ有效期間ヲ延長スル必要ガアリヤ否ヤト云フコトデアリマシタ、之ニ對シマシテ政府當局ノ答辯ノ要旨ハ震災地區ニ於ケル假設建築物、所謂「バラック」除却期間ガ其最モ長キモノニ付キマシテハ、昭和十三年八月三十一日マデ延長セラレマシタ爲ニ、「バラック」ヲ本建築ニ建替ヘ又ハ改造スル等ニ付テ、今日マデノ如ク、今後約十箇年間ハ借地人、借家人、地主、家主等ノ間ニ紛爭ヲ生ズル虞レガアリマスカラ、此臨時處理法ノ存續ニ依ッテ爭ヲ圓滿ニ解決スルノ必要ガアルト云フコトデアリマシタ、特別委員會ニ於

キマシテハ右三案トモ全會一致ヲ以テ原案通り可決イタシマシタ、右御報告申上ゲマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 此三案ヲ第二讀會ニ移スコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ各案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵秋月種英君 賛成

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 第二讀會ヲ開キマス、三案トモ原案通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ各案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵秋月種英君 賛成

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 直ニ第三讀會ヲ開クコトノ動議ガ出マシタ、御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 第二讀會決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 日程第六十、資源調査法案、政府提出、第一讀會ノ續、委員長報告

資源調査法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年二月二十三日

右特別委員長

侯爵 中 御門 經 恭

貴族院議長公爵德川家達殿

〔侯爵中御門經恭君演壇ニ登ル〕

○侯爵中御門經恭君 資源調査法ノ委員會ノ經過並結果ヲ御報告イタシマス、此法案ハ去ル二十日及二十三日ト兩回ニ互リマシテ開會イタシマシテ、政府ノ説明ヲ聽キ、又質問モ種々ゴザイマシタガ、第三條中ニ規定サレテ居ル工業的發明ニ係リ、其他特殊ノ業務上ノ祕密ニ屬スル事項又ハ設備ト云フコトニ對シマシテ、某委員ヨリ、特許ヲ受ケテ其工場ノ祕密ヲ守ッテ居ルヤウナモノ、或ハ特許ヲ受ケナイデモ其工場ノ祕密トシテ居ルモノヲ、官權ヲ利用シテ之ヲ探究シテ、其官吏ガ退職シタ時、或ハ在官中ニ他ノ會社ニソレヲ賣却スルト云フヤウナ不法ナ官吏モアルヤウナコトヲ耳ニスルカラ、サウ云フコトノ無イヤウニ十分取締ッテ呉レト云フ希望ガアリマシテ、政府ニ於テモサウ云フコトニ對シテハ、十分考慮ヲ致シマスと云フコトデアッテ、資源ノ運用統制ノ上ニ、最モ緊要ナル法案トシテ委員會ニ於テハ全會一致ヲ以テ可決イタシマシタ、右御報告ヲ致シマス

○男爵阪谷芳郎君 簡單デゴザイマスガ、政府ノ意見ヲ聞キタイト思ヒマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 宜シウゴザイマス

○男爵阪谷芳郎君 此資源調査法ニ付テハ、私ハ異論ハゴザイマセヌガ、中ノ條文ヲ見マス、近來頻ニ世ノ中デ喧マシイ、所謂人權蹂躪ニ關スルヤウ

ナコトガゴザイマス、餘程此施行上ニ付テハ官吏ガ注意ナサラスト云フト、大變ナ面倒ナコトヲ喚起シマス、殊ニ初メテノ施行デアリマシテ、官吏ガ慣レテ居ラスト思ヒマス、政府デハ其邊ノコトニ付テ如何ナル注意ヲ官吏ニ下サレルカ、苟モ善良ナル國民ノ感情ヲ害スルコトノ無イヤウニセラレルト云フ保證ガアリマス、一言確メテ置キマス

〔政府委員宇佐美勝夫君演壇ニ登ル〕

○政府委員〔宇佐美勝夫君〕 阪谷男爵ニ御答ヘ致シマス、男爵ノ今御話ナリマシタ點ニ付キマシテハ、過日、特別委員會ニ於テモ段々御説ヲ承リマシタ、當局ト致シマシテハ此法案ヲ施行スル上ニ於テ、民間ノ技術上ノ祕密或ハ經營上ノ祕密ニ付キマシテハ、十分ニ注意ヲシテ過ノ無イコトヲ期シタイ積リデ居リマス、殊ニ本案ニ付キマシテハ軍需工業動員法ニ定メテアリリマス所ノ罰則ヨリハズツ輕クシテアルニ拘ラズ、此官吏ノ祕密ヲ漏シ其他不都合ナ行爲ニ付テハ依然トシテ重大ナル刑ヲ以テ、其責任ヲ重カラシムルコトニシテ居ル次第デアリマス、又實地調査ニ臨ム際ニ方リマシテハ、調査票ヲ與ヘル等、十分責任アル官吏ニ十分ナル注意ヲ與ヘ、苟モ之ガ爲ニ工業界ニ累ヲ致シ、民間ノ間ニ疑ヲ挾マシムルコトノ無イヤウニ十分努ムル積リデアリマス、政府ハ其意味ヲ以テ此本案ノ運用ニ當リタイ積リデ居ルノデアリマス

〔議長公爵德川家達君議長席ニ復ス〕

○議長(公爵德川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 動議ニハ賛成者ヲ要シマス

○子爵豐岡圭資君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

〔起立者多數〕

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵豊岡圭資君 賛成イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第六十一、取引所法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

取引所法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

昭和四年二月二十六日

衆議院議長 元 田 肇

貴族院議長公爵徳川家達殿

取引所法中左ノ通改正ス

第十八條中「二箇月、」ヲ「三箇月、」ニ改ム

附 則

本法ハ昭和四年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行前ニ爲シタル取引所ニ於ケル賣買取引ハ其ノ賣買取引力完了スルニ至ル迄舊法ノ規定ヲ適用ス

○男爵阪谷芳郎君 本案ニ付キマシテ、政府ハ衆議院ニ於テ同意ヲ表サレテ居ルノデアルカ、又同意サレタトスレバ其理由如何、反對ナラバ其反對ノ理由如何、承ハリタイ

〔國務大臣中橋徳五郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(中橋徳五郎君) 御答ヘ致シマス、本案ハ先日來、衆議院ニ於キマシテ委員會デ數回審議ガアリマシタ、其節ニ政府ハ之ニ同意スルヤ否ヤト云フ質問モアリマシタノデ、當局ノ意見ヲ申述ベテ置キマシタ、當局ハ今日ノ所、本法ハ實施イタシマシテカラマダ日ガ淺イノデアリマス、改正ニナリマシテカラ大正十四年以來之ヲ實行シテ、其實績ヲ東京取引所、大阪取引所、又名古屋ノ取引所等ノ實蹟ニ徴シマスルト云フト、今日果シテ此本法ガ其改正制定ノ目的ヲ達シタルヤ否ヤト云フトノ判定ヲスルニ苦ンデ居リマス、カルガ故ニ三箇月ヲ二箇月ニ短縮シタト云フトガ、果シテ其目的ヲ達シタルヤ否ヤト云フトコトヲ、今日迄ノ成績ニ徴シマシテ、斷定ハ付キ兼ねテ居リマスカラ、今日直チニ之ニ御同意ヲスルト云フトハ躊躇イタス、斯ウ云フ答辯ヲ致シテ居リマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔瀨古書記官朗讀〕

取引所法中改正法律案特別委員

侯爵松平 康莊君 侯爵大久保利武君 子爵八條 隆正君

子爵織田 信恒君 水上長次郎君 男爵伊藤 文吉君

根津嘉一郎君 田村 新吉君 山崎 龜吉君

○議長(公爵徳川家達君) 日程第六十二、信託業法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

信託業法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

昭和四年二月二十六日

衆議院議長 元 田 肇

貴族院議長公爵徳川家達殿

信託業法中左ノ通改正ス

第五條第一項第四號ノ次ニ左ノ二號ヲ加ヘ第五號ヲ第七號ニ改ム

五 財産ニ關スル遺言ノ執行

六 會計ノ検査

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○男爵阪谷芳郎君 六十二カラ六十四マデハ皆衆議院提出デアリマスガ、何レモ重要ナル改正ノヤウニ認メマスノデ、之ニ對シテ政府ハ御同意デアルヤ否ヤ、又御同意デアルカ反對デアルカ、其理由如何ヲ承ハリタイノデアリマス

〔政府委員濱田國松君演壇ニ登ル〕

○政府委員(濱田國松君) 日程第六十二ノ信託業法ノ點ニ付テノミ御答ヲ申上ゲマス、信託業ノ發達ニ連レマシテ、其機能ヲ發揮セシメルコトハ事實ノ上ニ於テハ必要デアラウト思フノデアリマス、故ニ内容ニ於キマシテハ必シモ反對スル必要ハナイト信ジテ居リマス、併シ此案ノ内容ニハ御承知アラセラル、通りニ、遺言ノ執行ト云フ點ガアルノデアリマシテ、民法ニ關係ヲ有ッテ居ルノデアリマス、御承知ノ如ク目下民法ハ根本義ニ於キマシテ改正ヲ企

テ、居ルノデアリマシテ、調査委員ヲ設ケテ關係官憲ニ於キマシテ調査中デアリマス、是等ノ關係上、今俄ニ基本ノ民法改正ヲ離レテ信託法ヲ改正スルコトガ差支ガアルカナイカト云フコトニ付テハ多少考慮スベキ關係ガアラウト思ヒマス、故ニ本案ハ案ノ輕過ニ鑑ミマシテ、政府ニ於キマシテハ尙ホ一層慎重ノ考慮ヲ用キテ見タイト思フノデアリマス、今直ニ贊否ヲ明言スルノ程度ニ達シテ居リマセヌ

○議長(公爵徳川家達君) 本案ハ日程第六十一ノ法律案ノ特別委員ニ付託イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 第六十三、會計検査院法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

會計検査院法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

昭和四年二月二十八日

衆議院議長 元 田 肇

貴族院議長公爵徳川家達殿

會計検査院法中左ノ通改正ス

第十三條第四號ノ次ニ左ノ一號ヲ加ヘ第五號ヲ第六號ニ改ム

五 政府ニ於テ重役ヲ任命スル銀行會社及組合ノ收支ニ關スル決算

第二十條ノ二 會計検査院ハ第十三條第三號乃至第六號ノ検査ノ結果ヲ主

務大臣ニ通知スヘシ其ノ不當ト認ムルモノハ主務大臣ニ移牒シテ相當ノ

處置ヲ要求スルコトヲ得

會計検査院ハ前項ニ依ル移牒ノ内容ヲ検査報告ニ掲載スルコトヲ得

〔國務大臣三土忠造君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(三土忠造君) 本案ニ付キマシテハ、政府ト致シマシテ、直ニ贊否ヲ決メ兼ネルノデアリマスガ、此法律案ハ政府ニ於テ重役ヲ任命スル會社

ノ検査ヲ、會計検査院デヤラスヤウニト云フコトデアリマスガ、現在會計検査院法第十三條ニ依リマシテ、特殊ノ會社ニ對シマシテハ無論検査ヲ致シテ居リマスガ、其範圍ヲ擴ゲテ、全部此法律ノ改正案ノヤウニ致スノガ良イカ惡イカト云フコトニ付テハ、相當慎重考究ヲ要スルコト思ヒマス、政府ニ於キマシテ折角研究イタシテ居リマス程度デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ハ昭和二年法律第十五號中改正法律案外四件ノ特別委員ニ付託イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第六十四、恩給法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

恩給法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

昭和四年二月二十八日

衆議院議長 元 田 肇

貴族院議長公爵徳川家達殿

恩給法中左ノ通改正ス

第三百三條第一項中「屯田兵ノ現役」ノ下ニ「及之ニ準スヘキ屯田兵役」ヲ加フ

附 則

本法ハ大正十二年十月一日ヨリ本法ニ該當スヘキ者ニ之ヲ適用ス

〔政府委員下條康麿君演壇ニ登ル〕

○政府委員(下條康麿君) 此恩給法中改正法律案ニ對シマシテハ、政府ハ同意ヲ致シテ居リマセヌノデアリマス、ト申シマスノハ、此改正ヲ提起セラレテ居リマス理由ト云フモノハ、要スルニ屯田兵ノ現役期間ト其豫備役期間ノ間ニ勤務上ノ差異ガナイト云フコトガ理由ノ骨子ニナッテ居リマス、併ナガラ政府ト致シマシテハ、假令或時期ニ於キマシテ、其差ガ少カッタコトハ認

メマスルガ、法規上ニ於テモ、事實上ニ於テモ、屯田兵ノ豫備役ト現役ノ間ニハ差ガアッタト云フコトヲ認メテ居ルノデアリマス、又假ニ此豫備役期間ヲ通算スルト致シマスルト云フト、大正十二年ニ改正ニナリマシタ現行恩給法ノ以前ニ於キマシテハ、舊軍人恩給法ニ於キマシテハ、此豫備役期間中ノ勤務ハ、假ニ如何ナル勤務ニ服シマシテモ、戰時又ハ事變ノ場合ノ外ハ、絶對恩給年限ニハ通算セラレナカッタノデアリマス、次ニ大正十二年ノ改正ニ依リマシテ、即チ現在ニ於キマシテハ平時ト雖モ召集ノ場合ニ於ケル期間ハ、之ヲ恩給年限ニ通算シテ居ルコトニナッテ居ルノデアリマス、若シ此屯田兵ニ付キマシテ、豫備役期間ヲ認ムルナラバ、權衡上必ズ一般兵役ニ付キマシテモ、豫備役期間ノ一切勤務上、現役ト同視スベク、召集期間ヲ入レナケレバナラスト云フコトニ相成ルノデアリマス、若シサウナリマスルト、是ハ過去ニ溯リマシテ、調査上モ困難デアリマスルシ、又財政上ノ影響モ可ナリ大デアラウト考ヘマス、以上ノ理由ニ依リマシテ、此案ニ對シマシテハ賛成イタシ兼ネルコトヲ申シテ、同意ヲ致シテ居リマセヌ

○議長(公爵徳川家達君) 本案ハ昭和二年法律第十五號中改正法律案外四件ノ特別委員ニ付託イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 本院規則第五十八條ニ依リマシテ、本日ハ是デ延會イタシマス、次ノ議事日程ハ決定次第、御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會イタシマス

午後五時八分散會